

業績データ

事業の状況	74
経理の状況	86
事業の状況(連結)	115
経理の状況(連結)	122

事業の状況

主要な経営指標等の推移

(単位:百万円)

項目 \ 年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
正味収入保険料 (対前期増減(△)率)	1,928,061 (1.9%)	1,912,180 (△0.8%)	1,813,412 (△5.2%)	1,736,082 (△4.3%)	1,742,746 (0.4%)
経常収益 (対前期増減(△)率)	2,404,312 (1.5%)	2,400,487 (△0.2%)	2,367,104 (△1.4%)	2,257,690 (△4.6%)	2,317,917 (2.7%)
保険引受損益 (対前期増減(△)率)	7,971 (△77.0%)	39,376 (393.9%)	73,812 (87.5%)	81,792 (10.8%)	△31,118 (△138.0%)
経常利益 (対前期増減(△)率)	156,332 (△5.9%)	183,974 (17.7%)	69,624 (△62.2%)	147,401 (111.7%)	145,754 (△1.1%)
当期純利益 (対前期増減(△)率)	96,448 (△21.1%)	122,992 (27.5%)	71,104 (△42.2%)	94,456 (32.8%)	100,713 (6.6%)
正味損害率	61.5%	61.6%	67.4%	67.9%	67.5%
正味事業費率	30.7%	31.5%	34.6%	34.0%	33.5%
利息及び配当金収入 (対前期増減(△)率)	167,099 (20.1%)	203,380 (21.7%)	158,317 (△22.2%)	108,453 (△31.5%)	137,671 (26.9%)
運用資産利回り (インカム利回り)	2.45%	2.79%	2.22%	1.53%	2.00%
資産運用利回り (実現利回り)	3.64%	3.43%	1.39%	2.37%	3.93%
時価総合利回り	5.15%	△9.29%	△12.81%	9.96%	△0.92%
資本金の額 (発行済株式総数)	101,994 (1,549,692千株)	101,994 (1,549,692千株)	101,994 (1,549,692千株)	101,994 (1,549,692千株)	101,994 (1,549,692千株)
純資産額	3,076,887	2,326,624	1,435,527	1,916,139	1,676,223
総資産額	11,177,448	10,889,562	8,413,488	9,708,046	8,670,008
積立勘定として経理された資産額	2,443,633	2,753,328	1,922,466	2,564,337	2,113,055
責任準備金残高	5,082,218	5,117,306	4,998,615	4,837,759	4,687,189
貸付金残高	556,364	584,094	520,540	459,465	399,491
有価証券残高	8,141,981	7,408,658	5,886,171	6,784,410	6,071,496
ソルベンシー・マージン比率	1,098.2%	957.8%	696.8%	852.6%	823.8%
自己資本比率	27.5%	21.4%	17.1%	19.7%	19.3%
配当性向	227.1%	86.2%	116.1%	52.9%	86.3%
従業員数	14,967名	15,263名	15,747名	16,742名	17,051名

(注) 1. 正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)÷正味収入保険料

2. 正味事業費率=(諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費)÷正味収入保険料

保険事業の状況

元受正味保険料（含む収入積立保険料）及び1人当たり保険料

(単位：百万円)

年度 種目	平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	構成比	増収率		構成比	増収率		構成比	増収率		構成比	増収率		構成比	増収率	
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
火災	351,797	16.1	△0.2	345,868	16.3	△1.7	339,906	16.7	△1.7	322,023	16.3	△5.3	299,537	15.2	△7.0
海上	81,394	3.7	10.6	86,792	4.1	6.6	80,335	4.0	△7.4	63,569	3.2	△20.9	67,863	3.4	6.8
傷害	316,283	14.5	△3.1	300,442	14.1	△5.0	266,115	13.1	△11.4	247,910	12.5	△6.8	247,447	12.6	△0.2
自動車	878,303	40.2	1.6	877,984	41.3	△0.0	863,459	42.5	△1.7	852,010	43.0	△1.3	855,744	43.4	0.4
自動車損害賠償責任	291,498	13.4	△0.2	261,924	12.3	△10.1	215,928	10.6	△17.6	199,670	10.1	△7.5	201,953	10.3	1.1
その他	264,079	12.1	10.9	253,732	11.9	△3.9	266,385	13.1	5.0	295,328	14.9	10.9	297,115	15.1	0.6
(うち賠償責任)	(131,540)	(6.0)	(21.1)	(126,191)	(5.9)	(△4.1)	(122,003)	(6.0)	(△3.3)	(148,308)	(7.5)	(21.6)	(141,004)	(7.2)	(△4.9)
合計	2,183,357	100.0	1.7	2,126,746	100.0	△2.6	2,032,131	100.0	△4.4	1,980,512	100.0	△2.5	1,969,661	100.0	△0.5
従業員一人当たり 元受正味保険料 (含む収入積立保険料)	千円 145,878		7.9	千円 139,339		△4.5	千円 129,048		△7.4	千円 118,296		△8.3	千円 115,515		△2.4

正味収入保険料

(単位：百万円)

年度 種目	平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	構成比	増収率		構成比	増収率		構成比	増収率		構成比	増収率		構成比	増収率	
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
火災	259,331	13.5	1.6	253,083	13.2	△2.4	246,373	13.6	△2.7	230,224	13.3	△6.6	219,104	12.6	△4.8
海上	76,849	4.0	9.8	80,557	4.2	4.8	71,129	3.9	△11.7	55,426	3.2	△22.1	59,633	3.4	7.6
傷害	153,920	8.0	2.8	149,618	7.8	△2.8	147,988	8.2	△1.1	145,017	8.4	△2.0	148,376	8.5	2.3
自動車	872,219	45.2	1.6	871,613	45.6	△0.1	856,880	47.3	△1.7	845,610	48.7	△1.3	850,820	48.8	0.6
自動車損害賠償責任	311,727	16.2	△1.5	309,531	16.2	△0.7	241,270	13.3	△22.1	212,377	12.2	△12.0	218,469	12.5	2.9
その他	254,013	13.2	4.5	247,776	13.0	△2.5	249,770	13.8	0.8	247,425	14.3	△0.9	246,341	14.1	△0.4
(うち賠償責任)	(116,783)	(6.1)	(3.1)	(117,047)	(6.1)	(0.2)	(122,110)	(6.7)	(4.3)	(141,769)	(8.2)	(16.1)	(140,418)	(8.1)	(△1.0)
合計	1,928,061	100.0	1.9	1,912,180	100.0	△0.8	1,813,412	100.0	△5.2	1,736,082	100.0	△4.3	1,742,746	100.0	0.4

受再正味保険料及び支払再保険料

(単位：百万円)

年度 種目	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	受再正味保険料	支払再保険料	受再正味保険料	支払再保険料	受再正味保険料	支払再保険料	受再正味保険料	支払再保険料	受再正味保険料	支払再保険料
火災	26,230	72,271	26,250	75,651	25,660	78,320	26,444	87,208	25,254	83,275
海上	23,605	28,150	25,876	32,110	23,181	32,387	17,296	25,439	17,748	25,978
傷害	3,800	5,057	2,931	6,071	3,321	5,293	14	3,624	14	3,376
自動車	4,716	10,798	4,274	10,646	3,560	10,139	3,496	9,896	3,531	8,456
自動車損害賠償責任	245,841	225,613	246,662	199,056	172,778	147,436	149,377	136,669	154,684	138,168
その他	47,622	57,366	43,069	49,379	40,595	57,255	26,231	74,020	30,433	81,127
(うち賠償責任)	(6,622)	(21,380)	(5,150)	(14,295)	(5,227)	(5,120)	(4,043)	(10,581)	(3,992)	(4,579)
合計	351,817	399,257	349,065	372,915	269,098	330,833	222,861	336,859	231,666	340,381

(注) 1. 受再正味保険料とは、受再契約に係る収入保険料から受再解約返戻金および受再その他返戻金を控除したものをいいます。
2. 支払再保険料とは、出再契約に係る支払保険料から出再保険返戻金およびその他の再保険収入を控除したものをいいます。

現
状

経
営
に
つ
い
て

商
品
・
サ
ー
ビ
ス
に
つ
い
て

業
績
テ
ー
タ

コ
ー
ポ
レ
ー
ト
テ
ー
タ

事業の状況

解約返戻金

(単位:百万円)

種目	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
火災		15,814	18,078	16,531	18,417	14,331
海上		1,514	1,920	2,178	2,461	2,498
傷害		57,562	57,436	53,650	51,617	46,690
自動車		10,505	9,881	10,731	12,009	12,030
自動車損害賠償責任		11,015	11,905	12,647	7,999	7,833
その他		13,748	9,798	7,204	14,608	5,704
(うち賠償責任)		(6,846)	(1,556)	(637)	(904)	(681)
合計		110,160	109,020	102,943	107,113	89,088

(注) 解約返戻金とは、元受解約返戻金、受再解約返戻金及び積立解約返戻金の合計額をいいます。

保険引受損益

(単位:百万円)

種目	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
火災		△32,329	5,490	13,050	19,486	△16,560
海上		4,218	18,963	19,457	11,509	4,583
傷害		△15,288	△11,199	△2,898	△4,362	△1,879
自動車		32,891	530	28,642	22,100	△27,989
自動車損害賠償責任		—	—	—	—	—
その他		18,479	25,591	15,560	33,057	10,727
(うち賠償責任)		(5,788)	(7,383)	(5,134)	(11,949)	(21,578)
合計		7,971	39,376	73,812	81,792	△31,118

(単位:百万円)

区分	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
保険引受収益		2,206,376	2,174,752	2,181,710	2,113,776	2,074,105
保険引受費用		1,919,330	1,846,281	1,793,838	1,746,245	1,821,735
営業費及び一般管理費		277,923	288,956	313,675	286,087	282,591
その他収支		△1,150	△137	△384	348	△896
保険引受損益		7,971	39,376	73,812	81,792	△31,118

(注) 1. 上記の営業費及び一般管理費は、損益計算書記載における営業費及び一般管理費のうち保険引受に係る金額です。
 2. その他収支は、自動車損害賠償責任保険等における法人税相当額等です。
 3. 保険引受損益=保険引受収益-保険引受費用-保険引受に係る営業費及び一般管理費±その他収支

元受正味保険金

(単位:百万円)

種目	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
火災		121,794	99,468	115,577	92,178	93,503
海上		40,419	42,483	46,823	41,631	33,188
傷害		67,506	75,927	81,383	81,530	80,877
自動車		525,733	533,371	544,850	545,855	560,267
自動車損害賠償責任		209,676	209,668	205,424	198,911	196,212
その他		122,584	121,086	157,035	141,177	145,713
(うち賠償責任)		(59,361)	(63,863)	(75,824)	(60,782)	(57,660)
合計		1,087,715	1,082,005	1,151,094	1,101,285	1,109,763

(注) 元受正味保険金とは、元受契約に係る支払保険金から元受契約に係る求償等による回収金を控除したものをいいます。

正味支払保険金

(単位：百万円)

年度 種目	平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	構成比	正味損害率		構成比	正味損害率		構成比	正味損害率		構成比	正味損害率		構成比	正味損害率	
	%	%		%	%		%	%		%	%		%	%	
火災	123,031	11.0	49.0	96,072	8.7	39.6	109,244	9.5	46.1	92,698	8.5	42.4	86,554	7.9	41.5
海上	40,134	3.6	54.6	40,679	3.7	52.8	44,866	3.9	65.6	34,702	3.2	66.1	31,337	2.9	55.7
傷害	68,927	6.2	48.3	77,003	7.0	55.0	82,976	7.2	59.8	80,016	7.3	58.6	79,787	7.3	57.0
自動車	522,225	46.9	64.3	530,379	48.2	65.6	541,172	47.3	68.3	542,258	49.5	69.8	556,093	50.8	71.0
自動車損害賠償責任	227,126	20.4	78.0	225,376	20.5	78.0	224,526	19.6	99.4	218,936	20.0	110.5	219,566	20.1	107.5
その他	132,151	11.9	54.6	131,540	11.9	55.9	142,083	12.4	59.8	127,849	11.7	54.4	120,920	11.1	52.0
(うち賠償責任)	(65,189)	(5.9)	(59.2)	(68,397)	(6.2)	(62.2)	(70,473)	(6.2)	(61.4)	(61,807)	(5.6)	(46.8)	(57,660)	(5.3)	(44.4)
合計	1,113,596	100.0	61.5	1,101,052	100.0	61.6	1,144,869	100.0	67.4	1,096,461	100.0	67.9	1,094,259	100.0	67.5

受再正味保険金及び回収再保険金

(単位：百万円)

年度 種目	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	受再正味保険金	回収再保険金	受再正味保険金	回収再保険金	受再正味保険金	回収再保険金	受再正味保険金	回収再保険金	受再正味保険金	回収再保険金
火災	6,483	5,246	5,948	9,344	8,822	15,154	5,507	4,987	3,305	10,255
海上	16,383	16,669	15,927	17,731	14,280	16,237	11,563	18,492	12,176	14,027
傷害	2,527	1,106	2,739	1,663	3,202	1,610	8	1,522	5	1,095
自動車	2,853	6,361	3,270	6,262	2,731	6,409	2,417	6,013	2,391	6,565
自動車損害賠償責任	227,126	209,676	225,376	209,668	224,526	205,424	218,936	198,911	219,566	196,212
その他	16,289	6,722	23,979	13,526	24,664	39,617	24,421	37,749	20,455	45,248
(うち賠償責任)	(6,210)	(382)	(6,170)	(1,636)	(3,422)	(8,774)	(5,350)	(4,324)	(3,815)	(3,816)
合計	271,664	245,783	277,242	258,195	278,227	284,452	262,854	267,677	257,900	273,405

(注) 1. 受再正味保険金とは、受再契約に係る支払保険金から受再契約に係る求償等による回収金を控除したものをいいます。
2. 回収再保険金とは、出再契約に係る回収保険金から出再契約に係る返還金を控除したものをいいます。

正味損害率、正味事業費率及びその合算率

(単位：%)

種目	平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	正味損害率	正味事業費率	合算率	正味損害率	正味事業費率	合算率	正味損害率	正味事業費率	合算率	正味損害率	正味事業費率	合算率
火災	39.6	40.3	80.0	46.1	43.8	89.8	42.4	47.6	90.0	41.5	46.5	88.0
海上	52.8	19.1	71.9	65.6	21.9	87.5	66.1	25.0	91.1	55.7	23.4	79.1
傷害	55.0	45.8	100.8	59.8	46.3	106.1	58.6	44.6	103.2	57.0	44.8	101.8
自動車	65.6	32.9	98.5	68.3	35.3	103.6	69.8	33.1	102.9	71.0	32.8	103.8
自動車損害賠償責任	78.0	16.7	94.7	99.4	22.6	122.0	110.5	23.3	133.8	107.5	22.9	130.4
その他	55.9	31.6	87.5	59.8	31.4	91.2	54.4	29.4	83.8	52.0	29.4	81.3
(うち賠償責任)	(62.2)	(32.5)	(94.7)	(61.4)	(31.8)	(93.2)	(46.8)	(26.9)	(73.7)	(44.4)	(26.7)	(71.1)
合計	61.6	31.5	93.1	67.4	34.6	102.1	67.9	34.0	101.9	67.5	33.5	101.0

(注) 1. 正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)÷正味収入保険料
2. 正味事業費率=(諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費)÷正味収入保険料
3. 合算率=正味損害率+正味事業費率

現状

経営について

商品・サービスについて

業績データ

コーポレートデータ

事業の状況

出再控除前の発生損害率、事業費率及びその合算率

(単位：%)

種 目	平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	発生損害率	事業費率	合算率	発生損害率	事業費率	合算率	発生損害率	事業費率	合算率	発生損害率	事業費率	合算率
火 災	46.1	37.3	83.4	35.9	39.0	74.9	32.6	40.4	73.0	69.9	38.8	108.7
海 上	47.3	17.1	64.4	61.6	17.5	79.1	58.3	20.6	79.0	59.3	19.7	79.0
傷 害	61.6	45.9	107.5	59.7	47.1	106.8	61.5	44.7	106.2	57.6	45.8	103.3
(医療補償等)	(医療)	(48.5)	/	(50.6)	/	(52.0)	/	(50.0)	/	(50.0)	/	/
	(がん)	(79.0)	/	(26.9)	/	(57.9)	/	(58.7)	/	/	/	/
	(その他)	(110.4)	/	(91.4)	/	(87.1)	/	(73.8)	/	/	/	/
	そ の 他	(59.5)	/	(60.1)	/	(60.7)	/	(56.6)	/	/	/	/
自 動 車	69.0	32.6	101.7	66.4	34.7	101.1	68.6	32.9	101.5	70.2	32.8	103.0
そ の 他	52.0	27.9	79.9	61.0	28.9	89.8	52.9	25.4	78.3	64.3	25.3	89.6
(うち賠償責任)	(52.7)	(29.5)	(82.2)	(60.7)	(29.9)	(90.7)	(54.2)	(27.5)	(81.7)	(45.8)	(27.5)	(73.2)
合 計	60.3	32.8	93.1	59.5	34.4	93.9	58.6	33.2	91.8	67.4	32.8	100.2

- (注) 1. 地震保険及び自動車損害賠償責任保険に係る金額を除いて記載しています。
 2. 発生損害率=(出再控除前の発生損害額+損害調査費)÷出再控除前の既経過保険料
 3. 事業費率=(支払諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費)÷出再控除前の既経過保険料
 4. 合算率=発生損害率+事業費率
 5. 出再控除前の発生損害額=支払保険金+出再控除前の支払備金積増額
 6. 出再控除前の既経過保険料=収入保険料-出再控除前の未経過保険料積増額
 7. 介護保険・介護費用保険は、販売量が極めて少ないため、介護保険は「(医療補償等)」の内訳である「(その他)」に、介護費用保険は種目「その他」に、それぞれ含めて記載しています。
 8. 超保険は、医療・がん等の区分が困難なため、「(医療補償等)」の内訳である「(その他)」に含めて記載しています。

国内契約・海外契約別の収入保険料の割合

(単位：%)

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度
国内契約	95.0	96.4	96.6
海外契約	5.0	3.6	3.4

(注) 収入保険料(元受正味保険料(除く収入積立保険料)と受再正味保険料の合計)について国内契約および海外契約の割合を記載しています。

出再先保険会社数と出再保険料上位5社の割合

	出再先保険会社数	出再保険料ベースでの上位5社への出再割合(%)
平成22年度	129社(-)	61.1%(-)
平成21年度	134社(-)	62.5%(-)

- (注) 1. 特約再保険料ベースで100万円以上の出再実績のある保険会社(プールを含む)を対象としています。
 2. ()内は、第三分野保険に関する数値を表しています。(ただし、保険業法施行規則第71条に基づいて、保険料積立金を積み立てないとした保険契約に限りです)

出再保険料の格付区分別構成割合

(単位：%)

格付区分	S&P社 A-以上 (AM Best A-以上)	S&P社 BBB-以上 (AM Best B+以上)	その他 (格付なし・不明を含む)
平成22年度	99.7(-)	99.9(-)	0.1(-)
平成21年度	99.7(-)	99.8(-)	0.2(-)

- (注) 1. 特約再保険料ベースで100万円以上の出再実績のある保険会社(プールを除く)を対象としています。
 格付区分は、以下の方法により行っています。
 ①スタンダード・アンド・プアーズ社(S&P社)の格付を使用し、同社の格付がない場合はAM Best社の格付を使用しています。
 ②上記2社のいずれの格付もない場合は「その他(格付なし・不明を含む)」に区分しています。
 ③各年度3月末時点の格付に基づいています。
 2. ()内は、第三分野保険に関する数値を表しています。(ただし、保険業法施行規則第71条に基づいて、保険料積立金を積み立てないとした保険契約に限りです)

未収再保険金の推移

(単位：百万円)

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
1 年度開始時の未収再保険金	18,988 (-)	14,413 (-)	14,514 (-)	32,870 (-)	23,137 (-)
2 当該年度に回収できる事由が発生した額	35,723 (-)	45,026 (-)	77,171 (-)	67,340 (-)	73,031 (-)
3 当該年度回収等	40,297 (-)	44,926 (-)	58,815 (-)	77,074 (-)	71,537 (-)
4 1+2-3=年度末の未収再保険金	14,413 (-)	14,514 (-)	32,870 (-)	23,137 (-)	24,631 (-)

(注) 1. 地震・自賠責保険に係る金額を除いています。

2. ()内は、第三分野保険に関する数値を表しています。(ただし、保険業法施行規則第71条に基づいて、保険料積立金を積み立てないとした保険契約に限りです)

契約者配当金

積立保険(貯蓄型保険)では、満期を迎えられたご契約者に対し、契約時に定めた満期返戻金をお支払いするとともに、保険期間中の運用利回りが予定の利回りを上回った場合には、毎月の満期契約毎に契約者配当金を計算してお支払いしています。(運用利回りが予定の利回りを下回った場合には0円となります)

従いまして、契約者配当金は毎月変動いたしますが、昨年6月及び本年6月に満期を迎えられましたご契約者にお支払いした契約者配当金は以下のとおりです。

*平成22年6月及び平成23年6月に満期を迎えたご契約者に対してお支払いした契約者配当金の例
(積立普通傷害保険、満期返戻金100万円、一時払の場合)

	保険期間	契約者配当金の額	予定の利回り
平成22年 6月満期	3年	8,300円	0.12%
	5年	6,100円	0.38%
	10年	0円	1.55% (旧東京海上) 1.60% (旧日動)
平成23年 6月満期	3年	0円	0.63%
	5年	11,400円	0.38%
	10年	6,000円 (旧東京海上) 0円 (旧日動)	1.05% (旧東京海上) 1.60% (旧日動)

正味損害率及び正味事業費率

(単位：百万円)

区分	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
正味損害率		61.5%	61.6%	67.4%	67.9%	67.5%
保険引受に係る事業費 (保険引受に係る営業費及び一般管理費)		592,355 (277,923)	602,528 (288,956)	627,687 (313,675)	590,547 (286,087)	583,497 (282,591)
(諸手数料及び集金費)		(314,431)	(313,572)	(314,011)	(304,459)	(300,906)
正味事業費率		30.7%	31.5%	34.6%	34.0%	33.5%

(注) 正味事業費率=(諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費)÷正味収入保険料

事業の状況

資産運用等の状況

運用資産の推移

(単位：百万円)

区分	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
		%		%		%		%		%
預貯金	254,196	2.3	266,087	2.4	46,532	0.6	140,568	1.4	75,202	0.9
コールローン	86,400	0.8	150,400	1.4	320,300	3.8	86,400	0.9	183,300	2.1
買現先勘定	36,972	0.3	42,951	0.4	302,893	3.6	150,969	1.6	121,967	1.4
買入金銭債権	1,172,986	10.5	1,475,003	13.5	175,768	2.1	1,138,105	11.7	807,107	9.3
金銭の信託	82,089	0.7	39,215	0.4	8,688	0.1	11,778	0.1	14,056	0.2
有価証券	8,141,981	72.8	7,408,658	68.0	5,886,171	70.0	6,784,410	69.9	6,071,496	70.0
貸付金	556,364	5.0	584,094	5.4	520,540	6.2	459,465	4.7	399,491	4.6
土地・建物	261,012	2.3	244,966	2.2	237,575	2.8	234,774	2.4	225,284	2.6
運用資産計	10,592,004	94.8	10,211,378	93.8	7,498,471	89.1	9,006,471	92.8	7,897,907	91.1
総資産	11,177,448	100.0	10,889,562	100.0	8,413,488	100.0	9,708,046	100.0	8,670,008	100.0

利息及び配当金収入・運用資産利回り（インカム利回り）

(単位：百万円)

区分	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		利回り		利回り		利回り		利回り		利回り
		%		%		%		%		%
預貯金	3,002	2.47	5,305	3.00	2,440	1.84	181	0.40	403	0.66
コールローン	148	0.18	475	0.55	491	0.34	119	0.14	82	0.11
買現先勘定	134	0.36	224	0.59	590	0.43	184	0.13	152	0.12
債券貸借取引支払保証金	33	0.31	3	0.65	102	0.34	21	0.13	11	0.12
買入金銭債権	8,004	0.78	13,436	1.05	11,034	1.35	4,179	0.52	2,914	0.28
金銭の信託	455	0.54	571	0.91	203	1.15	56	0.64	129	0.95
有価証券	131,475	2.90	158,660	3.33	118,738	2.40	80,939	1.59	113,044	2.38
公社債	32,968	1.33	36,057	1.46	37,950	1.56	37,068	1.45	36,875	1.53
株式	58,543	5.04	70,559	6.13	72,453	6.37	43,075	3.87	45,503	4.84
外国証券	28,049	3.82	38,976	3.92	6,071	0.48	2,058	0.15	30,797	2.32
その他の証券	11,913	7.48	13,067	8.99	2,262	1.88	△1,263	△1.86	△131	△0.20
貸付金	9,226	1.68	10,471	1.82	10,863	1.91	9,360	1.89	8,034	1.81
土地・建物	12,361	4.56	12,484	4.88	11,922	4.89	11,013	4.57	10,426	4.46
小計	164,842	2.45	201,634	2.79	156,386	2.22	106,056	1.53	135,199	2.00
その他	2,713	—	2,318	—	2,134	—	2,453	—	2,602	—
合計	167,555	—	203,952	—	158,520	—	108,510	—	137,801	—

(注) 1. 収入金額は、損益計算書における「利息及び配当金収入」に、「金銭の信託運用益」および「金銭の信託運用損」のうち利息および配当金収入相当額を含めた金額です。

2. 平均運用額は原則として各月末残高（取得原価または償却原価）の平均に基づいて算出しています。ただし、コールローン、買現先勘定、債券貸借取引支払保証金および買入金銭債権については日々の残高（取得原価または償却原価）の平均に基づいて算出しています。

時価会計導入を機に、業界として損害保険会社の開示利回りのあり方を見直した結果、従来の運用資産利回り（インカム利回り）のみでは運用の実態を必ずしも適切に反映できないと考え、新たに以下の二つの利回りを開示することとしました。

1. 資産運用利回り（実現利回り）

資産運用に係る成果を、当期の期間損益（損益計算書）への寄与の観点から示す指標です。分子は実現損益、分母は取得原価をベースとした利回りです。

- ・分子＝資産運用収益＋積立保険料等運用益－資産運用費用
- ・分母＝取得原価または償却原価による平均残高

2. (参考) 時価総合利回り

時価ベースでの運用効率を示す指標。分子は実現損益に加えて時価評価差額の増減を反映させ、分母は時価をベースとした利回りです。

- ・分子＝(資産運用収益＋積立保険料等運用益－資産運用費用)＋(当期末評価差額*－前期末評価差額*)＋繰延ヘッジ損益増減*
- ・分母＝取得原価または償却原価による平均残高＋その他有価証券に係る前期末評価差額*＋売買目的有価証券に係る前期末評価損益**

* 税効果控除前の金額による

** 売買目的有価証券には運用目的の金銭の信託を含む

資産運用利回り (実現利回り)

(単位: 百万円)

区 分	平成21年度			平成22年度		
	資産運用損益 (実現ベース)	平均運用額 (取得原価ベース)	利回り	資産運用損益 (実現ベース)	平均運用額 (取得原価ベース)	利回り
			%			%
預 貯 金	2,117	45,231	4.68	1,668	61,433	2.72
コールローン	119	87,833	0.14	82	78,137	0.11
買現先勘定	184	140,024	0.13	152	124,533	0.12
債券貸借取引支払保証金	21	16,171	0.13	11	9,482	0.12
買入金銭債権	5,157	801,612	0.64	6,260	1,057,685	0.59
金銭の信託	1,219	8,871	13.74	△29	13,621	△0.21
有価証券	119,301	5,094,840	2.34	213,869	4,750,835	4.50
公 社 債	38,604	2,557,179	1.51	38,934	2,413,617	1.61
株 式	81,689	1,113,637	7.34	151,142	940,648	16.07
外国証券	△1,866	1,356,273	△0.14	24,636	1,329,997	1.85
その他の証券	873	67,750	1.29	△844	66,572	△1.27
貸付金	9,288	496,472	1.87	7,841	444,081	1.77
土地・建物	11,013	241,110	4.57	10,426	233,756	4.46
金融派生商品	11,434	—	—	23,457	—	—
そ の 他	4,321	—	—	2,434	—	—
合 計	164,178	6,932,168	2.37	266,174	6,773,567	3.93

- (注) 1. 資産運用損益 (実現ベース) は、損益計算書における「資産運用収益」および「積立保険料等運用益」の合計額から「資産運用費用」を控除した金額です。
 2. 平均運用額 (取得原価ベース) は原則として各月末残高 (取得原価または償却原価) の平均に基づいて算出しています。ただし、コールローン、買現先勘定、債券貸借取引支払保証金および買入金銭債権については日々の残高 (取得原価または償却原価) の平均に基づいて算出しています。

(参考) 時価総合利回り

(単位: 百万円)

区 分	平成21年度			平成22年度		
	資産運用損益等 (時価ベース)	平均運用額 (時価ベース)	利回り	資産運用損益等 (時価ベース)	平均運用額 (時価ベース)	利回り
			%			%
預 貯 金	2,117	45,231	4.68	1,668	61,433	2.72
コールローン	119	87,833	0.14	82	78,137	0.11
買現先勘定	184	140,024	0.13	152	124,533	0.12
債券貸借取引支払保証金	21	16,171	0.13	11	9,482	0.12
買入金銭債権	26,844	788,730	3.40	3,643	1,066,490	0.34
金銭の信託	1,219	8,278	14.73	△29	14,463	△0.20
有価証券	732,125	6,191,270	11.83	△131,877	6,460,090	△2.04
公 社 債	35,980	2,595,505	1.39	52,909	2,449,318	2.16
株 式	671,643	2,185,334	30.73	△199,638	2,602,299	△7.67
外国証券	22,162	1,343,415	1.65	16,296	1,341,169	1.22
その他の証券	2,339	67,015	3.49	△1,445	67,303	△2.15
貸付金	9,288	496,472	1.87	7,841	444,081	1.77
土地・建物	11,013	241,110	4.57	10,426	233,756	4.46
金融派生商品	10,742	—	—	27,931	—	—
そ の 他	4,321	—	—	2,434	—	—
合 計	797,998	8,015,123	9.96	△77,715	8,492,468	△0.92

- (注) 資産運用利回り (実現利回り) にその他有価証券の評価差額等を加味した時価ベースの利回りです。
 なお、資産運用損益等 (時価ベース) は、資産運用損益 (実現ベース) にその他有価証券に係る評価差額 (税効果控除前の金額による) の当期増加額および繰延ヘッジ損益 (税効果控除前の金額による) の当期増加額を加算した金額です。
 また、平均運用額 (時価ベース) は、平均運用額 (取得原価ベース) にその他有価証券に係る前期末評価差額 (税効果控除前の金額による) および運用目的の金銭の信託に係る前期末評価損益を加算した金額です。

現
状

経
営
に
つ
い
て

商
品
・
サ
ー
ビ
ス
に
つ
い
て

業
績
テ
ー
タ

コ
ー
ポ
レ
ー
ト
テ
ー
タ

事業の状況

海外投融資

(単位:百万円)

区分	年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
外貨建	外国公社債	242,605	21.1	203,845	13.5	195,020	12.9	227,726	15.2	224,847	15.9
	外国株式	283,007	24.6	370,011	24.5	773,402	51.3	767,093	51.3	778,203	55.1
	その他	352,601	30.6	433,849	28.8	318,730	21.1	309,311	20.7	228,232	16.2
	外貨建資産計	878,215	76.3	1,007,706	66.8	1,287,152	85.4	1,304,132	87.2	1,231,283	87.2
円貨建	非居住者貸付	5,866	0.5	7,258	0.5	7,287	0.5	5,940	0.4	5,675	0.4
	外国公社債	116,034	10.1	372,431	24.7	112,551	7.5	88,170	5.9	77,827	5.5
	その他	150,542	13.1	120,938	8.0	100,849	6.7	96,557	6.5	96,506	6.8
	円貨建資産計	272,443	23.7	500,628	33.2	220,689	14.6	190,668	12.8	180,009	12.8
合計	1,150,658	100.0	1,508,335	100.0	1,507,842	100.0	1,494,800	100.0	1,411,293	100.0	
海外投融資利回り											
運用資産利回り (インカム利回り)		3.44%		3.72%		0.86%		0.32%		2.20%	
資産運用利回り (実現利回り)		2.93%		1.36%		△6.64%		0.93%		2.38%	
(参考)時価総合利回り		5.21%		△4.32%		△8.65%		3.77%		1.78%	

(注) 1. 金銭の信託として運用しているものを含めて表示しています。

2. 「海外投融資利回り」のうち「運用資産利回り(インカム利回り)」は、海外投融資に係る利息及び配当金収入および金銭の信託運用損益のうちの利息及び配当金収入相当額を当該資産の平均運用額(取得原価ベース)で除した比率です。

3. 「海外投融資利回り」のうち「資産運用利回り(実現利回り)」は、海外投融資に係る資産について、P80と同様の方法により算出したものです。

4. 「海外投融資利回り」のうち「時価総合利回り」は、海外投融資に係る資産について、P80と同様の方法により算出したものです。

5. 海外投融資資産の平均運用額(取得原価ベース)は、各月末残高(取得原価または償却原価)の平均に基づいて算出しています。ただし、買入金銭債権については日々の残高(取得原価または償却原価)の平均に基づいて算出しています。

公共関係投融資(新規引受ベース)

(単位:百万円)

区分	年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
公債	国債	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	特別法人債	1,956	16.6	1,939	12.1	2,073	21.3	1,586	17.2	1,917	26.8
	小計	1,956	16.6	1,939	12.1	2,073	21.3	1,586	17.2	1,917	26.8
貸付	公社・公団	9,843	83.4	14,057	87.9	7,662	78.7	7,634	82.8	5,245	73.2
	地方住宅供給公社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	9,843	83.4	14,057	87.9	7,662	78.7	7,634	82.8	5,245	73.2	
合計	11,799	100.0	15,996	100.0	9,735	100.0	9,220	100.0	7,162	100.0	

(注) 公共債は年度中の取得額、貸付は年度中の貸付額です。

各種ローン金利

平成21年度

(単位：%)

貸出の種類	利 率															
	平成21年 4月1日	平成21年 4月10日	平成21年 5月8日	平成21年 5月11日	平成21年 6月10日	平成21年 7月10日	平成21年 8月10日	平成21年 8月11日	平成21年 9月10日	平成21年 10月9日	平成21年 10月13日	平成21年 11月10日	平成21年 12月10日	平成22年 1月12日	平成22年 2月10日	平成22年 3月10日
長期貸付基準金利 (長期プライムレート)	2.250	2.300	2.100			1.900		1.950	1.800	1.700		1.850	1.650			1.600
住 宅 ローン	長期プライムレート連動型	2.650	2.800		2.850	2.750		2.600		2.650		2.500	2.400	2.550	2.350	
	短期プライムレート連動型	2.675	2.825									2.775			2.725	
消費者ローン	13.800															

(注) 消費者ローンはTOKIO MARINE NICHIDO CARD付帯のカードローン金利を記載しています。

平成22年度

(単位：%)

貸出の種類	利 率																	
	平成22年 4月1日	平成22年 4月9日	平成22年 4月12日	平成22年 5月10日	平成22年 5月11日	平成22年 6月10日	平成22年 7月12日	平成22年 8月10日	平成22年 9月10日	平成22年 10月8日	平成22年 10月12日	平成22年 11月10日	平成22年 12月10日	平成23年 1月11日	平成23年 1月12日	平成23年 2月10日	平成23年 3月10日	
長期貸付基準金利 (長期プライムレート)	1.600	1.650			1.600	1.450		1.400	1.450	1.300		1.400	1.600		1.500	1.650	1.600	
住 宅 ローン	長期プライムレート連動型	2.350		2.400	2.450		2.400	2.350	2.300	2.150		2.200	2.050	2.150	2.300		2.200	2.350
	短期プライムレート連動型	2.725		2.775				2.725	2.675	2.525			2.475					

(注) 消費者ローンは平成22年3月31日付で新規募集を停止したため、今回より記載していません。

投信販売の実績

(単位：百万円)

預り資産残高：投信	平成20年度	平成21年度	平成22年度
		44,582	52,785

現
状

経
営
に
関
し
て

商
品
・
サ
ー
ビ
ス
に
関
し
て

業
績
デ
ー
タ

コ
ー
ポ
レ
ー
ト
デ
ー
タ

事業の状況

ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

	平成21年度 (平成22年3月31日現在)	平成22年度 (平成23年3月31日現在)
(A) ソルベンシー・マージン総額	3,867,559	3,529,689
資本金等(純資産の部の合計額から社外流出予定額、評価・換算差額等および繰延資産を控除した額)	748,242	762,040
価格変動準備金	57,672	61,470
危険準備金	—	—
異常危険準備金	1,041,450	1,045,992
一般貸倒引当金	2,905	2,687
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)×90%(評価損の場合は100%)	1,546,253	1,232,724
土地の含み損益×85%(評価損の場合は100%)	224,773	170,151
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
意図的保有による控除額	10,000	10,000
その他	256,262	264,621
(B) リスクの合計額	907,228	856,895
$\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2+R_5+R_6}$		
一般保険リスク (R ₁)	103,729	101,451
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	—	—
予定利率リスク (R ₃)	8,556	8,290
資産運用リスク (R ₄)	468,713	408,970
経営管理リスク (R ₅)	19,604	18,552
巨大災害リスク (R ₆)	399,212	408,926
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	852.6%	823.8%

(注) 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

〈ソルベンシー・マージン比率〉

・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てていますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。

・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわちソルベンシー・マージン総額:上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが「ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))です。

・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。

- ①保険引受上の危険(一般保険リスク・第三分野保険の保険リスク):
保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く)
- ②予定利率上の危険(予定利率リスク):
実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
- ③資産運用上の危険(資産運用リスク):
保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
- ④経営管理上の危険(経営管理リスク):
業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③および⑤以外のもの
- ⑤巨大災害に係る危険(巨大災害リスク):
通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険

・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・危険準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額です。

・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。

【参考】平成23年度末（平成24年3月31日）から適用される新基準による数値

(単位：百万円)

	平成22年度 (平成23年3月31日現在)
(A) ソルベンシー・マージン総額	3,529,689
資本金等（純資産の部の合計額から社外流出予定額、評価・換算差額等および繰延資産を控除した額）	762,040
価格変動準備金	61,470
危険準備金	—
異常危険準備金	1,045,992
一般貸倒引当金	2,687
その他有価証券の評価差額（税効果控除前）×90%（評価損の場合は100%）	1,232,724
土地の含み損益×85%（評価損の場合は100%）	170,151
払戻積立金超過額	—
負債性資本調達手段等	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—
意図的保有による控除額	10,000
その他	264,621
(B) リスクの合計額	1,169,807
$\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2}+R_5+R_6$	
一般保険リスク（R ₁ ）	151,493
第三分野保険の保険リスク（R ₂ ）	—
予定利率リスク（R ₃ ）	29,781
資産運用リスク（R ₄ ）	718,400
経営管理リスク（R ₅ ）	25,610
巨大災害リスク（R ₆ ）	380,831
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	603.4%

・ソルベンシー・マージン比率の信頼性にかかる一層の向上の観点から、ソルベンシー・マージン比率の算出にかかる法令等が改正され、平成23年度末（平成24年3月31日）から新基準（注）が適用されます。適用開始までの間、新基準に基づいて算出したソルベンシー・マージン比率を参考表示します。なお、新基準のソルベンシー・マージン比率は、リスク計測の厳格化等により、現行基準に比べ低下する場合がありますが、現行制度と同様、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。

（注）「新基準」とは、現行基準に平成22年4月20日付内閣府令第23号及び金融庁告示第48号（平成24年3月31日から適用）の改定内容を反映したものです。

現状

経営について

商品・サービスについて

業績データ

コーポレートデータ

経理の状況

計算書類

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	年度	平成21年度 (平成22年3月31日現在)		平成22年度 (平成23年3月31日現在)		比較増減
		金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)			%		%	
現金及び預貯金		140,772	1.45	75,368	0.87	△65,403
現金		203		166		
預貯金		140,568		75,202		
コールローン		86,400	0.89	183,300	2.11	96,900
買現先勤定		150,969	1.56	121,967	1.41	△29,002
買入金銭債権		1,138,105	11.72	807,107	9.31	△330,997
金銭の信託		11,778	0.12	14,056	0.16	2,278
有価証券		6,784,410	69.88	6,071,496	70.03	△712,913
国債		1,820,290		1,786,565		
地方債		170,832		147,273		
社債		639,301		538,007		
株外		2,736,832		2,203,523		
外国証券		1,347,394		1,339,275		
その他の証券		69,758		56,851		
貸付金		459,465	4.73	399,491	4.61	△59,973
保険約款貸付		18,926		18,445		
一般貸付		440,539		381,046		
有形固定資産		256,754	2.64	248,786	2.87	△7,967
土地		117,911		112,175		
建物		116,862		113,108		
建設仮勘定		4,444		6,566		
その他の有形固定資産		17,535		16,935		
無形固定資産		631	0.01	547	0.01	△83
その他の資産		692,320	7.13	693,410	8.00	1,089
未収保険料		3,128		3,500		
代理店貸		150,901		152,542		
外国代理店貸		25,092		20,944		
共同保険貸		18,364		17,711		
再保険貸		73,980		77,916		
外国再保険貸		29,612		27,109		
代理業務貸		6		10		
未収収益		30,486		30,676		
未収収益		10,812		10,334		
預託金		14,125		13,857		
地震保険預託金		141,028		148,904		
仮払金		63,223		56,295		
先物取引差入証拠金		7,503		5,953		
先物取引差金勘定		159		11		
金融派生商品		122,753		126,499		
その他の資産		1,140		1,140		
繰延税金資産		—	—	65,611	0.76	65,611
支払承諾見返		3,178	0.03	3,164	0.04	△14
貸倒引当金		△16,739	△0.17	△14,301	△0.16	2,438
資産の部合計		9,708,046	100.00	8,670,008	100.00	△1,038,037

(単位：百万円)

科目	年度	平成21年度 (平成22年3月31日現在)		平成22年度 (平成23年3月31日現在)		比較増減
		金額	構成比	金額	構成比	
(負債の部)						
保険契約準備金		5,657,118	58.27	5,589,810	64.47	△67,308
支払準備金		819,359		902,620		
責任準備金		4,837,759		4,687,189		
社		30,000	0.31	10,000	0.12	△20,000
その他の負債		1,809,183	18.64	1,154,355	13.31	△654,827
共同保険借		17,093		17,626		
再保険借		52,287		51,171		
外国再保険借		56,489		52,360		
債券貸借取引受入担保金		1,087,058		646,436		
借入金		195,039		88,517		
未払法人税等		33,874		14,295		
預り金		29,756		29,799		
前受収益		162		74		
未払金		163,937		77,094		
仮受金		61,259		62,855		
先物取引差金勘定		9		157		
金融派生商品		107,526		106,713		
リース債務		4,683		3,763		
資産除去債務		—		3,484		
その他の負債		4		4		
退職給付引当金		156,815	1.62	161,892	1.87	5,077
賞与引当金		16,843	0.17	13,092	0.15	△3,751
固定資産解体費用引当金		1,603	0.02	—	—	△1,603
特別法上の準備金		57,672	0.59	61,470	0.71	3,797
価格変動準備金		57,672		61,470		
繰延税金負債		59,490	0.61	—	—	△59,490
支払承諾		3,178	0.03	3,164	0.04	△14
負債の部合計		7,791,907	80.26	6,993,785	80.67	△798,121
(純資産の部)						
資本金		101,994	1.05	101,994	1.18	—
資本剰余金		123,521	1.27	123,521	1.42	—
資本準備金		123,521		123,521		
利益剰余金		572,735	5.90	556,531	6.42	△16,203
利益準備金		81,099		81,099		
その他利益剰余金		491,635		475,432		
固定資産圧縮積立金		18,431		17,457		
特別準備金		235,426		235,426		
繰越利益剰余金		237,778		222,548		
株主資本合計		798,251	8.22	782,047	9.02	△16,203
その他有価証券評価差額金		1,101,486	11.35	874,915	10.09	△226,571
繰延ヘッジ損益		16,401	0.17	19,260	0.22	2,859
評価・換算差額等合計		1,117,888	11.52	894,175	10.31	△223,712
純資産の部合計		1,916,139	19.74	1,676,223	19.33	△239,916
負債及び純資産の部合計		9,708,046	100.00	8,670,008	100.00	△1,038,037

現状

経営について

商品・サービスについて

業績データ

コーポレートデータ

経理の状況

(注) 1. 有価証券の評価基準および評価方法は次のとおりとしています。

- (1) 満期保有目的の債券の評価は、移動平均法に基づく償却原価法(定額法)によっています。
- (2) 子会社株式および関連会社株式の評価は、移動平均法に基づく原価法によっています。
- (3) その他有価証券のうち時価のあるもの評価は、期末日の市場価格等に基づく時価法によっています。
なお、評価差額は全部純資産直入法により処理し、また、売却原価の算定は移動平均法に基づいています。
- (4) その他有価証券のうち時価を把握することが極めて困難と認められるもの評価は、移動平均法に基づく原価法によっています。
- (5) 有価証券運用を主目的とする単独運用の金銭の信託において信託財産として運用されている有価証券の評価は、時価法によっています。

2. デリバティブ取引の評価は、時価法によっています。

3. 有形固定資産の減価償却は、定率法により行っています。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(建物付属設備および構築物を除く)については、定額法により行っています。

4. 外貨建資産等の本邦通貨への換算は、外貨建取引等会計処理基準に準拠して行っています。

5. 貸倒引当金は債権の貸倒れによる損失に備えるため、資産の自己査定基準および償却・引当基準に基づき、次のとおり計上しています。

破産、特別清算、手形交換所における取引停止処分等、法的・形式的に経営破綻の事実が発生している債務者に対する債権および実質的に経営破綻に陥っている債務者に対する債権については、債権額から担保の処分可能見込額および保証による回収が可能と認められる額等を控除し、その残額を計上しています。

今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に対する債権については、債権額から担保の処分可能見込額および保証による回収が可能と認められる額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断して必要と認められる額を計上しています。

上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績等から算出した貸倒実績率を債権額に乗じた額を計上しています。

特定海外債権については、対象国の政治経済情勢等に起因して生じる損失見込額を特定海外債権引当額として計上しています。

また、すべての債権は資産の自己査定基準に基づき、資産計上部門および資産管理部門が資産査定を実施し、当該部門から独立した資産監査部門が査定結果を監査しており、その査定結果に基づいて上記の計上を行っています。

6. 退職給付引当金は従業員の退職給付に充てるため、当期末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づいて、当期末に発生していると認められる額を計上しています。

過去勤務債務については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(14年)による定額法により、費用処理しています。

数理計算上の差異については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(14年)による定額法により、翌期から費用処理しています。

7. 賞与引当金は従業員賞与に充てるため、支給見込額を基準に計上しています。

8. 価格変動準備金は株式等の価格変動による損失に備えるため、保険業法第115条の規定に基づき計上しています。

9. 所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年4月1日以前に開始する期に属するものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

10. 当社は、次のとおりヘッジ会計を適用しています。

(1) 金利関係

長期の保険契約等に付随して発生する金利の変動リスクを軽減するため、金融資産と保険負債等を同時に評価・分析し、リスクをコントロールする資産・負債総合管理(ALM)を実施しています。この管理のために利用している金利スワップ取引の一部については、業種別監査委員会報告第26号「保険業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」(平成14年9月3日 日本公認会計士協会)以下「第26号報告」という。)に基づく繰延ヘッジ処理を行っています。ヘッジ対象となる保険負債とヘッジ手段である金利スワップ取引を一定の残存期間毎にグルーピングのうえヘッジ指定を行っており、ヘッジに高い有効性があるため、ヘッジ有効性の評価を省略しています。また、第26号報告適用前の業種別監査委員会報告第16号「保険業における金融商品会計基準適用に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」(平成12年3月31日 日本公認会計士協会)による平成15年3月末の繰延ヘッジ利益については、第26号報告の経過措置に基づいて、ヘッジ手段の残存期間(1年~17年)にわたり定額法により損益に配分しています。なお、本経過措置に基づく、当期末の繰延ヘッジ損益(税相当額控除前)は26,700百万円、当期の損益に配分された額は2,505百万円です。

(2) 為替関係

外貨建資産に係る将来の為替相場の変動リスクを軽減する目的で実施している通貨スワップ取引・為替予約取引の一部については、時価ヘッジ処理および振当処理を行っています。なお、ヘッジ手段とヘッジ対象の重要な条件が同一であり、ヘッジに高い有効性があるため、ヘッジ有効性の評価を省略しています。

11. 消費税等の会計処理は税抜方式によっています。ただし、損害調査費、営業費及び一般管理費等の費用は税込方式によっています。

なお、資産に係る控除対象外消費税等は仮払金に計上し、5年間で均等償却を行っています。

12. 当期より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。

これにより、経常利益は125百万円減少し、税引前当期純利益は2,863百万円減少しています。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は3,696百万円です。

13. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券は690,235百万円です。

14. 貸付金のうち、保険業法施行規則第59条の2第1項第5号口による破綻先債権額、延滞債権額、3か月以上延滞債権額および貸付条件緩和債権額の合計額は7,841百万円です。この内訳は次のとおりです。

(1) 破綻先債権額は429百万円です。

破綻先債権とは、元本または利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本または利息の取立てまたは弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸付金(貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸付金」という。)のうち、法人税法施行令(昭和40年政令第97号)第96条第1項第3号イからホまで(貸倒引当金勘定への繰入限度額)に掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸付金です。

(2) 延滞債権額は7,114百万円です。

延滞債権とは、未収利息不計上貸付金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸付金以外の貸付金です。

(3) 3か月以上延滞債権はありません。

3か月以上延滞債権とは、元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上遅延している貸付金で、破綻先債権および延滞債権に該当しないものです。

(4) 貸付条件緩和債権額は297百万円です。

貸付条件緩和債権とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金で、破綻先債権、延滞債権および3か月以上延滞債権に該当しないものです。

15. 有形固定資産の減価償却累計額は298,088百万円、圧縮記帳額は17,449百万円です。

16. 関係会社に対する金銭債権総額は12,043百万円、金銭債務総額は4,256百万円です。

17. 取締役および監査役に対する金銭債務総額は354百万円です。

18. 繰延税金資産の総額は588,407百万円、繰延税金負債の総額は522,796百万円です。

なお、繰延税金資産の総額の算出にあたって、評価性引当額15,222百万円を控除しています。

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳は、責任準備金366,966百万円、退職給付引当金58,443百万円、支払備金57,173百万円です。

繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳は、その他有価証券およびこれに準じて処理する買入金銭債権に係る評価差益494,780百万円です。

19. 貸借対照表に計上した有形固定資産のほか、リース契約により使用している重要な有形固定資産として、電子計算機があります。

20. 関係会社株式の額は796,815百万円、関係会社出資金の額は33,688百万円です。

21. 担保に供している資産は、有価証券217,577百万円です。

また、担保付き債務は、責任準備金22,848百万円、借入金17百万円、支払備金0百万円です。

22. 当期末における支払備金および責任準備金の内訳は次のとおりです。

(支払備金)

支払備金(出再支払備金控除前、(口)に掲げる保険を除く)	914,076百万円
同上にかかる出再支払備金	111,122百万円
差引(イ)	802,953百万円
地震保険および自動車損害賠償責任保険にかかる支払備金(口)	99,666百万円
計(イ+口)	902,620百万円

(責任準備金)

普通責任準備金(出再責任準備金控除前)	1,366,360百万円
同上にかかる出再責任準備金	68,243百万円
差引(イ)	1,298,116百万円
その他の責任準備金(口)	3,389,073百万円
計(イ+口)	4,687,189百万円

23. 1株当たりの純資産額は1,081円64銭です。算定上の基礎である純資産額は1,676,223百万円であり、その全額が普通株式に係るものです。また、普通株式の当期末発行済株式数は1,549,692千株です。

24. 無形固定資産のうち主なものは電話加入権です。

25. 退職給付に関する事項は次のとおりです。

(1) 退職給付債務およびその内訳

イ. 退職給付債務	△362,010百万円
ロ. 年金資産	150,289百万円
ハ. 未積立退職給付債務(イ+ロ)	△211,721百万円
ニ. 会計基準変更時差異の未処理額	-百万円
ホ. 未認識数理計算上の差異	66,051百万円
ヘ. 未認識過去勤務債務	△16,222百万円
ト. 貸借対照表計上額の純額(ハ+ニ+ホ+ヘ)	△161,892百万円
チ. 前払年金費用	-百万円
リ. 退職給付引当金(ト-チ)	△161,892百万円

(2) 退職給付債務等の計算基礎

退職給付見込額の期間配分方法	退職一時金制度および企業年金基金制度は主にポイント基準を採用しています。
割引率	2.0%
期待運用収益率	2.3%
過去勤務債務の額の処理年数	14年
数理計算上の差異の処理年数	14年

26. 賃借不動産の一部について、賃借期間終了時の原状回復義務に係る資産除去債務を計上しています。また、社有不動産の一部について、有害物質の除去義務に係る資産除去債務を計上しています。

資産除去債務の見積りにあたり、使用見込期間は18年～50年、割引率は1.4%～2.3%を採用しています。

当期における総額の増減は、次のとおりです。

期首残高	3,696百万円
有形固定資産の取得に伴う増加額	217百万円
時の経過による調整額	61百万円
資産除去債務の履行による減少額	△491百万円
当期末残高	3,484百万円

なお、当期から「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用したことによる期首残高からの増減を記載しています。

27. 債務保証および保証類似行為は、次のとおりです。

(債務保証)

子会社の債務を保証しています。当期末における各社に対する保証残高は次のとおりです。

トウキョウ・マリン・ヨーロッパ・インシュアランス・リミテッド	28,634百万円
トウキョウ・ミレニアム・リー・リミテッド	34,085百万円
トウキョウ・マリン・グローバル・リー・リミテッド	12,927百万円
トウキョウ・ミレニアム・リー・ユークー・リミテッド	29,651百万円
ティーエヌユーエス・インシュアランス・カンパニー	14百万円
トウキョウ・マリン・コンパニー・ア・デ・セグロス	2,232百万円
トウキョウ・マリン・パシフィック・インシュアランス・リミテッド	2,133百万円
キルン・アンダーライティング・リミテッド	21,181百万円
東京海上日動火災保険(中国)有限公司	720百万円
トウキョウ・マリン・アンダーライティング・リミテッド	64,418百万円
計	196,001百万円

(保証類似行為)

トウキョウマリン・フィナンシャルソリューションズ・リミテッドとの間で、同社の純資産額が一定水準を下回った場合、または債務の支払いに必要な流動資産が不足した場合に、同社に対して資金を提供すること等を約したサポート・アグリーメントを締結しています。同社の当期末における本契約の対象債務残高は、192,530百万円です。

なお、本契約は同社の債務支払いに関して保証を行うものではなく、また当期末において、同社は純資産額を一定水準以上に保っており、かつ流動資産の不足も発生していません。

28. 貸出コミットメントに係る貸出未実行残高は次のとおりです。

貸出コミットメントの総額	61,458百万円
貸出実行残高	6,488百万円
差引額	54,969百万円

29. デリバティブ取引に関連して、担保として受け入れている有価証券は13,389百万円(時価)です。

30. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。

経理の状況

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	年 度	平成21年度	平成22年度	比較増減
		(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)	(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)	
		金 額	金 額	
経 常 収 益		2,257,690	2,317,917	60,226
保 険 引 受 収 益		2,113,776	2,074,105	△ 39,670
正 味 収 入 保 険 料		1,736,082	1,742,746	6,663
収 入 積 立 保 険 料		130,431	118,199	△ 12,232
積 立 保 険 料 等 運 用 益		63,757	62,419	△ 1,338
支 払 備 金 戻 入 額		22,746	—	△ 22,746
責 任 準 備 金 戻 入 額		160,649	150,569	△ 10,080
そ の 他 保 険 引 受 収 益		108	171	63
資 産 運 用 収 益		136,295	236,110	99,814
利 息 及 び 配 当 金 収 入		108,453	137,671	29,217
金 銭 の 信 託 運 用 益		1,219	46	△ 1,173
有 価 証 券 売 却 益		72,273	126,787	54,513
有 価 証 券 償 還 益		1,494	626	△ 868
金 融 派 生 商 品 収 益		11,438	23,464	12,026
為 替 差 益		2,013	—	△ 2,013
そ の 他 運 用 収 益		3,159	9,932	6,773
積 立 保 険 料 等 運 用 益 振 替		△ 63,757	△ 62,419	1,338
そ の 他 経 常 収 益		7,619	7,701	82
経 常 費 用		2,110,289	2,172,162	61,873
保 険 引 受 費 用		1,746,245	1,821,735	75,490
正 味 支 払 保 険 金		1,096,461	1,094,259	△ 2,202
損 害 調 査 費		82,004	81,747	△ 256
諸 手 数 料 及 び 集 金 費		304,459	300,906	△ 3,553
満 期 返 戻 金		259,581	257,580	△ 2,000
契 約 者 配 当 金		594	505	△ 88
支 払 備 金 繰 入 額		—	83,260	83,260
為 替 差 損		2,625	2,949	324
そ の 他 保 険 引 受 費 用		518	525	6
資 産 運 用 費 用		35,874	32,354	△ 3,519
金 銭 の 信 託 運 用 損		—	75	75
売 買 目 的 有 価 証 券 運 用 損		134	—	△ 134
有 価 証 券 売 却 損		4,391	7,134	2,742
有 価 証 券 評 価 損		24,857	13,645	△ 11,211
有 価 証 券 償 還 損		5,223	4,432	△ 791
為 替 差 損		—	1,256	1,256
そ の 他 運 用 費 用		1,267	5,810	4,542
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費		316,108	313,021	△ 3,086
そ の 他 経 常 費 用		12,061	5,050	△ 7,010
支 払 利 息		4,630	2,992	△ 1,638
貸 倒 引 当 金 繰 入 額		5,559	914	△ 4,644
貸 倒 損		24	8	△ 16
そ の 他 の 経 常 費 用		1,846	1,135	△ 711
経 常 利 益		147,401	145,754	△ 1,646
特 別 利 益		3,812	2,996	△ 815
固 定 資 産 処 分 益		2,930	2,366	△ 563
固 定 資 産 解 体 費 用 引 当 金 戻 入 額		498	630	131
そ の 他 特 別 利 益		383	—	△ 383
特 別 損 失		17,819	18,919	1,100
固 定 資 産 処 分 損 失		2,622	3,928	1,305
減 損 損 失		8,862	4,436	△ 4,425
特 別 法 上 の 準 備 金 繰 入 額		4,210	3,797	△ 412
価 格 変 動 準 備		(4,210)	(3,797)	(△ 412)
関 係 会 社 出 資 金 評 価 損		—	3,663	3,663
資 産 除 去 債 務 会 計 基 準 の 適 用 に 伴 う 影 響 額		—	2,737	2,737
関 係 会 社 株 式 評 価 損		2,120	355	△ 1,765
関 係 会 社 株 式 売 却 損		3	—	△ 3
税 引 前 当 期 純 利 益		133,393	129,831	△ 3,562
法 人 税 及 び 住 民 税 等		38,837	34,041	△ 4,796
過 年 税 等		8,947	—	△ 8,947
法 人 税 等 調 整 額		△ 8,847	△ 4,923	3,924
法 人 税 等 合 計		38,937	29,117	△ 9,819
当 期 純 利 益		94,456	100,713	6,257

(注) 1. 関係会社との取引による収益総額は18,541百万円、費用総額は90,674百万円です。

2. (1) 正味収入保険料の内訳は次のとおりです。

収入保険料	2,083,128 百万円
支払再保険料	340,381 百万円
差引	1,742,746 百万円

(2) 正味支払保険料の内訳は次のとおりです。

支払保険金	1,367,664 百万円
回収再保険金	273,405 百万円
差引	1,094,259 百万円

(3) 諸手数料及び集金費の内訳は次のとおりです。

支払諸手数料及び集金費	325,714 百万円
出再保険手数料	24,807 百万円
差引	300,906 百万円

(4) 支払備金繰入額(△は支払備金戻入額)の内訳は次のとおりです。

支払備金繰入額(出再支払備金控除前、(口)に掲げる保険を除く)	115,137 百万円
同上にかかる出再支払備金繰入額	52,480 百万円
差引(イ)	62,656 百万円
地震保険および自動車損害賠償責任保険にかかる支払備金繰入額(口)	20,603 百万円
計(イ+口)	83,260 百万円

(5) 責任準備金繰入額(△は責任準備金戻入額)の内訳は次のとおりです。

普通責任準備金繰入額(出再責任準備金控除前)	1,123 百万円
同上にかかる出再責任準備金繰入額	7,035 百万円
差引(イ)	△5,912 百万円
その他の責任準備金繰入額(口)	△144,657 百万円
計(イ+口)	△150,569 百万円

(6) 利息及び配当金収入の内訳は次のとおりです。

預貯金利息	403 百万円
コールローン利息	82 百万円
買現先勘定利息	152 百万円
債券貸借取引支払保証金利息	11 百万円
買入金銭債権利息	2,914 百万円
有価証券利息・配当金	113,044 百万円
貸付金利息	8,034 百万円
不動産賃貸料	10,426 百万円
その他利息・配当金	2,602 百万円
計	137,671 百万円

3. 金銭の信託運用益および金銭の信託運用損中の評価損益の合計額は1,067百万円の益です。

また、金融派生商品収益中の評価損益は19,777百万円の損です。

4. 1株当たりの当期純利益は64円98銭です。

算定上の基礎である当期純利益は100,713百万円であり、その全額が普通株式に係るものです。また、普通株式の期中平均株式数は1,549,692千株です。

なお、潜在株式がないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益は算出していません。

5. 損害調査費および営業費及び一般管理費として計上した退職給付費用ならびにその内訳は次のとおりです。

勤務費用	14,731 百万円
利息費用	7,009 百万円
期待運用収益	△3,414 百万円
数理計算上の差異の費用処理額	9,010 百万円
過去勤務債務の費用処理額	△2,681 百万円
退職給付費用	24,654 百万円
確定拠出年金への掛金拠出額	1,813 百万円
退職給付費用計	26,468 百万円

経理の状況

6. 当期における法定実効税率は36.1%、税効果会計適用後の法人税等の負担率は22.4%であり、この差異の主な内訳は、受取配当等の益金不算入額△12.1%、評価性引当額△2.2%、交際費等の損金不算入額0.9%です。
7. 当期において、以下の資産について減損損失を計上しています。

用途	種類	場所等	減損損失(百万円)			
			土地	建物	その他	合計
賃貸用不動産等	土地および建物等	群馬県前橋市に保有するビル	37	778	49	864
遊休不動産等および売却予定不動産等	土地および建物等	大阪府和泉市に保有する厚生施設など26物件	2,447	1,123	0	3,571
合計			2,485	1,901	50	4,436

保険事業等の用に供している不動産等については保険事業等全体で1つの資産グループとし、賃貸用不動産等、遊休不動産等および売却予定不動産等については主たる用途に基づき個別の物件毎にグルーピングしています。

主に不動産価格の下落に伴い賃貸用不動産等、遊休不動産等および売却予定不動産等の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しています。

なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額と使用価値のいずれか高い価額としています。正味売却価額は不動産鑑定士による鑑定評価額等から処分費用見込額を減じた額によっており、使用価値は将来キャッシュ・フローを9.6%で割り引いて算定しています。

8. 関連当事者との取引に関する事項は次のとおりです。

(1) 保証類似行為

①名称：トウキョウマリン・フィナンシャルソリューションズ・リミテッド

②当社が有する議決権の割合：100%

③当社と関連当事者との関係：子会社

④取引の内容及び取引金額：

トウキョウマリン・フィナンシャルソリューションズ・リミテッドとの間で、同社の純資産額が一定水準を下回った場合、または債務の支払いに必要な流動資産が不足した場合に、同社に対して資金を提供すること等を約したサポート・アグリーメントを締結しています。同社の当期末における本契約の対象債務残高は、192,530百万円です。

なお、本契約は同社の債務支払いに関して保証を行うものではなく、また当期末において、同社は純資産額を一定水準以上に保っており、かつ流動資産の不足も発生していません。

⑤取引条件及び取引条件の決定方針：

サポート・アグリーメントフィーについては、当該契約のリスク量を勘案した合理的な水準で決定しています。

9. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。

株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

科 目	年 度	平成21年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	平成22年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	比較増減
		金 額	金 額	
株主資本				
資本金				
前期末残高		101,994	101,994	—
当期変動額		—	—	—
当期変動額合計		—	—	—
当期末残高		101,994	101,994	—
資本剰余金				
資本準備金				
前期末残高		123,521	123,521	—
当期変動額		—	—	—
当期変動額合計		—	—	—
当期末残高		123,521	123,521	—
利益剰余金				
利益準備金				
前期末残高		81,099	81,099	—
当期変動額		—	—	—
当期変動額合計		—	—	—
当期末残高		81,099	81,099	—
その他利益剰余金				
固定資産圧縮積立金				
前期末残高		17,720	18,431	710
当期変動額				
固定資産圧縮積立金の積立		2,912	697	△ 2,215
固定資産圧縮積立金の取崩		△ 2,201	△ 1,671	529
当期変動額合計		710	△ 974	△ 1,685
当期末残高		18,431	17,457	△ 974
特別準備金				
前期末残高		235,426	235,426	—
当期変動額		—	—	—
当期変動額合計		—	—	—
当期末残高		235,426	235,426	—
繰越利益剰余金				
前期末残高		166,534	237,778	71,243
当期変動額				
固定資産圧縮積立金の積立		△ 2,912	△ 697	2,215
固定資産圧縮積立金の取崩		2,201	1,671	△ 529
剰余金の配当		△ 22,501	△ 116,917	△ 94,416
当期純利益		94,456	100,713	6,257
当期変動額合計		71,243	△ 15,229	△ 86,473
当期末残高		237,778	222,548	△ 15,229

現
状

経
営
に
つ
い
て

商
品
・
サ
ー
ビ
ス
に
つ
い
て

業
績
デ
ー
タ

コ
ー
ポ
レ
ー
ト
デ
ー
タ

経理の状況

株主資本等変動計算書(つづき)

(単位:百万円)

科目	年度	平成21年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	平成22年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	比較増減
		金額	金額	
株主資本合計				
前期末残高		726,296	798,251	71,954
当期変動額				
剰余金の配当		△22,501	△116,917	△94,416
当期純利益		94,456	100,713	6,257
当期変動額合計		71,954	△16,203	△88,158
当期末残高		798,251	782,047	△16,203
評価・換算差額等				
 その他有価証券評価差額金				
前期末残高		692,387	1,101,486	409,099
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		409,099	△226,571	△635,670
当期変動額合計		409,099	△226,571	△635,670
当期末残高		1,101,486	874,915	△226,571
繰延ヘッジ損益				
前期末残高		16,843	16,401	△441
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△441	2,859	3,301
当期変動額合計		△441	2,859	3,301
当期末残高		16,401	19,260	2,859
純資産合計				
前期末残高		1,435,527	1,916,139	480,612
当期変動額				
剰余金の配当		△22,501	△116,917	△94,416
当期純利益		94,456	100,713	6,257
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		408,657	△223,712	△632,369
当期変動額合計		480,612	△239,916	△720,528
当期末残高		1,916,139	1,676,223	△239,916

(注)金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。

貸借対照表(主要項目)の推移

(単位:百万円)

科 目	年 度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
(資 産 の 部)				
現 金 及 び 預 貯 金		46,762	140,772	75,368
コ ー プ ー ン		320,300	86,400	183,300
買 入 先 勘 定		302,893	150,969	121,967
買 入 金 銭 債 権		175,768	1,138,105	807,107
金 銭 の 信 託		8,688	11,778	14,056
有 価 証 券		5,886,171	6,784,410	6,071,496
貸 付 金		520,540	459,465	399,491
有 形 固 定 資 産		264,369	256,754	248,786
無 形 固 定 資 産		652	631	547
そ の 他 資 産		737,022	692,320	693,410
繰 延 税 金 資 産		156,824	—	65,611
支 払 承 諾 見 返		4,845	3,178	3,164
貸 倒 引 当 金		△11,352	△16,739	△14,301
資 産 の 部 合 計		8,413,488	9,708,046	8,670,008
(負 債 の 部)				
保 険 契 約 準 備 金		5,840,725	5,657,118	5,589,810
短 期 社 債		67,953	—	—
社 債		95,000	30,000	10,000
そ の 他 負 債		752,743	1,809,183	1,154,355
退 職 給 付 引 当 金		146,169	156,815	161,892
賞 与 引 当 金		13,702	16,843	13,092
固 定 資 産 解 体 費 用 引 当 金		3,359	1,603	—
特 別 法 上 の 準 備 金		53,462	57,672	61,470
価 格 変 動 準 備 金		(53,462)	(57,672)	(61,470)
繰 延 税 金 負 債		—	59,490	—
支 払 承 諾		4,845	3,178	3,164
負 債 の 部 合 計		6,977,961	7,791,907	6,993,785
(純 資 産 の 部)				
資 本 金		101,994	101,994	101,994
資 本 剰 余 金		123,521	123,521	123,521
利 益 剰 余 金		500,780	572,735	556,531
株 主 資 本 合 計		726,296	798,251	782,047
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		692,387	1,101,486	874,915
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益		16,843	16,401	19,260
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		709,230	1,117,888	894,175
純 資 産 の 部 合 計		1,435,527	1,916,139	1,676,223
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		8,413,488	9,708,046	8,670,008

現 状

経 営 に つ い て

商 品 ・ サ ー ビ ス に つ い て

業 績 デ ー タ

コ ー ポ レ ー ト デ ー タ

経理の状況

損益計算書(主要項目)の推移

(単位:百万円)

科 目	年 度	平成20年度 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)	平成21年度 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)	平成22年度 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)
経 常 収 益		2,367,104	2,257,690	2,317,917
保 険 引 受 収 益		2,181,710	2,113,776	2,074,105
正味収入保険料		1,813,412	1,736,082	1,742,746
収入積立保険料		156,983	130,431	118,199
積立保険料等運用益		68,365	63,757	62,419
支払備金戻入額		26,989	22,746	—
責任準備金戻入額		115,821	160,649	150,569
その他の保険引受収益		138	108	171
資 産 運 用 収 益		175,753	136,295	236,110
利息及び配当金収入		158,317	108,453	137,671
有価証券売却益等		85,173	86,426	150,924
その他の運用収益		627	5,173	9,932
積立保険料等運用益振替		△68,365	△63,757	△62,419
そ の 他 経 常 収 益		9,639	7,619	7,701
経 常 費 用		2,297,480	2,110,289	2,172,162
保 険 引 受 費 用		1,793,838	1,746,245	1,821,735
正味支払保険金		1,144,869	1,096,461	1,094,259
損害調査費		78,200	82,004	81,747
諸手数料及び集金費		314,011	304,459	300,906
満期返戻金		253,506	259,581	257,580
契約者配当金		308	594	505
支払備金繰入額		—	—	83,260
その他の保険引受費用		2,941	3,144	3,474
資 産 運 用 費 用		145,853	35,874	32,354
有価証券売却損等		103,899	34,607	25,287
その他の運用費用		41,953	1,267	7,066
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費		343,005	316,108	313,021
そ の 他 経 常 費 用		14,782	12,061	5,050
経 常 利 益		69,624	147,401	145,754
特 別 利 益		66,622	3,812	2,996
固定資産処分益		3,214	2,930	2,366
特別法上の準備金戻入額		62,165	—	—
価格変動準備金		(62,165)	(—)	(—)
その他の特別利益		1,242	881	630
特 別 損 失		9,445	17,819	18,919
固定資産処分損		1,680	2,622	3,928
特別法上の準備金繰入額		—	4,210	3,797
価格変動準備金		(—)	(4,210)	(3,797)
その他の特別損失		7,764	10,986	11,193
税 引 前 当 期 純 利 益		126,801	133,393	129,831
法 人 税 及 び 住 民 税		26,940	38,837	34,041
過 年 度 法 人 税 等		—	8,947	—
法 人 税 等 調 整 額		28,756	△8,847	△4,923
法 人 税 等 合 計		55,697	38,937	29,117
当 期 純 利 益		71,104	94,456	100,713

1株当たり配当等の推移

区分 \ 年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
1株当たり配当額	141円33銭	68円42銭	53円25銭	32円27銭	56円08銭
1株当たり当期純利益	62円23銭	79円36銭	45円88銭	60円95銭	64円98銭
配当性向	227.1%	86.2%	116.1%	52.9%	86.3%
1株当たり純資産額	1,985円48銭	1,501円34銭	926円33銭	1,236円46銭	1,081円64銭
従業員一人当たり総資産	746百万円	713百万円	534百万円	579百万円	508百万円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないので記載していません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
当期純利益(百万円)	96,448	122,992	71,104	94,456	100,713
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—	—	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	96,448	122,992	71,104	94,456	100,713
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,549,692	1,549,692	1,549,692	1,549,692	1,549,692

当社は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、保険業法第111条第1項の規定により公衆の縦覧に供する書類のうち、貸借対照表、損益計算書、及び株主資本等変動計算書について、あらた監査法人の監査を受けています。

当社は、金融商品取引法第193条の2の規定に基づき、貸借対照表、損益計算書、及び株主資本等変動計算書について、あらた監査法人の監査を受けています。

経理の状況

資産・負債の明細

現金及び預貯金

(単位：百万円)

区分	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
現金		841	363	230	203	166
預貯金		254,196	266,087	46,532	140,568	75,202
(郵便振替・郵便貯金)		(1,924)	(1,366)	(641)	(998)	(716)
(当座預金)		(2,962)	(3,896)	(1,893)	(1,255)	(618)
(普通預金)		(27,395)	(11,904)	(7,683)	(7,002)	(4,414)
(通知預金)		(102,189)	(88,765)	(33,680)	(28,070)	(18,850)
(定期預金)		(119,724)	(160,154)	(2,633)	(103,241)	(50,603)
合計		255,038	266,451	46,762	140,772	75,368

商品有価証券・同平均残高・同売買高

該当ありません。

保有有価証券

(単位：百万円)

区分	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
国債	1,476,933	18.1	1,541,733	20.8	1,408,804	23.9	1,820,290	26.8	1,786,565	29.4
地方債	186,383	2.3	194,888	2.6	181,606	3.1	170,832	2.5	147,273	2.4
社債	672,033	8.3	795,224	10.7	665,205	11.3	639,301	9.4	538,007	8.9
株式	4,713,525	57.9	3,486,676	47.1	2,198,974	37.4	2,736,832	40.3	2,203,523	36.3
外国証券	910,151	11.2	1,246,275	16.8	1,349,663	22.9	1,347,394	19.9	1,339,275	22.1
その他の証券	182,954	2.2	143,860	1.9	81,917	1.4	69,758	1.0	56,851	0.9
合計	8,141,981	100.0	7,408,658	100.0	5,886,171	100.0	6,784,410	100.0	6,071,496	100.0

有価証券残存期間別残高

平成21年度

(単位：百万円)

区分	残存期間	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超 (期間の定めのないものを含む)	合計
国債		312,209	163,922	223,249	164,466	158,967	797,476	1,820,290
地方債		13,819	23,610	43,951	85,266	4,184	—	170,832
社債		143,535	161,527	164,484	58,921	73,563	37,268	639,301
株式		100	—	—	—	—	2,736,732	2,736,832
外国証券	公債	110,375	99,097	68,021	42,833	28,937	998,128	1,347,394
	株式等	103,543	92,802	62,779	24,504	21,516	10,749	315,896
その他の証券		6,832	6,295	5,242	18,329	7,420	987,378	1,031,498
その他の証券		2,185	6,541	24,494	19,728	3,181	13,627	69,758
合計		582,226	454,698	524,200	371,216	268,834	4,583,232	6,784,410

平成22年度

(単位：百万円)

区分	残存期間	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超 (期間の定めのないものを含む)	合計
国	債	151,441	184,621	197,011	199,390	230,728	823,371	1,786,565
地	方債	10,707	17,992	92,588	23,197	2,787	—	147,273
社	債	76,802	184,408	109,511	87,768	44,748	34,768	538,007
株	式	100	—	—	—	—	2,203,423	2,203,523
外	国証券	87,047	78,346	102,266	38,961	32,398	1,000,254	1,339,275
	公債	81,285	72,614	88,982	20,369	26,106	13,317	302,674
	株式等	5,762	5,732	13,283	18,592	6,291	986,937	1,036,600
その他の証券		2,281	12,438	16,258	15,394	992	9,486	56,851
合計		328,381	477,806	517,636	364,713	311,655	4,071,304	6,071,496

業種別保有株式

区分	平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度			
	株数 (千株)	貸借対照表計上額 金額 (百万円)	構成比 (%)	株数 (千株)	貸借対照表計上額 金額 (百万円)	構成比 (%)	株数 (千株)	貸借対照表計上額 金額 (百万円)	構成比 (%)	株数 (千株)	貸借対照表計上額 金額 (百万円)	構成比 (%)	株数 (千株)	貸借対照表計上額 金額 (百万円)	構成比 (%)	
輸送用機器業	421,640	1,254,530	26.6	413,500	843,510	24.2	411,398	545,006	24.8	393,463	691,905	25.3	357,246	573,002	26.0	
金融保険業	507,191	614,042	13.0	616,072	462,084	13.3	515,384	373,663	17.0	507,557	365,571	13.4	429,328	205,068	9.3	
商業	334,595	501,337	10.6	331,743	466,512	13.4	329,217	225,229	10.2	320,579	367,997	13.4	295,029	322,944	14.7	
電気機器	188,602	338,581	7.2	188,339	249,981	7.2	187,801	138,711	6.3	169,361	196,840	7.2	140,857	144,359	6.6	
化学	298,245	498,557	10.6	291,227	348,579	10.0	276,393	231,527	10.5	267,750	276,007	10.1	249,210	235,977	10.7	
陸運業	231,277	146,886	3.1	229,514	124,932	3.6	226,341	97,316	4.4	216,488	85,087	3.1	144,947	71,951	3.3	
海運業	138,388	119,874	2.5	134,659	110,417	3.2	132,954	44,792	2.0	128,604	49,145	1.8	120,437	38,071	1.7	
機械	148,606	144,235	3.1	147,933	105,276	3.0	146,985	59,593	2.7	133,915	80,366	2.9	130,652	78,780	3.6	
食料品	92,828	74,850	1.6	87,172	63,473	1.8	87,526	45,534	2.1	76,666	54,441	2.0	75,152	46,498	2.1	
鉄鋼	154,864	174,955	3.7	160,932	111,547	3.2	160,932	55,762	2.5	166,504	87,257	3.2	161,112	63,143	2.9	
その他	654,412	845,671	17.9	638,047	600,359	17.2	624,198	381,834	17.4	603,685	482,211	17.6	578,893	423,723	19.2	
合計		3,170,653	4,713,525	100.0	3,239,143	3,486,676	100.0	3,099,134	2,198,974	100.0	2,984,577	2,736,832	100.0	2,682,867	2,203,523	100.0

(注) 1. 業種別区分は、証券取引所の業種分類に準じています。

2. 輸送用機器業は造船業を、化学は医薬品を、陸運業は空運業を含んでいます。また、卸売業及び小売業は商業として、銀行業、保険業及びその他金融業は金融保険業として記載しています。

貸付金の残存期間別残高

平成21年度

(単位：百万円)

区分		1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超 (期間の定めのないものを含む)	合計
		国内企業向け	固定金利	31,349	40,282	31,631	24,436	
	変動金利	47,003	59,095	28,171	16,141	3,375	8,346	162,134
	計	78,353	99,378	59,803	40,578	8,830	11,315	298,258
その他	固定金利	17,845	9,504	7,535	5,541	6,486	48,967	95,881
	変動金利	1,272	5,110	2,073	2,513	3,395	50,959	65,325
	計	19,117	14,615	9,609	8,055	9,882	99,927	161,206
合計	固定金利	49,195	49,787	39,167	29,978	11,940	51,936	232,005
	変動金利	48,275	64,206	30,244	18,655	6,771	59,306	227,460
	計	97,470	113,993	69,412	48,633	18,712	111,243	459,465

平成22年度

(単位：百万円)

区分		1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超 (期間の定めのないものを含む)	合計
		国内企業向け	固定金利	24,641	33,415	37,350	13,070	
	変動金利	27,580	56,703	38,353	5,727	2,761	7,723	138,851
	計	52,222	90,118	75,704	18,798	11,063	12,154	260,062
その他	固定金利	17,650	9,053	6,376	4,166	6,451	41,147	84,845
	変動金利	1,805	3,876	670	1,686	3,286	43,258	54,584
	計	19,455	12,930	7,046	5,852	9,737	84,405	139,429
合計	固定金利	42,292	42,469	43,726	17,237	14,753	45,578	206,056
	変動金利	29,386	60,579	39,024	7,414	6,048	50,982	193,435
	計	71,678	103,049	82,750	24,651	20,801	96,560	399,491

現状

経営について

商品・サービスについて

業績データ

コーポレートデータ

経理の状況

貸付金担保別内訳

(単位：百万円)

区分	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
担保貸付	100,190	18.0	96,997	16.6	86,561	16.6	78,873	17.2	69,085	17.3
有価証券担保貸付	5,806	1.0	6,375	1.1	5,719	1.1	5,916	1.3	6,231	1.6
不動産・動産・財団担保貸付	76,358	13.7	70,920	12.1	67,049	12.9	59,529	13.0	51,096	12.8
指名債権担保貸付	18,025	3.2	19,701	3.4	13,791	2.6	13,428	2.9	11,757	2.9
保証貸付	129,106	23.2	137,346	23.5	137,068	26.3	122,846	26.7	100,187	25.1
信用貸付	280,422	50.4	306,625	52.5	260,519	50.0	225,924	49.2	202,986	50.8
その他	25,811	4.6	22,719	3.9	16,831	3.2	12,894	2.8	8,787	2.2
一般貸付計	535,530	96.3	563,689	96.5	500,979	96.2	440,539	95.9	381,046	95.4
うち劣後特約付貸付	28,320	5.1	28,320	4.9	27,320	5.2	24,320	5.3	25,320	6.3
約款貸付	20,834	3.7	20,405	3.5	19,561	3.8	18,926	4.1	18,445	4.6
合計	556,364	100.0	584,094	100.0	520,540	100.0	459,465	100.0	399,491	100.0

貸付金使途別内訳

(単位：百万円)

区分	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
設備資金	164,319	29.5	175,154	30.0	180,353	34.6	178,969	39.0	161,568	40.4
運転資金	392,044	70.5	408,939	70.0	340,186	65.4	280,496	61.0	237,923	59.6
合計	556,364	100.0	584,094	100.0	520,540	100.0	459,465	100.0	399,491	100.0

貸付金の業種別内訳と推移

(単位：百万円)

区分	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
農林・水産業	1,951	0.4	1,755	0.3	1,333	0.3	600	0.1	166	0.0
鉱業・採石業・砂利採取業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	5,983	1.1	4,346	0.7	2,636	0.5	2,148	0.5	2,301	0.6
製造業	38,580	6.9	53,236	9.1	51,586	9.9	54,005	11.8	42,283	10.6
卸売業・小売業	21,351	3.8	21,206	3.6	18,576	3.6	15,042	3.3	19,099	4.8
金融業・保険業	145,204	26.1	135,085	23.1	103,348	19.9	83,448	18.2	66,988	16.8
不動産業・物品賃貸業	81,815	14.7	93,368	16.0	65,584	12.6	59,509	13.0	54,326	13.6
情報通信業	6,492	1.2	8,128	1.4	11,313	2.2	8,062	1.8	8,186	2.0
運輸業・郵便業	7,495	1.3	9,983	1.7	10,326	2.0	11,447	2.5	11,672	2.9
電気・ガス・熱供給・水道業	3,926	0.7	5,339	0.9	5,898	1.1	7,136	1.6	6,942	1.7
サービス業等	26,460	4.8	28,479	4.9	20,928	4.0	16,117	3.5	11,043	2.8
その他	183,141	32.9	184,284	31.6	192,412	37.0	167,640	36.5	148,580	37.2
(うち個人住宅・消費者ローン)	(133,017)	(23.9)	(142,059)	(24.3)	(147,820)	(28.4)	(133,282)	(29.0)	(113,099)	(28.3)
小計	522,404	93.9	545,214	93.3	483,944	93.0	425,158	92.5	371,591	93.0
公共団体	—	—	500	0.1	400	0.1	300	0.1	200	0.1
公社・公団	13,125	2.4	17,974	3.1	16,634	3.2	15,080	3.3	9,255	2.3
約款貸付	20,834	3.7	20,405	3.5	19,561	3.8	18,926	4.1	18,445	4.6
合計	556,364	100.0	584,094	100.0	520,540	100.0	459,465	100.0	399,491	100.0

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じています。

貸付金企業規模別内訳

(単位：百万円)

区分	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	年度	構成比	年度	構成比	年度	構成比	年度	構成比	年度	構成比
大企業	309,433	57.8	328,755	58.3	267,628	53.4	235,305	53.4	199,265	52.3
中堅企業	17,231	3.2	15,731	2.8	16,180	3.2	14,822	3.4	15,415	4.0
中小企業	41,726	7.8	47,394	8.4	47,484	9.5	41,317	9.4	40,081	10.5
その他	167,138	31.2	171,807	30.5	169,685	33.9	149,093	33.8	126,284	33.1
一般貸付計	535,530	100.0	563,689	100.0	500,979	100.0	440,539	100.0	381,046	100.0

(注) その他とは、非居住者貸付、公共団体、個人ローン等をいいます。

貸付金地域別内訳

a. 国内

(単位：百万円)

区分	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	年度	構成比	年度	構成比	年度	構成比	年度	構成比	年度	構成比
首都圏	355,481	91.1	368,870	90.2	310,141	90.7	277,019	92.9	242,578	93.3
近畿圏	8,914	2.3	15,122	3.7	11,877	3.5	4,889	1.6	4,844	1.9
上記以外の地域	25,638	6.6	24,978	6.1	19,839	5.8	16,350	5.5	12,638	4.9
合計	390,034	100.0	408,971	100.0	341,858	100.0	298,258	100.0	260,062	100.0

(注) 1. 個人ローン、約款貸付等は含みません。
2. 地域区分は当社取扱部店所在地による分類です。

b. 海外

(単位：百万円)

区分	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	年度	構成比	年度	構成比	年度	構成比	年度	構成比	年度	構成比
米州	3,512	28.1	5,682	44.9	5,194	46.0	4,193	46.6	3,674	46.6
ヨーロッパ・アフリカ	5,329	42.7	5,399	42.7	4,012	35.5	3,057	34.0	2,209	28.0
アジア・オセアニア	3,635	29.1	1,575	12.4	2,093	18.5	1,746	19.4	2,000	25.4
国際機関	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0.0
合計	12,477	100.0	12,658	100.0	11,299	100.0	8,997	100.0	7,884	100.0

有形固定資産及び有形固定資産合計の残高

(単位：百万円)

区分	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
土地	総計	128,594	124,806	122,868	117,911	112,175
	営業用	80,653	77,323	81,422	77,353	72,843
	賃貸用	47,941	47,482	41,446	40,558	39,331
建物	総計	132,417	120,160	114,706	116,862	113,108
	営業用	84,735	77,921	74,075	71,822	69,592
	賃貸用	47,682	42,239	40,631	45,039	43,516
土地・建物計	総計	261,012	244,966	237,575	234,774	225,284
	営業用	165,388	155,244	155,497	149,175	142,436
	賃貸用	95,624	89,721	82,078	85,598	82,847
建設仮勘定	総計	828	2,516	8,416	4,444	6,566
	営業用	170	197	5,590	2,612	1,549
	賃貸用	657	2,319	2,826	1,832	5,017
合計	総計	261,841	247,483	245,992	239,218	231,850
	営業用	165,559	155,442	161,087	151,788	143,985
	賃貸用	96,281	92,040	84,904	87,430	87,865
その他の有形固定資産		20,099	19,830	18,376	17,535	16,935
有形固定資産合計		281,940	267,314	264,369	256,754	248,786

経理の状況

支払承諾の残高内訳

(単位:百万円)

区分	年度	平成21年度		平成22年度	
		口数	金額	口数	金額
融資に係る保証		1	71	1	53
社債等に係る保証		—	—	—	—
資産の流動化に係る保証		—	—	—	—
その他		2	3,107	2	3,111
計		3	3,178	3	3,164

支払承諾見返の担保別内訳

(単位:百万円)

区分	年度	平成21年度	平成22年度
		有価証券	—
不動産・動産・財団	—	—	
指名債権	—	—	
保証	—	—	
信用	3,178	3,164	
その他	—	—	
合計	3,178	3,164	

長期性資産

(単位:百万円)

区分	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
長期性資産		2,134,567	2,105,841	2,062,068	1,983,260	1,893,847

(注) 長期性資産は、積立保険の払戻積立金・契約者配当準備金等の合計額を表示しています。

住宅関連融資

(単位:百万円)

区分	年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比		
個人住宅ローン		96,951	99.8	104,010	99.8	108,487	99.9	102,911	99.9	90,056	99.9
住宅金融会社 付		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地方住宅供給公社 付		241	0.2	227	0.2	162	0.1	151	0.1	134	0.1
合計		97,192	100.0 (17.5)	104,238	100.0 (17.8)	108,650	100.0 (20.9)	103,063	100.0 (22.4)	90,190	100.0 (22.6)
総貸付残高		556,364		584,094		520,540		459,465		399,491	

(注) 合計欄の()内は総貸付残高に対する比率です。

リスク管理債権

(単位: 百万円)

	平成21年度	平成22年度	比較増減
破綻先債権額(A)	2,473	429	△2,043
延滞債権額(B)	8,337	7,114	△1,222
3カ月以上延滞債権額(C)	334	—	△334
貸付条件緩和債権額(D)	3,766	297	△3,469
リスク管理債権合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	14,911	7,841	△7,070
貸付金残高(F)	459,465	399,491	△59,973
貸付金に占める割合(G)=(E)/(F)×100	3.2%	2.0%	△1.3%
担保等保全額及び個別引当額(H)	11,905	7,481	△4,424
カバー率(I)=(H)/(E)×100	79.8%	95.4%	15.6%

(注) 1. 各債権の意義は次のとおりです。

(1) 破綻先債権

破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸付金(貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸付金」といいます)のうち、法人税法施行令(昭和40年政令第97号)第96条第1項第3号イからホまで(貸倒引当勘定への繰入限度額)に掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸付金です。

(2) 延滞債権

延滞債権とは、未収利息不計上貸付金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸付金以外の貸付金です。

(3) 3カ月以上延滞債権

3カ月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸付金で、破綻先債権及び延滞債権に該当しないものです。

(4) 貸付条件緩和債権

貸付条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金で、破綻先債権、延滞債権及び3カ月以上延滞債権に該当しないものです。

2. 担保等保全額及び個別引当額は、担保等で保全され回収が見込まれる額と個別貸倒引当金に繰入済の額の合計額です。

元本補てん契約のある信託に係る貸出金の状況

該当ありません。

債務者区分に基づいて区分された債権

(単位: 百万円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,068	4,173	894
危険債権	3,091	6,638	6,651
要管理債権	1,048	4,101	297
正常債権	521,172	449,613	445,745
計	527,380	464,527	453,588

(注) 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始又は再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

2. 危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

3. 要管理債権とは、3カ月以上延滞貸付金及び条件緩和貸付金です。なお、3カ月以上延滞貸付金とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸付金(破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に掲げる債権を除く)であり、条件緩和貸付金とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金(破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権並びに3カ月以上延滞貸付金を除く)です。

4. 正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び要管理債権以外のものに区分される債権です。

自己査定結果

平成21年度

(単位: 百万円)

	I分類資産	II分類資産	III分類資産	IV分類資産	合計
貸付金	411,529	41,646	2,890	3,399	459,465
有価証券等	7,611,050	323,242	—	24,704	7,958,998
有形固定資産	251,616	5,137	—	—	256,754
その他	1,053,214	13,358	4,121	3,616	1,074,311
合計	9,327,410	383,385	7,012	31,720	9,749,529

(注) 1. 有価証券等とは、有価証券、買入金銭債権、金銭の信託です。

2. その他とは、預貯金、コールローン、保険料債権、預託金等です。

経理の状況

平成22年度

(単位:百万円)

	I分類資産	II分類資産	III分類資産	IV分類資産	合計
貸付金	353,675	40,622	4,566	626	399,491
有価証券等	6,559,442	333,218	—	5,382	6,898,044
有形固定資産	245,819	2,966	—	—	248,786
その他	1,126,180	10,522	4,008	2,901	1,143,613
合計	8,285,118	387,331	8,575	8,911	8,689,935

(注) 1. 有価証券等とは、有価証券、買入金銭債権、金銭の信託です。
2. その他とは、預貯金、コールローン、保険料債権、預託金等です。

資産査定における分類区分

IV分類…査定基準日において「回収不可能又は無価値と判定される資産」を指します。

III分類…査定基準日において「最終の回収又は価値について重大な懸念が存し、従って損失の発生の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産」を指します。

II分類…査定基準日において「債権確保上の諸条件が満足に充たされないため、あるいは、信用上疑義が存する等の理由により、その回収について通常の程度を超える危険を含むと認められる債権等の資産」を指します。

I分類…査定基準日において「II分類、III分類及びIV分類としない資産」で、回収の危険性又は価値の毀損の可能性について問題のない資産」を指します。

なお、上記の計数は自己査定による償却前のものなので、合計は貸借対照表計上額よりも大きくなっています。

貸付金に対する自己査定、債務者区分に基づく債権及びリスク管理債権の関係

(単位:億円)

自己査定(貸付金)				自己査定の 債務者区分(貸付金)	リスク管理債権	債務者区分に基づいて 区分された債権(貸付金)
IV分類	III分類	II分類	I分類			
4 引当率 100%	— 引当率 100%	— 不動産 担保等	0 有価証券 担保等	破綻先 4	破綻先債権 4	破産更生債権及び これらに準ずる債権
0 引当率 100%	0 引当率 100%	1 不動産 担保等	1 有価証券 担保等	実質破綻先 4	延滞債権	
1 引当率 100%	44 引当率 95.5%	19 不動産 担保等	0 有価証券 担保等	破綻懸念先 66	71	危険債権 66
		2 不動産担保 等または 無担保	0 有価証券 担保等	要注意先 うち要管理先 2	3か月以上延滞債権 — 貸付条件緩和債権 2	要管理債権 2
		381 不動産担保 等または 無担保	37 有価証券 担保等	うち要管理先 以外の要注意先 419		正常債権
		3,496 有価証券・ 不動産担保 等または 無担保		422 正常先 3,496		3,916

〈合計〉

IV分類	III分類	II分類	I分類	合計	リスク管理債権合計	合計
6	45	406	3,536	3,994	78	3,994

(注) 1. 「リスク管理債権」は貸付金のみを対象としています。上図では貸付金のみを記載していますが、「債務者区分に基づき区分された債権」には、貸付金以外の債権(支払承諾見返等)も対象として含めて開示していますので、上図の金額と異なっています。

2. 破綻先、実質破綻先、破綻懸念先向け貸付金のうち無担保部分(III分類・IV分類)については、個別の債権を精査した上で引き当てを行っており、その引当率は上図に示すとおりです。

要注意先、正常先向け貸付金については、担保等により保全された部分も含めた債権額全体に対して、過去の貸倒実績に基づく引き当てを行っており、その引当率は、要管理先36.33%、要管理先以外の要注意先2.07%、正常先0.13%となっています。

3. 上図の計数は直接償却後の金額となっており、貸借対照表計上額と同額となっています。

支払備金

(単位:百万円)

種目	年度				
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
火災	68,270	77,699	65,655	56,496	115,615
海上	34,348	30,021	28,758	24,815	28,230
傷害	51,528	62,138	60,570	65,025	64,011
自動車	326,630	362,191	356,423	352,743	346,166
自動車損害賠償責任	82,353	81,645	80,615	79,063	81,376
その他	267,703	259,068	250,086	241,216	267,220
(うち賠償責任)	(157,642)	(147,954)	(140,736)	(143,893)	(148,887)
合計	830,834	872,766	842,109	819,359	902,620

期首時点支払備金（見積り額）の当期末状況（ラン・オフ・リザルト）

（単位：百万円）

	期首支払備金	前期以前発生事故に係る 当期支払保険金	前期以前発生事故に係る 当期末支払備金	当期把握見積り差額
平成18年度	527,116	325,082	253,631	△51,597
平成19年度	567,926	327,808	282,923	△42,805
平成20年度	653,307	374,010	292,063	△12,766
平成21年度	620,915	332,202	287,055	1,656
平成22年度	620,385	324,753	274,539	21,092

（注）1. 国内元受契約に係る出再控除前の金額です。

2. 地震保険及び自動車損害賠償責任保険に係る金額を除いて記載しています。

3. 当期把握見積り差額＝期首支払備金－（前期以前発生事故に係る当期支払保険金＋前期以前発生事故に係る当期末支払備金）

事故発生からの期間経過に伴う最終損害見積り額の推移表

自動車保険

（単位：百万円）

事故発生年度	平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動
累計保険金＋支払備金															
事故発生年度末	500,750			531,686			529,359			539,978			555,296		
1年後	518,633	1.036	17,883	536,244	1.009	4,557	530,134	1.001	775	536,959	0.994	△3,019			
2年後	519,428	1.002	794	536,425	1.000	180	529,974	1.000	△160						
3年後	519,721	1.001	292	536,081	0.999	△344									
4年後	520,079	1.001	357												
最終損害見積り額	520,079			536,081			529,974			536,959			555,296		
累計保険金	505,956			513,669			494,771			473,985			379,995		
支払備金	14,122			22,411			35,202			62,973			175,301		

傷害保険

（単位：百万円）

事故発生年度	平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動
累計保険金＋支払備金															
事故発生年度末	69,511			77,817			81,385			84,358			83,984		
1年後	74,427	1.071	4,916	79,108	1.017	1,291	82,182	1.010	796	81,361	0.964	△2,997			
2年後	74,515	1.001	88	79,051	0.999	△57	81,569	0.993	△612						
3年後	74,580	1.001	64	78,786	0.997	△265									
4年後	74,513	0.999	△66												
最終損害見積り額	74,513			78,786			81,569			81,361			83,984		
累計保険金	73,393			76,724			77,483			72,555			39,888		
支払備金	1,120			2,061			4,086			8,805			44,096		

賠償責任保険

（単位：百万円）

事故発生年度	平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動	金額	比率	変動
累計保険金＋支払備金															
事故発生年度末	59,214			61,903			61,672			70,595			68,733		
1年後	62,366	1.053	3,152	62,812	1.015	908	57,392	0.931	△4,280	65,075	0.922	△5,519			
2年後	64,032	1.027	1,666	61,413	0.978	△1,398	56,267	0.980	△1,124						
3年後	64,746	1.011	713	59,869	0.975	△1,544									
4年後	62,546	0.966	△2,200												
最終損害見積り額	62,546			59,869			56,267			65,075			68,733		
累計保険金	55,292			53,303			47,481			40,197			20,888		
支払備金	7,253			6,565			8,786			24,878			47,844		

（注）1. 国内元受契約に係る出再控除前の金額です。

2. 「比率」欄には、前年度末における累計保険金と支払備金の合計額が、当該年度1年間で変動した倍率を記載しています。

3. 「変動」欄には、前年度末における累計保険金と支払備金の合計額が、当該年度1年間で変動した額を記載しています。

4. 傷害保険については、前年度までは一部の積立型商品の金額を含めていなかったため、当年度より過去の累計保険金＋支払備金まで遡って当該金額を含めて記載しています（平成22年度事故の累計保険金＋支払備金の影響額は380百万円）。

経理の状況

責任準備金

(単位:百万円)

種目	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
火災		1,404,479	1,421,069	1,428,931	1,408,593	1,350,594
海上		145,503	152,073	139,243	135,788	139,480
傷害		1,925,535	1,919,260	1,888,002	1,839,595	1,794,227
自動車		435,464	411,827	357,386	314,345	316,398
自動車損害賠償責任		570,765	605,540	567,252	508,151	448,465
その他		600,470	607,534	617,798	631,284	638,022
(うち賠償責任)		(127,973)	(135,497)	(145,167)	(167,019)	(180,568)
合計		5,082,218	5,117,306	4,998,615	4,837,759	4,687,189

責任準備金積立水準

区分		平成21年度	平成22年度
積立方式	標準責任準備金対象契約	標準責任準備金	標準責任準備金
	標準責任準備金対象外契約	平準純保険料式又は全期チルメル式	平準純保険料式又は全期チルメル式
積立率		100.0%	100.0%

- (注) 1. 積立方式及び積立率は、保険業法第3条第5項第1号に掲げる保険に係る保険契約及び保険業法第3条第5項第1号に掲げる保険を主たる保険としている保険契約を除いています。
2. 保険料積立金及び積立保険に係る払戻積立金以外について積立方式という概念がないため、積立方式は保険料積立金及び積立保険に係る払戻積立金について記載しています。
3. 積立率=(実際に積み立てている普通責任準備金+払戻積立金)÷(下記(1)～(3)の合計額)
- (1) 標準責任準備金対象契約に係る平成8年大蔵省告示第48号に定める方式により計算した保険料積立金及び払戻積立金
(保険業法施行規則第68条第2項に定める保険契約に限る)
- (2) 標準責任準備金対象外契約に係る平準純保険料式により計算した平成13年7月1日以降に保険期間が開始する保険契約に係る保険料積立金、保険業法施行規則第68条第2項に定める保険契約以外の保険契約で平成13年7月1日以降に保険期間が開始する保険契約に係る払戻積立金並びに平成13年7月1日前に保険期間が開始する保険契約に係る普通責任準備金及び払戻積立金
- (3) 平成13年7月1日以降に保険期間が開始する保険契約に係る未経過保険料

責任準備金の残高内訳

(単位:百万円)

種目	年度	平成21年度					平成22年度						
		普通責任準備金	異常危険準備金	危険準備金	払戻積立金	契約者配当準備金等	合計	普通責任準備金	異常危険準備金	危険準備金	払戻積立金	契約者配当準備金等	合計
火災		747,282	376,605	—	283,199	1,505	1,408,593	727,855	380,942	—	240,181	1,615	1,350,594
海上		21,635	114,153	—	—	—	135,788	22,133	117,347	—	—	—	139,480
傷害		107,834	100,599	—	1,624,699	6,461	1,839,595	112,655	96,058	—	1,578,465	7,047	1,794,227
自動車		243,787	70,557	—	—	—	314,345	245,960	70,438	—	—	—	316,398
自動車損害賠償責任		508,151	—	—	—	—	508,151	448,465	—	—	—	—	448,465
その他		340,130	222,891	—	68,120	141	631,284	336,032	234,684	—	67,078	226	638,022
(うち賠償責任)		(80,691)	(86,328)	(—)	(—)	(—)	(167,019)	(85,548)	(95,019)	(—)	(—)	(—)	(180,568)
合計		1,968,822	884,807	—	1,976,019	8,109	4,837,759	1,893,102	899,471	—	1,885,725	8,889	4,687,189

(注) 地震保険と自動車損害賠償責任保険の責任準備金については、普通責任準備金欄に記載しています。

引当金明細表

平成21年度

(単位：百万円)

区分	平成20年度末 残高	平成21年度 増加額	平成21年度減少額		平成21年度末 残高	摘要	
			目的使用	その他			
貸倒引当金	一般貸倒引当金	1,039	2,905	—	1,039*	2,905	* 洗替による取崩額
	個別貸倒引当金	10,308	4,320	172	626*	13,829	* 回収等による取崩額
	特定海外債権引当勘定	4	4	—	4*	4	* 洗替による取崩額
	計	11,352	7,229	172	1,670	16,739	
賞与引当金	13,702	16,843	13,702	—	16,843		
固定資産解体費用引当金	3,359	43	1,257	541*	1,603	* 見積りの変更による取崩額	
価格変動準備金	53,462	4,210	—	—	57,672		

平成22年度

(単位：百万円)

区分	平成21年度末 残高	平成22年度 増加額	平成22年度減少額		平成22年度末 残高	摘要	
			目的使用	その他			
貸倒引当金	一般貸倒引当金	2,905	2,687	—	2,905*	2,687	* 洗替による取崩額
	個別貸倒引当金	13,829	2,482	3,353	1,348*	11,610	* 回収等による取崩額
	特定海外債権引当勘定	4	2	—	4*	2	* 洗替による取崩額
	計	16,739	5,173	3,353	4,258	14,301	
賞与引当金	16,843	13,092	16,843	—	13,092		
固定資産解体費用引当金	1,603	—	973	630*	—	* 見積りの変更による取崩額	
価格変動準備金	57,672	3,797	—	—	61,470		

(注) 退職給付引当金に関する事項は、P89の25に記載しています。

貸付金償却の額

(単位：百万円)

区分 \ 年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
貸付金償却額	1,527	109	475	131	1,798

(注) 貸付金償却の額は、貸倒引当金の目的取崩額を控除する前のものです。

特別勘定資産・同残高・同運用収支

該当ありません。

現
状

経
営
に
関
し
て

商
品
・
サ
ー
ビ
ス
に
関
し
て

業
績
デ
ー
タ

コ
ー
ポ
レ
ー
ト
デ
ー
タ

経理の状況

損益の明細

有価証券売却損益及び評価損明細表

(単位：百万円)

区分	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	売却益	売却損	評価損	売却益	売却損	評価損	売却益	売却損	評価損
国債等	2,303	11,834	9,909	4,302	730	0	4,141	2,178	4,280
株式	69,664	1,014	33,639	61,466	890	21,597	118,351	1,913	10,799
外国証券	534	13,647	28,980	6,868	2,773	5,380	4,293	3,042	2,584
合計	72,501	26,495	72,528	72,636	4,394	26,977	126,787	7,134	17,664

(注) 特別損益に計上したものを含めています。

有形固定資産処分損益明細表

(単位：百万円)

区分	年度	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		処分益	処分損	処分益	処分損	処分益	処分損
土地・建物		3,174	899	2,901	1,982	2,245	3,323
その他の有形固定資産		37	707	15	611	80	598
合計		3,211	1,606	2,917	2,594	2,326	3,921

事業費

(単位：百万円)

区分	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
人件費		181,520	184,236	188,360
物件費		219,821	195,405	188,608
税金		18,584	17,204	16,545
拠出金		23	22	20
負担金		1,255	1,244	1,234
諸手数料及び集金費		314,011	304,459	300,906
合計		735,217	702,572	695,675

(注) 1. 金額は損益計算書における損害調査費、営業費及び一般管理費ならびに諸手数料及び集金費の合計額です。
 2. 拠出金は、火災予防拠出金及び交通事故予防拠出金です。
 3. 負担金は、保険業法第265条の33の規定に基づく保険契約者保護機構負担金です。

減価償却費及び賃貸用不動産等減価償却明細表

平成21年度

(単位：百万円)

資産の種類	取得価額	平成21年度償却額	償却累計額	平成21年度末残高	償却累計率
建物	404,090	9,669	287,228	116,862	%
営業用	240,055	6,128	168,232	71,822	70.1
賃貸用	164,035	3,540	118,995	45,039	72.5
その他の有形固定資産	60,774	6,522	43,239	17,535	71.1
無形固定資産	29	0	24	5	82.9
合計	464,895	16,193	330,492	134,402	

平成22年度

(単位：百万円)

資産の種類	取得価額	平成22年度償却額	償却累計額	平成22年度末残高	償却累計率
建物	367,655	10,393	254,547	113,108	%
営業用	227,360	6,535	157,768	69,592	69.4
賃貸用	140,295	3,858	96,778	43,516	69.0
その他の有形固定資産	60,477	6,696	43,541	16,935	72.0
無形固定資産	28	0	23	4	83.5
合計	428,161	17,089	298,112	130,048	

(注) 本表に記載している無形固定資産は、電信利用権です。

売買目的有価証券運用損益明細表

(単位：百万円)

区 分	平成21年度		平成22年度	
	運 用 益	運 用 損	運 用 益	運 用 損
国 債 等	—	—	—	—
株 式	—	134	—	—
外 国 証 券	—	—	—	—
合 計	—	134	—	—

リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引
(借手側)

(単位：百万円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
取得価額相当額	4,367	4,627	2,891	2,278	931
減価償却累計額相当額	2,605	2,848	1,989	1,830	798
年度末残高相当額	1,762	1,778	901	447	132
未経過リース料年度末残高相当額					
1年内	914	894	585	314	23
1年超	847	883	316	133	109
合 計	1,762	1,778	901	447	132
支払リース料	1,191	1,182	888	597	312
減価償却費相当額	1,191	1,182	888	597	312

(注) 1. 取得価額相当額は、支払利子込み法により算定しています。
2. 未経過リース料年度末残高相当額は、支払利子込み法により算定しています。
3. 減価償却費相当額は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法により算定しています。

オペレーティング・リース取引

(借手側)

(単位：百万円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
未経過リース料					
1年内	509	318	1,511	1,799	2,088
1年超	2,016	1,729	3,936	3,743	2,987
合 計	2,526	2,047	5,448	5,543	5,076

(貸手側)

(単位：百万円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
未経過リース料					
1年内	—	—	—	—	755
1年超	—	—	—	—	2,535
合 計	—	—	—	—	3,291

損害率感応度

損害率の上昇に対する経常利益又は経常損失の変動

損害率の上昇シナリオ	すべての保険種目について、均等に発生損害率が1%上昇すると仮定します。
計算方法	<ul style="list-style-type: none"> ○増加する発生損害額 = 既経過保険料 × 1% ○増加する発生損害額のうち、正味支払保険金、支払備金積増額の内訳については、当年度発生事故におけるそれぞれの割合により按分しています。 ○増加する異常危険準備金取崩額 = 正味支払保険金の増加を考慮した取崩額 - 決算時取崩額 ○経常利益の減少額 = 増加する発生損害額 - 増加する異常危険準備金取崩額
経常利益の減少額	14,127百万円 (注) 異常危険準備金残高の取崩額 1,040百万円

(注) 地震保険、自動車損害賠償責任保険については、ノーロス・ノープロフィットの原則に基づき、増加する発生保険金は責任準備金の取崩等により相殺しています。

現
状

経
営
に
関
し
て

商
品
・
サ
ー
ビ
ス
に
関
し
て

業
績
デ
ー
タ

コ
ー
ポ
レ
ー
ト
デ
ー
タ

経理の状況

有価証券等の情報

有価証券

1. 売買目的有価証券

該当ありません。

2. 満期保有目的の債券

(単位：百万円)

種 類	平成21年度			平成22年度		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	117,860	120,252	2,391	120,460	126,000	5,539
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	2,727	2,702	△25	—	—	—
合 計	120,588	122,955	2,366	120,460	126,000	5,539

3. 子会社株式及び関連会社株式

平成21年度	平成22年度
市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、時価開示の対象とはしていません。貸借対照表計上額は、子会社株式787,077百万円、子会社出資金38,177百万円、関連会社株式8,903百万円、関連会社出資金236百万円です。	市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、時価開示の対象とはしていません。貸借対照表計上額は、子会社株式787,759百万円、子会社出資金33,464百万円、関連会社株式9,055百万円、関連会社出資金224百万円です。

4. その他有価証券

(単位：百万円)

種 類	平成21年度			平成22年度			
	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	公 社 債	1,968,782	1,915,831	52,951	1,939,808	1,876,826	62,982
	株 式	2,460,512	792,416	1,668,095	1,994,362	669,905	1,324,457
	外 国 証 券	280,705	240,323	40,381	245,576	203,896	41,680
	そ の 他 (注1)	71,159	55,380	15,778	41,312	31,705	9,607
	小 計	4,781,160	3,003,952	1,777,207	4,221,060	2,782,333	1,438,727
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	公 社 債	541,052	558,303	△17,250	411,577	424,860	△13,282
	株 式	74,946	81,391	△6,444	108,231	121,818	△13,586
	外 国 証 券	187,114	205,975	△18,860	208,657	232,838	△24,181
	そ の 他 (注2)	1,154,877	1,173,185	△18,307	807,872	812,060	△4,188
	小 計	1,957,991	2,018,855	△60,863	1,536,339	1,591,578	△55,239
合 計	6,739,151	5,022,807	1,716,344	5,757,399	4,373,911	1,383,488	

- (注) 1. 平成21年度貸借対照表において買入金銭債権として処理されている海外抵当証券等(貸借対照表計上額63,167百万円、取得原価48,699百万円、差額14,468百万円)を含めています。
平成22年度貸借対照表において買入金銭債権として処理されている海外抵当証券等(貸借対照表計上額38,226百万円、取得原価29,161百万円、差額9,064百万円)を含めています。
2. 平成21年度貸借対照表において現金及び預貯金として処理されている譲渡性預金(貸借対照表計上額74,000百万円、取得原価74,000百万円)ならびに買入金銭債権として処理されているコマーシャルペーパー等(貸借対照表計上額1,074,937百万円、取得原価1,092,553百万円、差額△17,616百万円)を含めています。
平成22年度貸借対照表において現金及び預貯金として処理されている譲渡性預金(貸借対照表計上額34,000百万円、取得原価34,000百万円)ならびに買入金銭債権として処理されているコマーシャルペーパー等(貸借対照表計上額768,880百万円、取得原価772,543百万円、差額△3,662百万円)を含めています。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めていません。

5. 売却した満期保有目的の債券

該当ありません。

6. 売却したその他有価証券

(単位：百万円)

種 類	平成21年度			平成22年度		
	売却額	売却益の 合計額	売却損の 合計額	売却額	売却益の 合計額	売却損の 合計額
公 社 債	284,476	2,184	648	347,004	3,653	1,594
株 式	94,136	61,103	890	187,922	118,351	1,913
外 国 証 券	84,567	6,868	2,770	106,801	4,293	3,042
そ の 他	15,631	2,174	594	68,477	6,309	5,406
合 計	478,811	72,330	4,904	710,206	132,608	11,956

(注) 1. 平成21年度貸借対照表において買入金銭債権として処理されている海外抵当証券に係る額(売却額7,768百万円、売却益56百万円、売却損512百万円)を含めています。

2. 平成22年度貸借対照表において買入金銭債権として処理されている海外抵当証券に係る額(売却額57,517百万円、売却益5,821百万円、売却損4,822百万円)を含めています。

7. 減損処理を行った有価証券

平成21年度	平成22年度
<p>その他有価証券について24,857百万円(時価のあるもの2,273百万円、時価を把握することが極めて困難と認められるもの22,584百万円)、子会社株式および関連会社株式について2,120百万円減損処理を行っています。</p> <p>なお、当該有価証券の減損については、原則として、期末日の時価が帳簿価額と比べて30%以上下落したものを対象としています。</p>	<p>その他有価証券で時価のあるものについて12,281百万円(うち、株式10,214百万円、外国証券2,067百万円)、その他有価証券で時価を把握することが極めて困難と認められるものについて1,363百万円(うち、株式585百万円、外国証券161百万円、その他616百万円)、子会社株式および関連会社株式について355百万円、子会社出資金について3,663百万円減損処理を行っています。</p> <p>なお、当該有価証券の減損については、原則として、期末日の時価が帳簿価額と比べて30%以上下落したものを対象としています。</p>

金銭の信託

1. 運用目的の金銭の信託

(単位：百万円)

種 類	平成21年度		平成22年度	
	貸借対照表計上額	損益に含まれた 評価差額	貸借対照表計上額	損益に含まれた 評価差額
金 銭 の 信 託	11,578	841	13,856	1,067

2. 満期保有目的の金銭の信託

該当ありません。

3. 運用目的、満期保有目的以外の金銭の信託

(単位：百万円)

種 類	平成21年度			平成22年度		
	貸借対照表 計上額	取得原価	差 額	貸借対照表 計上額	取得原価	差 額
金 銭 の 信 託	200	200	—	200	200	—

経理の状況

デリバティブ取引関係

各表における「契約額等」は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体が、そのままデリバティブ取引に係る市場リスクや信用リスク等を表すものではありません。

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 通貨関連

(単位：百万円)

区分	種類	年度	平成21年度				平成22年度			
			契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
				うち1年超				うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引									
	米ドル	125,542	—	△3,553	△3,553	150,017	—	△1,338	△1,338	
	ユーロ	20,070	—	22	22	23,420	—	△879	△879	
	ポンド	5,434	—	20	20	4,890	—	△94	△94	
	豪ドル	5,995	—	△419	△419	6,724	—	△380	△380	
	カナダドル	5,813	—	△578	△578	5,122	—	△178	△178	
	米ドル	33,501	—	1,446	1,446	7,799	—	223	223	
	ユーロ	10,174	—	△187	△187	12,070	—	535	535	
英ポンド	281	—	6	6	2,695	—	68	68		
豪ドル	12,220	—	371	371	9,846	—	563	563		
合計		—	—	△2,871	△2,871	—	—	△1,480	△1,480	

(注) 為替予約取引の時価の算定には、先物相場を使用しています。

(2) 金利関連

(単位：百万円)

区分	種類	年度	平成21年度				平成22年度			
			契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
				うち1年超				うち1年超		
市場取引	金利先物取引									
	買建	711	—	1	1	—	—	—	—	
市場取引以外の取引	金利スワップ取引									
	受取固定支払変動	2,752,140	2,360,080	93,832	93,832	2,363,069	1,953,069	98,292	98,292	
	支払固定受取変動	2,816,379	2,400,579	△85,014	△85,014	2,484,782	2,061,989	△89,414	△89,414	
合計		—	—	8,818	8,818	—	—	8,877	8,877	

(注) 1. 金利先物取引の時価は、主たる証券取引所における最終の価格によっています。

2. 金利スワップ取引の時価は、期末日現在の金利を基に将来予想されるキャッシュ・フローを現在価値に割り引いて算定しています。

(3) 株式関連

(単位：百万円)

区分	種類	年度	平成21年度				平成22年度			
			契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
				うち1年超				うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引									
	売建	17,165	—	△434	△434	15,688	—	△158	△158	
合計		—	—	△434	△434	—	—	△158	△158	

(注) 株価指数先物取引の時価は、主たる証券取引所における最終の価格によっています。

(4)債券関連

(単位：百万円)

区分	種類	年度	平成21年度				平成22年度			
			契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
				うち1年超				うち1年超		
市場取引	債券先物取引									
	売建	7,972	-	1	1	4,411	-	△17	△17	-
	買建	3,183	-	△4	△4	-	-	-	-	-
市場取引以外の取引	債券店頭オプション取引									
	売建	11,543	-			-	-			
	コ	(19)	(-)	13	5	(-)	(-)			
	プット	2,494	-			-	-			
	買建	(9)	(-)	13	△4	(-)	(-)			
	コ	2,494	-			-	-			
	プット	(7)	(-)	3	△3	(-)	(-)			
	買建	11,543	-			-	-			
	コ	(25)	(-)	27	2	(-)	(-)			
合	計	-	-	54	△2	-	-	△17	△17	

- (注) 1. 債券先物取引の時価は、主たる証券取引所における最終の価格によっています。
2. 債券店頭オプション取引の時価は、取引相手の金融機関から入手した価格によっています。
3. 債券店頭オプション取引については、契約額の下に()で契約時のオプション料を示しています。

(5)信用関連

(単位：百万円)

区分	種類	年度	平成21年度				平成22年度			
			契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
				うち1年超				うち1年超		
市場取引以外の取引	クレジット・デリバティブ取引									
	売建	397,808	220,221	△12,292	△12,292	199,219	156,491	△8,086	△8,086	
	買建	41,018	40,321	386	386	34,923	34,923	△61	△61	
合	計	-	-	△11,905	△11,905	-	-	△8,147	△8,147	

- (注) クレジット・デリバティブ取引の時価は、社内時価評価モデルを用いて算定しています。

(6)商品関連

該当ありません。

(7)その他

(単位：百万円)

区分	種類	年度	平成21年度				平成22年度			
			契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
				うち1年超				うち1年超		
市場取引	自然災害デリバティブ取引									
	売建	8,893	321			8,549	386			
	ウエザー・デリバティブ取引	(248)	(12)	248	-	(233)	(9)	233	-	
市場取引以外の取引	売建	16	-			115	-			
	その他の取引	(0)	(-)	0	△0	(3)	(-)	1	1	
	売建	123	123			123	123			
	コ	(6)	(6)	6	-	(6)	(6)	6	-	
合	計	-	-	255	△0	-	-	242	1	

- (注) 1. 自然災害デリバティブ取引の時価は、オプション料を基礎に算定した価格によっています。
2. ウエザー・デリバティブ取引の時価は、取引対象の気象状況、契約期間、その他当該取引に関わる契約を構成する要素に基づき算定しています。
3. その他の取引の時価は、オプション料を基礎に算定しています。
4. 自然災害デリバティブ取引、ウエザー・デリバティブ取引およびその他の取引については、契約額の下に()でオプション料を示しています。

現状

経営について

商品・サービスについて

業績データ

コーポレートデータ

経理の状況

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

(1) 通貨関連

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種 類	主なヘッジ対象	平成21年度			平成22年度			
			契 約	額 等		契 約	額 等		時 価
				うち1年超	時 価		うち1年超	時 価	
時価ヘッジ	為替予約取引 売 米 ド ル ユ ー ロ 英 ポ ン ド カ ナ ダ ド ル	その他 有価証券	101,921	—	△2,660	76,179	—	△515	
			65,592	—	△576	49,758	—	△2,242	
			7,893	—	154	14,220	—	△382	
			—	—	—	2,586	—	△30	
	通貨スワップ取引 受取円貨支払外貨 米 ド ル ユ ー ロ 豪 ド ル	その他 有価証券	30,978	30,978	4,617	7,578	7,578	1,758	
			5,890	2,030	828	—	—	—	
			16,824	16,824	△427	16,824	16,824	△588	
為替予約等 の振当処理	為替予約取引 売 米 ド ル 豪 ド ル	預貯金	20,003	—	*	10,000	—	*	
			5,005	—	—	5,002	—	—	
			—	—	—	—	—	△2,001	
合 計			—	—	1,935	—	—	△2,001	

* 為替予約等の振当処理によるものは、ヘッジ対象とされている預貯金と一体として処理されているため、その時価は記載の対象から除いています。

(注) 1. 為替予約取引の時価の算定には、先物相場を使用しています。

2. 通貨スワップ取引の時価は、期末日現在の金利を基に将来予想されるキャッシュ・フローを現在価値に割り引いて算定しています。

(2) 金利関連

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種 類	主なヘッジ対象	平成21年度			平成22年度			
			契 約	額 等		契 約	額 等		時 価
				うち1年超	時 価		うち1年超	時 価	
繰延ヘッジ	金利スワップ取引 受取固定支払変動	保険負債	369,800	369,800	19,938	363,800	337,800	22,955	
			—	—	—	—	—	22,955	
合 計			—	—	19,938	—	—	22,955	

(注) 金利スワップ取引の時価は、期末日現在の金利を基に将来予想されるキャッシュ・フローを現在価値に割り引いて算定しています。

事業の状況（連結）

主要な経営指標等の推移

連結会計年度 項 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
経常収益(百万円)	2,513,790	2,589,588	2,569,117	2,657,517	2,696,469
正味収入保険料(百万円)	2,013,888	2,014,105	1,943,639	2,095,408	2,076,892
経常利益(百万円)	179,340	212,906	69,831	217,207	129,886
当期純利益(百万円)	110,888	137,814	78,462	143,256	76,941
包括利益(百万円)	—	—	—	—	△199,056
純資産額(百万円)	3,118,745	2,372,634	1,419,795	1,975,650	1,661,307
総資産額(百万円)	12,146,813	11,972,706	9,578,570	10,938,754	9,816,621
1株当たり純資産額(円)	2,006.47	1,524.22	911.80	1,268.52	1,065.30
1株当たり当期純利益金額(円)	71.55	88.93	50.63	92.44	49.64
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額(円)	—	—	—	—	—
自己資本比率(%)	25.60	19.73	14.75	17.97	16.82
自己資本利益率(%)	3.56	5.04	4.16	8.48	4.25
株価収益率(倍)	—	—	—	—	—
営業活動によるキャッシュフロー(百万円)	177,813	183,425	△15,937	83,973	37,493
投資活動によるキャッシュフロー(百万円)	258,577	18,194	△925,647	663,544	58,172
財務活動によるキャッシュフロー(百万円)	△148,903	△12,910	33,863	△290,971	△290,359
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	1,338,217	1,521,176	568,985	1,033,920	831,038
従業員数(人)	15,964	16,709	18,847	19,850	20,200

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないので記載していません。

2. 株価収益率については、当社の株式が上場されていないため、記載していません。

3. 従業員数は就業人員数です。

現
状

経
営
に
つ
い
て

商
品
・
サ
ー
ビ
ス
に
つ
い
て

業
績
デ
ー
タ

コ
ー
ポ
レ
ー
ト
デ
ー
タ

事業の状況（連結）

業績等の概要

1. 業績

当連結会計年度の世界経済は、緩やかな景気拡大が継続しました。欧州における政府債務問題や中東情勢の緊迫化による原油価格の高騰が懸念材料となる一方、米国では追加金融緩和や財政政策により景気は持ち直しの動きがみられ、新興国は高成長を維持しました。

わが国経済は、円高の進行や株価の低迷がみられたものの、政府の経済政策による景気押し上げ効果等により回復基調となりました。

こうした状況の中、東日本大震災やニュージーランド地震等の大規模な自然災害が世界各地で発生し、当社グループの保険会社では、これらの自然災害について多額の保険金をお支払いする見込みとなっています。一方、再保険契約によるリスク負担の軽減や責任準備金の積み立てに加え、積極的な海外展開により、収益・リスクのグローバルな分散を図ってまいりました。

このような情勢のもと損害保険を中心に事業展開を行った結果、当連結会計年度の連結経営成績は以下のとおりとなりました。

保険引受収益2兆4,051億円、資産運用収益2,634億円などを合計した経常収益は、前連結会計年度に比べて389億円増加し、2兆6,964億円となりました。一方、保険引受費用2兆1,209億円、資産運用費用365億円、営業費及び一般管理費3,990億円などを合計した経常費用は、前連結会計年度に比べて1,262億円増加し、2兆5,665億円となりました。

この結果、経常利益は前連結会計年度に比べて873億円減少し、1,298億円となりました。

経常利益に特別利益、特別損失、法人税等合計などを加減した当期純利益は769億円と、前連結会計年度に比べて663億円の減少となりました。

報告セグメント別の概況は以下のとおりです。なお、当連結会計年度より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用しているため、前連結会計年度の記載は行っていません。

<国内損害保険事業>

国内損害保険事業におきましては、経常収益は2兆2,610億円となりました。経常収益から正味支払保険金1兆731億円などの経常費用を差し引いた経常利益は1,189億円となりました。国内損害保険事業における保険引受および資産運用の状況は、以下のとおりです。

保険引受業務

元受正味保険料（含む収入積立保険料）

(単位：百万円)

区 分	平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）		
	金額	構成比（%）	対前年増減（△）率（%）
火 災	292,435	15.01	—
海 上	66,145	3.40	—
傷 害	247,347	12.70	—
自 動 車	850,110	43.64	—
自動車損害賠償責任	201,953	10.37	—
そ の 他	290,188	14.90	—
合 計	1,948,181	100.00	—
（うち収入積立保険料）	(118,199)	(6.07)	—

(注) 1. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額です。

2. 元受正味保険料（含む収入積立保険料）とは、元受保険料から元受解約返戻金および元受その他返戻金を控除したものです（積立型保険の積立保険料を含む）。

正味収入保険料

(単位：百万円)

区 分	平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）		
	金額	構成比（%）	対前年増減（△）率（%）
火 災	209,841	12.21	—
海 上	57,386	3.34	—
傷 害	148,269	8.63	—
自 動 車	845,174	49.19	—
自動車損害賠償責任	218,469	12.72	—
そ の 他	238,946	13.91	—
合 計	1,718,087	100.00	—

(注) 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額です。

正味支払保険金

(単位：百万円)

区 分	平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)		
	金額	構成比 (%)	対前年増減 (△) 率 (%)
火 災	81,378	7.58	—
海 上	28,978	2.70	—
傷 害	79,605	7.42	—
自 動 車	551,178	51.36	—
自動車損害賠償責任	219,566	20.46	—
そ の 他	112,491	10.48	—
合 計	1,073,198	100.00	—

(注) 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額です。

資産運用業務

運用資産

(単位：百万円)

区 分	平成22年度(平成23年3月31日現在)	
	金額	構成比
預 貯 金	73,424	0.95 %
コ ー ポ レ ー シ ョ ン	183,300	2.37
買 入 現 金	121,967	1.58
買 入 金 銭 債 権	789,138	10.22
金 銭 の 信 託	14,056	0.18
有 価 証 券	5,163,370	66.88
貸 付 金	399,491	5.17
土 地 ・ 建 物	225,260	2.92
運 用 資 産 計	6,970,009	90.28
総 資 産	7,720,588	100.00

(注) 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額です。

有価証券

(単位：百万円)

区 分	平成22年度(平成23年3月31日現在)	
	金額	構成比
国 債	1,786,565	34.60 %
地 方 債	147,273	2.85
社 債	538,007	10.42
株 式	2,201,324	42.63
外 国 証 券	433,347	8.39
そ の 他 の 証 券	56,851	1.10
合 計	5,163,370	100.00

(注) 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額です。

現 状

経 営 に つ い て

商 品 ・ サ ー ビ ス に つ い て

業 績 デ ー タ

コ ー ポ レ ー ト デ ー タ

事業の状況（連結）

利回り

運用資産利回り（インカム利回り）

（単位：百万円）

区 分	平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）		
	収入金額	平均運用額	年利回り
預 貯 金	370	59,691	0.62 %
コ ー ル ロ ー ン	82	78,137	0.11
買 現 先 勘 定	152	124,533	0.12
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	11	9,482	0.12
買 入 金 銭 債 権	2,064	1,040,550	0.20
金 銭 の 信 託	129	13,621	0.95
有 価 証 券	85,813	3,838,069	2.24
貸 付 金	8,034	444,081	1.81
土 地 ・ 建 物	10,426	233,725	4.46
小 計	107,084	5,841,893	1.83
そ の 他	2,220	—	—
合 計	109,304	—	—

(注) 1. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額です。

2. 収入金額は、連結損益計算書における「利息及び配当金収入」に、「金銭の信託運用益」および「金銭の信託運用損」のうち利息及び配当金収入相当額を含めた金額です。

3. 平均運用額は、原則として各月末残高（取得原価または償却原価）の平均に基づいて算出しています。ただし、コールローン、買現先勘定、債券貸借取引支払保証金および買入金銭債権については日々の残高（取得原価または償却原価）の平均に基づいて算出しています。

資産運用利回り（実現利回り）

（単位：百万円）

区 分	平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）		
	資産運用損益 （実現ベース）	平均運用額 （取得原価ベース）	年利回り
預 貯 金	1,634	59,691	2.74 %
コ ー ル ロ ー ン	82	78,137	0.11
買 現 先 勘 定	152	124,533	0.12
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	11	9,482	0.12
買 入 金 銭 債 権	5,133	1,040,550	0.49
金 銭 の 信 託	△29	13,621	△0.21
有 価 証 券	191,944	3,838,069	5.00
貸 付 金	7,841	444,081	1.77
土 地 ・ 建 物	10,426	233,725	4.46
金 融 派 生 商 品	23,457	—	—
そ の 他	2,052	—	—
合 計	242,707	5,841,893	4.15

(注) 1. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額です。

2. 資産運用損益（実現ベース）は、連結損益計算書における「資産運用収益」および「積立保険料等運用益」の合計額から「資産運用費用」を控除した金額です。

3. 平均運用額（取得原価ベース）は原則として各月末残高（取得原価または償却原価）の平均に基づいて算出しています。ただし、コールローン、買現先勘定、債券貸借取引支払保証金および買入金銭債権については日々の残高（取得原価または償却原価）の平均に基づいて算出しています。

海外投融資

(単位：百万円)

区 分		平成22年度(平成23年3月31日現在)	
		金額	構成比
外貨建	外国公社債	118,216	24.25%
	外国株式	40,208	8.25
	その他	205,344	42.13
	外貨建資産計	363,769	74.64
円貨建	非居住者貸付	5,675	1.16
	外国公社債	77,827	15.97
	その他	40,124	8.23
	円貨建資産計	123,626	25.36
合 計		487,396	100.00
海外投融資利回り			
運用資産利回り(インカム利回り)		0.89%	
資産運用利回り(実現利回り)		2.24%	

(注) 1. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額です。

2. 金銭の信託として運用しているものを含めて表示しています。

3. 「海外投融資利回り」のうち「運用資産利回り(インカム利回り)」は、海外投融資に係る資産について、「利回り 運用資産利回り(インカム利回り)」と同様の方法により算出したものです。

4. 「海外投融資利回り」のうち「資産運用利回り(実現利回り)」は、海外投融資に係る資産について、「利回り 資産運用利回り(実現利回り)」と同様の方法により算出したものです。

5. 外貨建「その他」の主なものは、公社債・株式を除く外国証券35,011百万円、買入金銭債権34,505百万円、円貨建「その他」の主なものは、公社債を除く外国証券39,853百万円です。

<海外保険事業>

海外保険事業におきましては、経常収益は4,539億円となりました。経常収益から正味支払保険金1,503億円などの経常費用を差し引いた経常利益は108億円となりました。海外保険事業における保険引受および資産運用の状況は、以下のとおりです。

保険引受業務

正味収入保険料

(単位：百万円)

区 分		平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)		
		金額	構成比(%)	対前年増減(△)率(%)
火	災	152,614	42.53	—
海	上	25,206	7.02	—
傷	害	9,553	2.66	—
自	動	51,471	14.35	—
そ	の	119,963	33.43	—
合	計	358,808	100.00	—

(注) 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額です。

現
状

経
営
に
つ
い
て

商
品
・
サ
ー
ビ
ス
に
つ
い
て

業
績
テ
ー
タ

コ
ー
ポ
レ
ー
ト
テ
ー
タ

事業の状況（連結）

正味支払保険金

(単位：百万円)

区 分	平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)		
	金額	構成比(%)	対前年増減(△)率(%)
火 災	57,488	38.23	—
海 上	14,614	9.72	—
傷 害	4,234	2.82	—
自 動 車	29,132	19.37	—
そ の 他	44,905	29.86	—
合 計	150,376	100.00	—

(注) 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額です。

資産運用業務

運用資産

(単位：百万円)

区 分	平成22年度(平成23年3月31日現在)	
	金額	構成比
預 貯 金	96,502	5.40 %
買 入 金 銭 債 権	124,575	6.98
有 価 証 券	971,560	54.41
貸 付 金	18,292	1.02
土 地 ・ 建 物	18,230	1.02
運 用 資 産 計	1,229,160	68.84
総 資 産	1,785,501	100.00

(注) 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額です。

利回り

運用資産利回り（インカム利回り）

(単位：百万円)

区 分	平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)		
	収入金額	平均運用額	年利回り
預 貯 金	1,130	98,604	1.15 %
買 入 金 銭 債 権	5,434	119,558	4.55
有 価 証 券	27,990	697,386	4.01
貸 付 金	1,163	16,322	7.13
土 地 ・ 建 物	416	17,076	2.44
小 計	36,135	948,949	3.81
そ の 他	445	—	—
合 計	36,581	—	—

(注) 1. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額です。なお、連結貸借対照表における有価証券には持分法適用会社に対する株式が含まれていますが、平均運用額および年利回りの算定上は同株式を除外しています。

2. 平均運用額は、期首・期末残高(取得原価または償却原価)の平均に基づいて算出しています。

資産運用利回り(実現利回り)

(単位:百万円)

区 分	平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)		
	資産運用損益(実現ベース)	平均運用額(取得原価ベース)	年利回り
預 貯 金	1,269	98,604	1.29%
買 入 金 銭 債 権	4,854	119,558	4.06
有 価 証 券	37,933	697,386	5.44
貸 付 金	1,163	16,322	7.13
土 地 ・ 建 物	416	17,076	2.44
金 融 派 生 商 品	10	—	—
そ の 他	739	—	—
合 計	46,386	948,949	4.89

- (注) 1. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額です。なお、連結貸借対照表における有価証券には持分法適用会社に対する株式が含まれていますが、平均運用額および年利回りの算定上は同株式を除外しています。
2. 資産運用損益(実現ベース)は、連結損益計算書における「資産運用収益」および「積立保険料等運用益」の合計額から「資産運用費用」を控除した金額です。
3. 平均運用額(取得原価ベース)は、期首・期末残高(取得原価または償却原価)の平均に基づいて算出しています。

2. キャッシュ・フロー

当連結会計年度のキャッシュ・フローの概況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額の増加などにより、前連結会計年度に比べて464億円減少し、374億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、債券貸借取引受入担保金の減少などにより、前連結会計年度に比べて6,053億円減少し、581億円の収入となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が増加したものの、社債の償還による支出が減少したことなどにより、前連結会計年度に比べて6億円増加し、2,903億円の支出となりました。

これらの結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より2,028億円減少し、8,310億円となりました。

保険会社の子会社等である保険会社のソルベンシー・マージン比率

該当事項はありません。

現 状

経営について

商品・サービスについて

業績データ

コーポレートデータ

経理の状況（連結）

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	年度	平成21年度 (平成22年3月31日現在)		平成22年度 (平成23年3月31日現在)		比較増減
		金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)						
現金及び預貯金		272,347	2.49	189,467	1.93	△82,879
一般預貯金		86,400	0.79	183,300	1.87	96,900
買入先物		150,969	1.38	121,967	1.24	△29,002
買入金銭債権		1,275,183	11.66	913,714	9.31	△361,468
金銭の信託		11,778	0.11	14,056	0.14	2,278
有価証券		6,969,727	63.72	6,287,832	64.05	△681,895
貸付金		478,215	4.37	417,809	4.26	△60,406
有形固定資産		278,086	2.54	270,700	2.76	△7,386
土地		128,256		121,839		
建物		122,321		121,830		
建設仮勘定		7,915		6,566		
その他の有形固定資産		19,592		20,463		
無形固定資産		373,959	3.42	339,273	3.46	△34,686
ソフトウェア		3,565		3,154		
のれん		270,892		254,763		
その他の無形固定資産		99,501		81,356		
その他の資産		962,733	8.80	953,780	9.72	△8,953
繰延税金資産		2,356	0.02	65,440	0.67	63,083
支払承諾		95,129	0.87	74,796	0.76	△20,332
貸倒引当金		△18,133	△0.17	△15,517	△0.16	2,616
資産の部合計		10,938,754	100.00	9,816,621	100.00	△1,122,132
(負債の部)						
保険契約準備金		6,334,873	57.91	6,330,973	64.49	△3,899
支払準備金		1,118,678		1,251,989		
責任準備金		5,216,194		5,078,983		
社の他負債		178,821	1.63	125,079	1.27	△53,742
その他負債		1,990,504	18.20	1,330,512	13.55	△659,991
債券貸借取引受入担保金		1,087,058		646,436		
その他の負債		903,446		684,076		
退職給付引当金		157,288	1.44	162,349	1.65	5,060
役員退職慰労引当金		12	0.00	18	0.00	5
賞与引当金		21,690	0.20	19,081	0.19	△2,608
固定資産解体費用引当金		1,603	0.01	—	—	△1,603
特別法上の準備金		57,672	0.53	61,470	0.63	3,797
価格変動準備金		57,672		61,470		
繰延税金負債		109,467	1.00	35,941	0.37	△73,525
のれん		16,040	0.15	15,091	0.15	△948
支払承諾		95,129	0.87	74,796	0.76	△20,332
負債の部合計		8,963,103	81.94	8,155,314	83.08	△807,789
(純資産の部)						
株主資本						
資本金		101,994		101,994		
資本剰余金		123,521		123,521		
利益剰余金		682,786		644,554		
株主資本合計		908,302	8.30	870,070	8.86	△38,232
その他の包括利益累計額						
その他有価証券評価差額金		1,109,691		884,710		
繰延ヘッジ損益		16,439		19,373		
為替換算調整勘定		△68,617		△123,261		
その他の包括利益累計額合計		1,057,514	9.67	780,822	7.95	△276,691
少数株主持分		9,833	0.09	10,414	0.11	581
純資産の部合計		1,975,650	18.06	1,661,307	16.92	△314,343
負債及び純資産の部合計		10,938,754	100.00	9,816,621	100.00	△1,122,132

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	年度		比較増減
	平成21年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	平成22年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	
経常収益	2,657,517	2,696,469	38,951
保険料	2,453,390	2,405,104	△48,285
正味収入	2,095,408	2,076,892	△18,515
積立	130,431	118,199	△12,232
積立引当金	63,757	62,419	△1,338
積立引当金	24,789	30,061	5,272
積立引当金	3,563	—	△3,563
積立引当金	135,330	117,359	△17,970
積立引当金	108	171	63
積立引当金	178,076	263,433	85,357
積立引当金	138,660	145,912	7,251
積立引当金	1,219	46	△1,173
積立引当金	7,097	10,693	3,595
積立引当金	86,068	134,213	48,144
積立引当金	1,496	739	△756
積立引当金	2,561	23,451	20,889
積立引当金	4,729	10,797	6,067
積立引当金	△63,757	△62,419	1,338
積立引当金	26,051	27,931	1,880
積立引当金	1,559	1,329	△229
積立引当金	24,492	26,601	2,109
経常費用	2,440,310	2,566,582	126,272
保険料	1,975,524	2,120,978	145,454
正味支出	1,233,528	1,223,569	△9,958
損害	85,019	84,651	△368
諸手続	377,709	366,690	△11,018
満期	259,581	257,580	△2,000
契機	594	505	△88
生支	15,153	16,663	1,510
支	—	167,596	167,596
支	3,938	3,720	△217
支	39,404	36,557	△2,847
支	—	75	75
支	7,292	7,941	648
支	25,433	13,682	△11,750
支	5,223	4,432	△791
支	1,455	10,424	8,969
支	406,456	399,004	△7,451
支	18,924	10,041	△8,882
支	6,247	3,733	△2,513
支	5,716	1,112	△4,603
支	27	103	76
支	6,932	5,091	△1,841
経常利益	217,207	129,886	△87,320
特別利益	4,901	3,910	△991
固定資産	4,019	3,215	△804
持分	—	55	55
持分	—	9	9
持分	881	630	△251
持分	17,983	18,959	976
持分	2,680	3,949	1,269
持分	8,879	4,436	△4,443
持分	4,210	3,797	△412
持分	(4,210)	(3,797)	(△412)
持分	—	2,745	2,745
持分	2,212	4,030	1,817
税金	204,125	114,836	△89,288
法人	57,242	49,130	△8,111
法人	8,947	—	△8,947
法人	△7,347	△12,314	△4,966
法人	58,842	36,816	△22,026
法人	—	78,020	—
法人	2,025	1,078	△946
法人	143,256	76,941	△66,314

現状
経営について
商品・サービスについて
業績データ
コーポレートデータ

経理の状況（連結）

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	年度	平成21年度	平成22年度	比較増減
		(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	
少数株主損益調整前当期純利益		—	78,020	—
その他の包括利益				
その他有価証券評価差額金		—	△225,855	—
繰延ヘッジ損益		—	2,933	—
為替換算調整勘定		—	△53,588	—
持分法適用会社に対する持分相当額		—	△566	—
その他の包括利益合計		—	△277,076	—
包括利益		—	△199,056	—
(内訳)				
親会社株主に係る包括利益		—	△199,749	—
少数株主に係る包括利益		—	693	—

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

科 目	年 度	平成21年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	平成22年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	比較増減
株主資本				
資本金				
前期末残高		101,994	101,994	—
当期変動額				
当期変動額合計		—	—	—
当期末残高		101,994	101,994	—
資本剰余金				
前期末残高		123,521	123,521	—
当期変動額				
当期変動額合計		—	—	—
当期末残高		123,521	123,521	—
利益剰余金				
前期末残高		560,912	682,786	121,874
在外関連会社の会計処理の変更に伴う増減		—	2,057	2,057
当期変動額				
剰余金の配当		△22,501	△116,917	△94,416
当期純利益		143,256	76,941	△66,314
その他		1,118	△314	△1,433
当期変動額合計		121,874	△40,290	△162,164
当期末残高		682,786	644,554	△38,232
株主資本合計				
前期末残高		786,428	908,302	121,874
在外関連会社の会計処理の変更に伴う増減		—	2,057	2,057
当期変動額				
剰余金の配当		△22,501	△116,917	△94,416
当期純利益		143,256	76,941	△66,314
その他		1,118	△314	△1,433
当期変動額合計		121,874	△40,290	△162,164
当期末残高		908,302	870,070	△38,232
その他の包括利益累計額				
その他有価証券評価差額金				
前期末残高		691,436	1,109,691	418,255
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		418,255	△224,981	△643,237
当期変動額合計		418,255	△224,981	△643,237
当期末残高		1,109,691	884,710	△224,981
繰延ヘッジ損益				
前期末残高		17,347	16,439	△907
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△907	2,933	3,840
当期変動額合計		△907	2,933	3,840
当期末残高		16,439	19,373	2,933
為替換算調整勘定				
前期末残高		△82,197	△68,617	13,580
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		13,580	△54,644	△68,224
当期変動額合計		13,580	△54,644	△68,224
当期末残高		△68,617	△123,261	△54,644

現
状

経
営
に
関
し
て

商
品
・
サ
ー
ビ
ス
に
関
し
て

業
績
デ
ー
タ

コ
ー
ポ
レ
ー
ト
デ
ー
タ

経理の状況（連結）

連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

科 目	年 度	平成21年度	平成22年度	比較増減
		（平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで）	（平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで）	
少数株主持分				
前期末残高		6,782	9,833	3,051
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		3,051	581	△2,470
当期変動額合計		3,051	581	△2,470
当期末残高		9,833	10,414	581
純資産合計				
前期末残高		1,419,795	1,975,650	555,854
在外関連会社の会計処理の変更に伴う増減		—	2,057	2,057
当期変動額				
剰余金の配当		△22,501	△116,917	△94,416
当期純利益		143,256	76,941	△66,314
その他		1,118	△314	△1,433
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		433,980	△276,110	△710,091
当期変動額合計		555,854	△316,401	△872,255
当期末残高		1,975,650	1,661,307	△314,343

(注) その他は、平成21年度においては在外連結子会社が採用する会計処理基準に基づく繰延税金資産の評価性引当額の戻入および持分法適用会社の所在地国における会計処理基準に基づく資産の評価差額等であり、平成22年度においては在外連結子会社が採用する会計処理基準に基づく税効果の組替調整額等です。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	年度	平成21年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	平成22年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益		204,125	114,836	△ 89,288
減価償却		53,791	28,034	△ 25,757
のれん償却		8,879	4,436	△ 4,443
のれん償却額		16,129	16,129	—
負債のれん償却額		△ 952	△ 950	2
負債のれん発生益		—	△ 55	△ 55
支払準備金の増減額(△は減少)		△ 4,012	168,403	172,415
責任準備金等の増減額(△は減少)		△ 135,312	△ 117,372	17,940
貸倒引当金の増減額(△は減少)		5,437	△ 2,591	△ 8,029
退職給付引当金の増減額(△は減少)		10,701	5,062	△ 5,639
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)		0	5	4
賞与引当金の増減額(△は減少)		4,678	△ 2,052	△ 6,730
固定資産解体費用引当金の増減額(△は減少)		△ 1,755	△ 1,603	151
価格変動準備金の増減額(△は減少)		4,210	3,797	△ 412
利息及び配当金の収入		△ 138,660	△ 145,912	△ 7,251
有価証券関係損益(△は益)		△ 55,070	△ 115,578	△ 60,508
支払利息		6,247	3,733	△ 2,513
為替差損益(△は益)		2,004	1,705	△ 298
有形固定資産関係損益(△は益)		△ 1,375	2,221	3,597
持分法による投資損益(△は益)		△ 1,559	△ 1,329	229
その他資産(除く投資活動関連、財務活動関連)の増減額(△は増加)		14,542	△ 18,941	△ 33,483
その他負債(除く投資活動関連、財務活動関連)の増減額(△は減少)		△ 52,921	23,739	76,660
その他		△ 3,243	1,784	5,027
小計		△ 64,114	△ 32,496	31,617
利息及び配当金の受取額		147,612	145,774	△ 1,837
利息の支払額		△ 6,865	△ 3,926	2,938
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)		7,339	△ 71,858	△ 79,198
営業活動によるキャッシュ・フロー		83,973	37,493	△ 46,479
投資活動によるキャッシュ・フロー				
預貯金の純増減額(△は増加)		120,037	50,541	△ 69,495
買入金銭債権の取得による支出		△ 695,748	△ 665,076	30,672
買入金銭債権の売却・償還による収入		384,832	887,746	502,914
金銭の信託の増加による支出		△ 9,500	△ 3,000	6,500
金銭の信託の減少による収入		7,629	692	△ 6,937
有価証券の取得による支出		△ 2,176,123	△ 1,729,747	446,375
有価証券の売却・償還による収入		2,012,671	1,918,169	△ 94,501
貸付金による支出		△ 148,090	△ 158,361	△ 10,271
貸付金の回収による収入		211,320	215,464	4,143
債券貸借取引受入担保金の純増減額(△は減少)		972,703	△ 440,622	△ 1,413,325
その他		△ 1,895	△ 3,379	△ 1,483
資産運用活動計		677,835	72,427	△ 605,408
営業活動及び資産運用活動計		761,808	109,920	△ 651,887
有形固定資産の取得による支出		△ 24,205	△ 23,031	1,174
有形固定資産の売却による収入		9,914	8,776	△ 1,137
投資活動によるキャッシュ・フロー		663,544	58,172	△ 605,371
財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入れによる収入		5,794	50,000	44,205
借入金返済による支出		△ 82,418	△ 167,950	△ 85,531
短期社債の発行による収入		—	9,999	9,999
短期社債の償還による支出		△ 68,000	△ 10,000	58,000
社債の発行による収入		661	271	△ 390
社債の償還による支出		△ 121,826	△ 53,361	68,465
配当金の支払額		△ 22,501	△ 116,536	△ 94,035
少数株主への配当金の支払額		—	△ 3	△ 3
その他		△ 2,680	△ 2,777	△ 96
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 290,971	△ 290,359	612
現金及び現金同等物に係る換算差額		8,389	△ 8,189	△ 16,579
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		464,935	△ 202,882	△ 667,818
現金及び現金同等物の期首残高		568,985	1,033,920	464,935
現金及び現金同等物の期末残高		1,033,920	831,038	△ 202,882

現状

経営について

商品・サービスについて

業績データ

コーポレートデータ

経理の状況（連結）

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社数43社

（主要な会社名）

Philadelphia Consolidated Holding Corp.

Philadelphia Indemnity Insurance Company

Tokio Millennium Re (UK) Limited*

Kiln Group Limited

Kiln Underwriting Limited

Tokio Marine Underwriting Limited

Asia General Holdings Limited

Tokio Marine Insurance Singapore Ltd.

Tokio Marine Life Insurance Singapore Ltd.**

Tokio Marine Life Insurance Malaysia Bhd.***

Tokio Millennium Re Ltd.

Tokio Marine Financial Solutions Ltd.

International Marine Insurance Managers SA (Pty) Ltdは、清算終了したため、当連結会計年度より連結の範囲から除外しています。

* 平成23年1月に社名を「Tokio Marine Global Ltd.」から変更しました。

** 平成22年8月に社名を「TM Asia Life Singapore Ltd.」から変更しました。

*** 平成22年6月に社名を「TM Asia Life Malaysia Bhd.」から変更しました。

(2) 主要な非連結子会社の名称等

主要な非連結子会社は東京海上日動調査サービス(株)および東京海上キャピタル(株)です。

非連結子会社は、総資産、売上高、当期純損益および利益剰余金等の観点からみて、いずれもそれぞれ小規模であり、当企業集団の財政状態と経営成績に関する合理的な判断を妨げるほどの重要性がないので、連結の範囲から除いています。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の関連会社数2社

（主要な会社名）

First Insurance Company of Hawaii, Ltd.

Praesidio Risk Managers (Pty) Ltdは、株式売却により関連会社に該当しなくなったため、当連結会計年度より持分法適用の範囲から除外しています。

(2) 持分法を適用していない非連結子会社（東京海上日動調査サービス(株)、東京海上キャピタル(株)他）および関連会社（東京海上日動アトラディウス・クレジットマネジメント(株)他）については、それぞれ当期純損益および利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性がないので、持分法を適用していません。

(3) 当社は、日本地震再保険(株)の議決権の27.0%を所有していますが、同社事業の公共性を踏まえ、同社事業等の方針決定に対し重要な影響を与えることができないと判断されることから、関連会社から除いています。

(4) 決算日が連結決算日と異なる持分法適用会社については、当該会社の事業年度に係る財務諸表を使用しています。
(会計方針の変更)

当連結会計年度より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。

これに伴う経常利益および税金等調整前当期純利益に与える影響は軽微です。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

海外連結子会社42社の決算日は12月31日ですが、決算日の差異が3カ月を超えていないため、本連結財務諸表の作成にあたっては、同日現在の財務諸表を使用しています。なお、連結決算日との差異期間における重要な取引については、連結上必要な調整を行っています。

4. 会計処理基準に関する事項

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

- ① 売買目的有価証券の評価は、時価法によっています。なお、売却原価の算定は移動平均法に基づいています。
- ② 満期保有目的の債券の評価は、移動平均法に基づく償却原価法(定額法)によっています。
- ③ その他有価証券のうち時価のあるものの評価は、決算日の市場価格等に基づく時価法によっています。なお、評価差額は全部純資産直入法により処理し、また、売却原価の算定は移動平均法に基づいています。
- ④ その他有価証券のうち時価を把握することが極めて困難と認められるものの評価は、移動平均法に基づく原価法によっています。
- ⑤ 持分法を適用していない非連結子会社株式および関連会社株式については、移動平均法に基づく原価法によっています。
- ⑥ 有価証券運用を主目的とする単独運用の金銭の信託において信託財産として運用されている有価証券の評価は、時価法によっています。

(2) デリバティブ取引の評価基準および評価方法

デリバティブ取引の評価は、時価法によっています。

(3) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

当社および国内連結子会社の保有する有形固定資産の減価償却は、定率法により行っています。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(建物付属設備等を除く)については、定額法により行っています。

② 無形固定資産

海外子会社の買収により取得した無形固定資産については、その効果が及ぶと見積もられる期間にわたり、効果の発現する態様にしたがって償却しています。

(4) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

当社は、債権の貸倒れによる損失に備えるため、資産の自己査定基準および償却・引当基準に基づき、次のとおり計上しています。

破産、特別清算、手形交換所における取引停止処分等、法的・形式的に経営破綻の事実が発生している債務者に対する債権および実質的に経営破綻に陥っている債務者に対する債権については、債権額から担保の処分可能見込額および保証による回収が可能と認められる額等を控除し、その残額を計上しています。

今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に対する債権については、債権額から担保の処分可能見込額および保証による回収が可能と認められる額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断して必要と認められる額を計上しています。

経理の状況（連結）

上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績等から算出した貸倒実績率を債権額に乗じた額を計上しています。

特定海外債権については、対象国の政治経済情勢等に起因して生じる損失見込額を特定海外債権引当勘定として計上しています。

また、すべての債権は資産の自己査定基準に基づき、資産計上部門および資産管理部門が資産査定を実施し、当該部門から独立した資産監査部門が査定結果を監査しており、その査定結果に基づいて上記の計上を行っています。

②退職給付引当金

当社および国内連結子会社は、従業員の退職給付に充てるため、当連結会計年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づいて、当連結会計年度末に発生していると認められる額を計上しています。

過去勤務債務については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（14年）による定額法により、費用処理しています。数理計算上の差異については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（14年）による定額法により、翌連結会計年度から費用処理しています。

③役員退職慰労引当金

国内連結子会社は、役員の退職慰労金に充てるため、内規に基づく当連結会計年度末要支給額を計上しています。

④賞与引当金

当社および国内連結子会社は、従業員賞与に充てるため、支給見込額を基準に計上しています。

⑤価格変動準備金

当社は、株式等の価格変動による損失に備えるため、保険業法第115条の規定に基づき計上しています。

(5) 消費税等の会計処理

当社および国内連結子会社の消費税等の会計処理は税抜方式によっています。ただし、当社の損害調査費、営業費及び一般管理費等の費用は税込方式によっています。

なお、資産に係る控除対象外消費税等はその他資産（仮払金）に計上し、5年間で均等償却を行っています。

(6) 重要なリース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年4月1日前に開始する連結会計年度に属するものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(7) 重要なヘッジ会計の方法

①金利関係

当社は、長期の保険契約等に付随して発生する金利の変動リスクを軽減するため、金融資産と保険負債等を同時に評価・分析し、リスクをコントロールする資産・負債総合管理（ALM）を実施しています。

当社は、この管理のために利用している金利スワップ取引の一部については、業種別監査委員会報告第26号「保険業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（平成14年9月3日 日本公認会計士協会）（以下「第26号報告」という）に基づく繰延ヘッジ処理を行っています。ヘッジ対象となる保険負債とヘッジ手段である金利スワップ取引を一定の残存期間毎にグルーピングのうえヘッジ指定を行っており、ヘッジに高い有効性があるため、ヘッジ有効性の評価を省略しています。また、第26号報告適用前の業種別監査委員会報告第16号「保険業における金融商品会計基準適用に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」（平成12年3月31日 日本公認会計士協会）による平成15年3月末の繰延ヘッジ利益については、第26号報告の経過措置に基づいて、ヘッジ手段の残存期間（1年～17年）にわたり定額法により損益に配分しています。なお、本経過措置に基づく当連結会計年度末の繰延ヘッジ損益（税相当額控除前）は26,700百万円、当連結会計年度の損益に配分された額は2,505百万円です。

②為替関係

当社は、外貨建資産等に係る将来の為替相場の変動リスクを軽減する目的で実施している通貨スワップ取引・為替予約取引の一部について、時価ヘッジ処理および振当処理を行っています。なお、ヘッジ手段とヘッジ対象の重要な条件が同一であり、ヘッジに高い有効性があるため、ヘッジ有効性の評価を省略しています。

(8) のれんの償却方法及び償却期間

連結貸借対照表の資産の部に計上したのれんについて、Philadelphia Consolidated Holding Corp.に係るものについては20年間、Tokio Marine Life Insurance (Malaysia) Bhd.に係るものについては15年間、Kiln Group Limitedに係るものについては10年間で均等償却しています。ただし、少額のものについては一括償却しています。

なお、平成22年3月31日以前に発生した負ののれんについては、連結貸借対照表の負債の部に計上し、20年間の均等償却を行っています。

(9) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金および取得日から満期日または償還日までの期間が3か月以内の定期預金等の短期投資からなっています。

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

（「資産除去債務に関する会計基準」の適用）

当連結会計年度より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しています。

これにより、経常利益は132百万円減少し、税金等調整前当期純利益は2,877百万円減少しています。

（「企業結合に関する会計基準」等の適用）

当連結会計年度より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しています。

表示方法の変更

（連結損益計算書関係）

当連結会計年度より、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、「少数株主損益調整前当期純利益」の科目を表示しています。

追加情報

当連結会計年度より、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 平成22年6月30日）を適用しています。ただし、「その他の包括利益累計額」および「その他の包括利益累計額合計」の前連結会計年度の金額は、「評価・換算差額等」および「評価・換算差額等合計」の金額を記載しています。

経理の状況（連結）

注記事項

〈連結貸借対照表関係〉

- 有形固定資産の減価償却累計額は302,510百万円、圧縮記帳額は17,449百万円です。
- 非連結子会社および関連会社の株式等は次のとおりです。

有価証券（株式）	39,461百万円
有価証券（出資金）	33,785百万円
- 貸付金のうち、破綻先債権額、延滞債権額、3カ月以上延滞債権額および貸付条件緩和債権額の合計額は7,841百万円です。この内訳は次のとおりです。
 - 破綻先債権額は429百万円です。

破綻先債権とは、元本または利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本または利息の取立てまたは弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸付金（貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸付金」といいます）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96条第1項第3号イからホまで（貸倒引当金勘定への繰入限度額）に掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸付金です。
 - 延滞債権額は7,114百万円です。

延滞債権とは、未収利息不計上貸付金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸付金以外の貸付金です。
 - 3カ月以上延滞債権はありません。

3カ月以上延滞債権とは、元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3月以上遅延している貸付金で、破綻先債権および延滞債権に該当しないものです。
 - 貸付条件緩和債権額は297百万円です。

貸付条件緩和債権とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金で、破綻先債権、延滞債権および3カ月以上延滞債権に該当しないものです。
- 担保に供している資産は、有価証券356,090百万円、預貯金25,982百万円です。

また、担保付き債務は、支払備金65,342百万円、責任準備金60,114百万円、その他の負債（外国再保険借等）23,490百万円です。
- デリバティブ取引に関連して、担保として受け入れている有価証券は15,392百万円（時価）です。
- 有価証券には、消費貸借契約により貸し付けているものが690,235百万円含まれています。
- 貸出コミットメントに係る貸出未実行残高は次のとおりです。

貸出コミットメントの総額	62,068百万円
貸出実行残高	6,488百万円
差引額	55,579百万円
- 当社は子会社の債務を保証しており、当連結会計年度末における各社に対する保証残高は次のとおりです。

TNUS Insurance Company	14百万円
Tokio Marine Compania de Seguros, S.A. de C.V.	2,232百万円
Tokio Marine Pacific Insurance Limited	2,133百万円
東京海上日動火災保険（中国）有限公司	720百万円
計	5,101百万円

〈連結損益計算書関係〉

1. 事業費の主な内訳は次のとおりです。

代理店手数料等	337,765百万円
給与	146,673百万円

なお、事業費は連結損益計算書における損害調査費、営業費及び一般管理費ならびに諸手数料及び集金費の合計です。

2. その他特別利益は、固定資産解体費用引当金戻入額630百万円です。

3. 当連結会計年度において、以下の資産について減損損失を計上しています。

用途	種類	場所等	減損損失(百万円)			
			土地	建物	その他	合計
賃貸用不動産等	土地および建物等	群馬県前橋市に保有するビル	37	778	49	864
遊休不動産等および売却予定不動産等	土地および建物等	大阪府和泉市に保有する厚生施設など26物件	2,447	1,123	0	3,571
合計			2,485	1,901	50	4,436

保険事業等の用に供している事業用不動産等については各事業全体で1つの資産グループとし、賃貸用不動産等、遊休不動産等および売却予定不動産等については主たる用途に基づき個別の物件毎にグルーピングしています。

主に不動産価格の下落に伴い賃貸用不動産等、遊休不動産等および売却予定不動産等の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しています。なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額と使用価値のいずれか高い価額としています。正味売却価額は不動産鑑定士による鑑定評価額等から処分費用見込額を減じた額によっており、使用価値は将来キャッシュ・フローを9.6%で割り引いて算定しています。

4. その他特別損失の主な内訳は、関係会社出資金評価損3,663百万円です。

〈連結包括利益計算書関係〉

1. 当連結会計年度の直前連結会計年度における包括利益

親会社株主に係る包括利益	574,185百万円
少数株主に係る包括利益	3,060百万円
計	577,245百万円

2. 当連結会計年度の直前連結会計年度におけるその他の包括利益

その他有価証券評価差額金	418,723百万円
繰延ヘッジ損益	△907百万円
為替換算調整勘定	13,829百万円
持分法適用会社に対する持分相当額	316百万円
計	431,963百万円

経理の状況（連結）

〈連結株主資本等変動計算書関係〉

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前連結会計年度末株式数 (千株)	当連結会計年度増加株式数 (千株)	当連結会計年度減少株式数 (千株)	当連結会計年度末株式数 (千株)
発行済株式 普通株式	1,549,692	—	—	1,549,692
合計	1,549,692	—	—	1,549,692

自己株式については、該当事項はありません。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成22年 5月19日取締役会	普通株式	50,008百万円	32.27円	平成22年3月31日	平成22年 6月17日
平成22年 11月18日取締役会	普通株式	57,013百万円	36.79円	—	平成22年11月25日
平成23年 3月16日取締役会	普通株式	9,515百万円	6.14円	—	平成23年 3月18日

(決議)	株式の種類	配当財産の種類及び帳簿価額の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日	
平成23年2月10日取締役会	普通株式	・(株)東京海上日動 オペレーションズ 普通株式 ・東京海上日動 コーポレーション(株) 普通株式	380百万円	0.24円	—	平成23年3月4日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額	配当の原資	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成23年5月18日取締役会	普通株式	20,006百万円	利益剰余金	12.91円	平成23年3月31日	平成23年6月17日

〈連結キャッシュ・フロー計算書関係〉

1. 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

(平成23年3月31日現在)

現金及び預貯金	189,467百万円
コールローン	183,300百万円
買入金銭債権	913,714百万円
有価証券	6,287,832百万円
預入期間が3カ月を超える定期預金	△44,487百万円
現金同等物以外の買入金銭債権等	△446,266百万円
現金同等物以外の有価証券	△6,252,523百万円
現金及び現金同等物	831,038百万円

2. 投資活動によるキャッシュ・フローには、保険事業に係る資産運用業務から生じるキャッシュ・フローを含んでいます。

リース取引関係

平成21年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)				平成22年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)																							
1. ファイナンス・リース取引 通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引				1. ファイナンス・リース取引 通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引 (借手側)																							
①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び期末残高相当額 (単位:百万円)				①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び期末残高相当額 (単位:百万円)																							
	取得価額相当額	減価償却累計額相当額	期末残高相当額		取得価額相当額	減価償却累計額相当額	期末残高相当額																				
有形固定資産	2,278	1,830	447	有形固定資産	931	798	132																				
<p>なお、取得価額相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法により算定しています。</p> <p>②未経過リース料期末残高相当額等 未経過リース料期末残高相当額</p> <table border="1"> <tr> <td>1年内</td> <td>314百万円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>133百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>447百万円</td> </tr> </table> <p>なお、未経過リース料期末残高相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法により算定しています。</p> <p>③支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額及び減損損失</p> <table border="1"> <tr> <td>支払リース料</td> <td>597百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td>597百万円</td> </tr> </table> <p>④減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっています。</p>				1年内	314百万円	1年超	133百万円	合計	447百万円	支払リース料	597百万円	減価償却費相当額	597百万円	<p>同左</p> <p>②未経過リース料期末残高相当額等 未経過リース料期末残高相当額</p> <table border="1"> <tr> <td>1年内</td> <td>23百万円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>109百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>132百万円</td> </tr> </table> <p>同左</p> <p>③支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額及び減損損失</p> <table border="1"> <tr> <td>支払リース料</td> <td>312百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td>312百万円</td> </tr> </table> <p>④減価償却費相当額の算定方法 同左</p>				1年内	23百万円	1年超	109百万円	合計	132百万円	支払リース料	312百万円	減価償却費相当額	312百万円
1年内	314百万円																										
1年超	133百万円																										
合計	447百万円																										
支払リース料	597百万円																										
減価償却費相当額	597百万円																										
1年内	23百万円																										
1年超	109百万円																										
合計	132百万円																										
支払リース料	312百万円																										
減価償却費相当額	312百万円																										
2. オペレーティング・リース取引 オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料				2. オペレーティング・リース取引 オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料 (借手側)																							
	1年内	2,794百万円			1年内	2,991百万円																					
	1年超	6,568百万円			1年超	5,060百万円																					
	合計	9,362百万円			合計	8,052百万円																					
				(貸手側)																							
	1年内				1年内	1,297百万円																					
	1年超				1年超	3,240百万円																					
	合計				合計	4,538百万円																					
(減損損失について) リース資産に配分された減損損失はありません。				(減損損失について) 同左																							

経理の状況（連結）

税効果会計関係

平成21年度(平成22年3月31日現在)	平成22年度(平成23年3月31日現在)
1. 繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (単位:百万円)	1. 繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (単位:百万円)
繰延税金資産	繰延税金資産
責任準備金等	責任準備金等
365,328	372,150
支払備金	支払備金
57,405	67,983
退職給付引当金	退職給付引当金
56,816	58,622
有価証券評価損	有価証券評価損
45,053	37,400
価格変動準備金	価格変動準備金
20,819	22,190
繰延ヘッジ損失	繰越欠損金
8,529	10,454
その他の他	その他の他
79,985	70,138
繰延税金資産小計	繰延税金資産小計
633,939	638,940
評価性引当額	評価性引当額
△29,008	△26,079
繰延税金資産合計	繰延税金資産合計
604,930	612,861
繰延税金負債	繰延税金負債
その他有価証券評価差額金	その他有価証券評価差額金
△622,859	△499,668
繰延ヘッジ利益	繰延ヘッジ利益
△17,821	△17,370
固定資産圧縮積立金	連結子会社時価評価差額金
△10,412	△11,137
連結子会社時価評価差額金	固定資産圧縮積立金
△10,011	△9,862
その他の他	その他の他
△50,936	△45,324
繰延税金負債合計	繰延税金負債合計
△712,041	△583,362
繰延税金資産(負債)の純額	繰延税金資産(負債)の純額
△107,111	29,498
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳 (単位:%)	2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳 (単位:%)
国内の法定実効税率	国内の法定実効税率
36.1	36.1
(調整)	(調整)
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	受取配当金等永久に益金に算入されない項目
△5.2	△9.3
子会社等に適用される税率の影響	評価性引当額
△4.8	△2.6
評価性引当額	のれん及び負ののれんの償却
△1.9	4.8
のれん及び負ののれんの償却	子会社等に適用される税率の影響
2.7	2.2
在外子会社の契約者配当準備金に係る法人税相当額	交際費等永久に損金に算入されない項目
1.7	1.4
交際費等永久に損金に算入されない項目	その他の他
0.6	△0.6
その他の他	税効果会計適用後の法人税等の負担率
△0.4	32.1
税効果会計適用後の法人税等の負担率	
28.8	

退職給付関係

1. 採用している退職給付制度の概要

当社および国内連結子会社1社は、退職給付制度として、ほぼ全従業員を対象とした非拠出型の給付建退職一時金制度を有しています。また、当社は、企業年金として、企業年金基金制度および適格退職年金制度を有しています。

当社の退職一時金制度における支払額および企業年金基金制度の年金給付額は、主にポイント制に基づいて決定しており、国内連結子会社1社の退職一時金制度における支払額は、退職時の給与、勤務期間および退職事由等に基づいて決定しています。

なお、一部の海外連結子会社においても退職給付制度を有しています。

2. 退職給付債務に関する事項

(単位：百万円)

	平成21年度 (平成22年3月31日現在)	平成22年度 (平成23年3月31日現在)
イ. 退職給付債務	△ 359,075	△ 362,215
ロ. 年金資産	148,664	150,289
ハ. 未積立退職給付債務 (イ + ロ)	△ 210,411	△ 211,925
ニ. 未認識数理計算上の差異	72,197	66,051
ホ. 未認識過去勤務債務	△ 18,904	△ 16,222
ヘ. 連結貸借対照表計上額の純額 (ハ + ニ + ホ)	△ 157,118	△ 162,097
ト. 前払年金費用	170	252
チ. 退職給付引当金 (ヘ - ト)	△ 157,288	△ 162,349

(注)

平成21年度	平成22年度
当社以外の会社は、退職給付債務の算定にあたり、簡便法を採用しています。	同左

経理の状況（連結）

3. 退職給付費用に関する事項

(単位：百万円)

	平成21年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	平成22年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
イ. 勤務費用	14,268	14,803
ロ. 利息費用	6,806	7,009
ハ. 期待運用収益	△3,355	△3,414
ニ. 数理計算上の差異の費用処理額	9,000	9,010
ホ. 過去勤務債務の費用処理額	△2,681	△2,681
ヘ. 退職給付費用 (イ+ロ+ハ+ニ+ホ)	24,038	24,727
ト. 確定拠出年金への掛金拠出額	1,754	1,839
計(ヘ+ト)	25,793	26,566

(注)

平成21年度	平成22年度
1. 企業年金基金に対する従業員拠出額を控除しています。 2. 簡便法を採用している会社の退職給付費用は「イ. 勤務費用」に計上しています。	同左

4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

原則法を適用している当社の退職給付債務等の計算の基礎に関する事項は以下のとおりとなっています。

	平成21年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	平成22年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
イ. 退職給付見込額の期間配分方法	退職一時金制度および企業年金基金制度は主にポイント基準を採用しています。	同左
ロ. 割引率	2.0%	同左
ハ. 期待運用収益率	2.4%	2.3%
ニ. 過去勤務債務の額の処理年数	14年(発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により費用処理)	同左
ホ. 数理計算上の差異の処理年数	14年(発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、翌連結会計年度から費用処理)	同左

ストック・オプション等関係

平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

1. スtock・オプションに係る当連結会計年度における費用計上額及び科目名

損害調査費	93百万円
営業費及び一般管理費	233百万円
合計	326百万円

2. スtock・オプションの内容

当社の親会社の東京海上ホールディングス(株)より、当社の取締役、監査役および執行役員に対して株式報酬型ストック・オプションが付与されており、当社は自社負担額のうち当連結会計年度末までに発生した額を報酬費用として計上しています。

リスク管理債権

(単位:百万円)

	平成21年度 (平成22年3月31日現在)	平成22年度 (平成23年3月31日現在)	比較増減
破綻先債権額(A)	2,473	429	△2,043
延滞債権額(B)	8,337	7,114	△1,222
3カ月以上延滞債権額(C)	334	—	△334
貸付条件緩和債権額(D)	3,766	297	△3,469
リスク管理債権合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	14,911	7,841	△7,070
貸付金残高(F)	478,215	417,809	△60,406
貸付金に占める割合(G)=(E)/(F)×100	3.1%	1.9%	△1.2%
担保等保全額及び個別引当額(H)	11,905	7,481	△4,424
カバー率(I)=(H)/(E)×100	79.8%	95.4%	15.6%

(注) 1. 各債権の意義は次のとおりです。

(1) 破綻先債権

破綻先債権とは、元本または利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本または利息の取立てまたは弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸付金(貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸付金」といいます)のうち、法人税法施行令に定める一定の事由が生じているものです。

(2) 延滞債権

延滞債権とは、未収利息不計上貸付金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外のものです。

(3) 3カ月以上延滞債権

3カ月以上延滞債権とは、元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸付金で、破綻先債権および延滞債権に該当しないものです。

(4) 貸付条件緩和債権

貸付条件緩和債権とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金で、破綻先債権、延滞債権および3カ月以上延滞債権に該当しないものです。

2. 担保等保全額及び個別引当額は、担保等で保全され回収が見込まれる額と個別貸倒引当金に繰入済の額の合計額です。

経理の状況（連結）

セグメント情報等

[事業の種類別セグメント情報]

平成21年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

（単位：百万円）

	損害保険事業	生命保険事業	その他の事業	計	消去	連結
I 経常収益及び経常損益						
経常収益						
(1) 外部顧客に対する経常収益	2,617,785	46,081	16,189	2,680,055	(22,538)	2,657,517
(2) セグメント間の内部経常収益	403	16	498	919	(919)	—
計	2,618,188	46,097	16,688	2,680,974	(23,457)	2,657,517
経常費用	2,409,872	33,371	21,021	2,464,265	(23,955)	2,440,310
経常利益（又は経常損失）	208,316	12,726	(4,333)	216,709	498	217,207
II 資産、減価償却費、減損損失及び資本的支出						
資産	10,291,257	286,991	368,029	10,946,278	(7,524)	10,938,754
減価償却費	53,453	203	134	53,791	—	53,791
減損損失	8,862	—	17	8,879	—	8,879
資本的支出	27,690	73	425	28,189	—	28,189

(注) 1. 事業区分は、当社および連結子会社における業務の実態を勘案して区分しています。

2. 各事業区分の主要な事業内容

損害保険事業…損害保険引受業務および資産運用業務

生命保険事業…生命保険引受業務および資産運用業務

その他の事業…証券投資顧問業、投資信託委託業およびデリバティブ事業

3. 外部顧客に対する経常収益の消去欄の金額のうち主なものは、その他の事業セグメントに係る経常費用のうち金融派生商品費用9,658百万円について、連結損益計算書上は経常収益のうち金融派生商品収益に含めたことによる振替額です。

[所在地別セグメント情報]

平成21年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

（単位：百万円）

	日本	米州	その他の地域	計	消去	連結
I 経常収益及び経常損益						
経常収益						
(1) 外部顧客に対する経常収益	2,263,631	266,403	191,334	2,721,369	(63,851)	2,657,517
(2) セグメント間の内部経常収益	483	45	60	589	(589)	—
計	2,264,114	266,449	191,394	2,721,958	(64,440)	2,657,517
経常費用	2,117,177	234,969	153,101	2,505,249	(64,939)	2,440,310
経常利益（又は経常損失）	146,936	31,479	38,293	216,709	498	217,207
II 資産	8,951,685	1,346,642	650,040	10,948,368	(9,614)	10,938,754

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的接近度によっています。

2. 日本以外の区分に属する主な国または地域

(1) 米州 …米国、バミューダ

(2) その他…英国、シンガポール、マレーシア

3. 外部顧客に対する経常収益の消去欄の金額のうち主なものは、米州に係る経常費用のうち支払備金繰入額23,946百万円について、連結損益計算書上は経常収益のうち支払備金繰入額に含めたことによる振替額です。

[海外売上高]

平成21年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

	米州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	325,215	201,094	526,310
II 連結経常収益(百万円)			2,657,517
III 連結経常収益に占める海外売上高の割合(%)	12.2	7.6	19.8

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。
 2. 各区分に属する主な国または地域
 (1) 米州 …米国、バミューダ
 (2) その他…英国、シンガポール、マレーシア
 3. 海外売上高は、当社の海外売上高および在外連結子会社の経常収益の合計額です。

[セグメント情報]

平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

1. 報告セグメントの概要

当社は、東京海上グループの事業の中核を担う損害保険会社として、当社をとりまく事業環境を踏まえた経営計画を策定し、事業活動を展開しています。当社は、親会社である東京海上ホールディングス株式会社の経営計画を基礎として、「国内損害保険事業」、「海外保険事業」および「金融・一般事業」の3つを報告セグメントとしています。

「国内損害保険事業」は、日本国内の損害保険引受業務、および資産運用業務等を行っています。「海外保険事業」は、海外の保険引受業務、および資産運用業務等を行っています。「金融・一般事業」は、証券投資顧問業、投資信託委託業、デリバティブ事業を中心に事業を行っています。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一です。報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値です。

セグメント間の内部経常収益は、市場実勢価格に基づいています。

経理の状況（連結）

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務 諸表計上額 (注)2
	国内損害 保険事業	海外 保険事業	金融・ 一般事業	計		
経常収益						
外部顧客からの経常収益	2,260,230	453,878	14,118	2,728,226	△31,757	2,696,469
セグメント間の内部経常収益	840	57	495	1,393	△1,393	—
計	2,261,070	453,936	14,613	2,729,619	△33,150	2,696,469
セグメント利益	118,949	10,884	1,705	131,539	△1,653	129,886
セグメント資産	7,720,588	1,785,501	319,281	9,825,371	△8,749	9,816,621
その他の項目						
減価償却費	17,068	10,850	114	28,034	—	28,034
のれん償却額	—	16,129	—	16,129	—	16,129
負ののれん償却額	—	918	31	950	—	950
利息及び配当金収入	109,174	36,581	158	145,914	△2	145,912
支払利息	2,992	193	550	3,735	△1	3,733
持分法投資利益	—	1,329	—	1,329	—	1,329
持分法適用会社への投資額	—	12,942	—	12,942	—	12,942
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	21,531	6,593	78	28,203	—	28,203

(注) 1. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客からの経常収益の調整額△31,757百万円のうち主なものは、海外保険事業セグメントに係る経常費用のうち責任準備金等繰入額30,103百万円について、連結損益計算書上は、経常収益のうち責任準備金等戻入額に含めたことによる振替額です。

(2) セグメント利益の調整額△1,653百万円は、セグメント間取引の消去額です。

(3) セグメント資産の調整額△8,749百万円は、セグメント間取引の消去額等です。

(4) その他の項目の調整額は、セグメント間取引の消去額です。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

【関連情報】

平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	損害保険	生命保険	その他	計	調整額	合計
外部顧客からの経常収益	2,652,056	49,537	14,118	2,715,712	△19,242	2,696,469

(注) 調整額のうち主なものは、連結損益計算書における責任準備金等の繰入額・戻入額の振替額です。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

(単位：百万円)

日本	海外	計	調整額	合計
2,232,926	498,405	2,731,332	△34,862	2,696,469

(注) 1. 顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

2. 調整額のうち主なものは、連結損益計算書における責任準備金等の繰入額・戻入額の振替額です。

(2) 有形固定資産

連結貸借対照表の有形固定資産の金額に占める本邦に所在している有形固定資産の金額の割合が90%を超えているため、地域ごとの情報の記載を省略しています。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:百万円)

	国内損害保険事業	海外保険事業	金融・一般事業	合計
減損損失	4,436	—	—	4,436

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:百万円)

	国内損害保険事業	海外保険事業	金融・一般事業	合計
(のれん)				
当期償却額	—	16,129	—	16,129
当期末残高	—	254,763	—	254,763
(負ののれん)				
当期償却額	—	918	31	950
当期末残高	—	14,677	413	15,091

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

記載すべき重要なものはありません。

(追加情報)

当連結会計年度より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しています。

<当連結会計年度のセグメント情報を前連結会計年度のセグメント情報の取扱いに基づき作成した情報>

[事業の種類別セグメント情報]

平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:百万円)

	損害保険事業	生命保険事業	その他の事業	計	消去	連結
I 経常収益及び経常損益						
経常収益						
(1) 外部顧客に対する経常収益	2,652,056	49,537	14,118	2,715,712	(19,242)	2,696,469
(2) セグメント間の内部経常収益	401	11	495	908	(908)	—
計	2,652,458	49,548	14,613	2,716,620	(20,151)	2,696,469
経常費用	2,528,725	43,447	12,907	2,585,080	(18,497)	2,566,582
経常利益(又は経常損失)	123,732	6,101	1,705	131,539	(1,653)	129,886
II 資産、減価償却費、減損損失及び資本的支出						
資産	9,198,217	305,451	319,281	9,822,951	(6,329)	9,816,621
減価償却費	27,558	361	114	28,034	—	28,034
減損損失	4,436	—	—	4,436	—	4,436
資本的支出	26,233	4,002	78	30,314	(2,110)	28,203

(注) 1. 事業区分は、当社および連結子会社における業務の実態を勘案して区分しています。

2. 各事業区分の主要な事業内容

損害保険事業…損害保険引受業務および資産運用業務

生命保険事業…生命保険引受業務および資産運用業務

その他の事業…証券投資顧問業、投資信託委託業およびデリバティブ事業

3. 外部顧客に対する経常収益の消去欄の金額のうち主なものは、生命保険事業セグメントに係る経常費用のうち責任準備金等繰入額17,577百万円について、連結損益計算書上は経常収益のうち責任準備金等戻入額に含めたことによる振替額です。

経理の状況（連結）

[所在地別セグメント情報]

平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:百万円)

	日本	米州	その他の地域	計	消去	連結
I 経常収益及び経常損益						
経常収益						
(1) 外部顧客に対する経常収益	2,304,103	247,360	179,905	2,731,370	(34,900)	2,696,469
(2) セグメント間の内部経常収益	472	7	52	531	(531)	—
計	2,304,576	247,367	179,958	2,731,902	(35,432)	2,696,469
経常費用	2,181,534	240,697	178,130	2,600,362	(33,779)	2,566,582
経常利益(又は経常損失)	123,041	6,670	1,827	131,539	(1,653)	129,886
II 資産	7,912,046	1,252,905	658,325	9,823,278	(6,656)	9,816,621

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 日本以外の区分に属する主な国または地域

(1) 米州 …米国、パミューダ

(2) その他…英国、シンガポール、マレーシア

3. 外部顧客に対する経常収益の消去欄の金額のうち主なものは、その他の地域に係る経常費用のうち責任準備金等繰入額23,477百万円について、連結損益計算書上は経常収益のうち責任準備金等戻入額に含めたことによる振替額です。

[海外売上高]

平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

	米州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	300,386	196,895	497,282
II 連結経常収益(百万円)			2,696,469
III 連結経常収益に占める海外売上高の割合(%)	11.1	7.3	18.4

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 米州 …米国、パミューダ

(2) その他…英国、シンガポール、マレーシア

3. 海外売上高は、当社の海外売上高および在外連結子会社の経常収益の合計額です。

関連当事者情報

平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

1. 関連当事者との取引

記載すべき重要なものはありません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

東京海上ホールディングス株式会社(東京証券取引所および大阪証券取引所に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

記載すべき重要なものはありません。

当社は、会社法第444条第4項の規定に基づき、保険業法第111条第1項の規定により公衆の縦覧に供する書類のうち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書および連結注記表について、あらた監査法人の監査を受けています。

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書および連結キャッシュ・フロー計算書について、あらた監査法人の監査を受けています。

金融商品関係

平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社グループは、保険事業を中核としており、保険料として収受した資金等の運用を行っています。運用する資産は、長期火災保険や積立保険等の複数年にわたる保険契約に対応する負債対応資産とそれ以外に区分して管理しています。

負債対応資産については、将来、保険金や満期返戻金等を確実に支払うために、保険負債とのバランスを考え、資産・負債総合管理(ALM)を行っています。ALMにおいては、金利スワップ取引等も活用して保険負債が抱える金利リスクを適切にコントロールしつつ、高格付債券を中心として一定の信用リスクをとる運用を行い、安定的な剰余の価値(運用資産価値－保険負債価値)の拡大を目指しています。

負債対応資産以外については、保険金支払いに備える流動性の維持も考慮しつつ、安定的な収益の獲得に向けて、投資対象の分散や資産運用の効率性の向上等に取り組んでいます。投資にあたっては、投資対象毎のリスク・リターン特性のバランスを考慮し、債券、株式および貸付金をはじめ、幅広い投資対象への分散投資を行っています。また、保有する資産に係るリスクの軽減や、一定のリスクの範囲内での収益獲得を目的として、為替予約取引やクレジット・デリバティブ取引等のデリバティブ取引も活用しています。

こうした取り組みによって、短期的な収益のブレを抑えながら運用収益を安定的に拡大させ、中長期的な純資産価値の拡大および財務基盤の健全性の維持につなげることを目指しています。

資金調達については、主として事業投資資金の確保を目的として、社債の発行や借入れ等を行っています。資金調達が必要な場合には、グループ全体の資金収支を勘案し、調達額や調達手段等を決定しています。

また、連結子会社では、市場のヘッジニーズ、運用・調達ニーズの多様化・高度化に対応した金融商品を提供するデリバティブ事業を行っています。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

当社グループが保有する有価証券は債券や株式等で、これらは市場リスク、信用リスクおよび市場流動性リスクを内包しています。

市場リスクとは、株価、為替、金利等の変動により価値が減少して損失を被る可能性です。信用リスクとは、債務者の信用力の変化や倒産等により価値が減少ないし消滅し損失を被る可能性です。市場流動性リスクとは、市場の混乱等により取引が出来なくなったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされたりすることで損失を被る可能性です。

有価証券投資に係る為替変動リスクの一部は、為替予約取引や通貨スワップ取引等を利用してヘッジしています。これらの取引には、ヘッジ会計を適用しているものもあります。

貸付金は、信用リスクおよび市場リスクを内包しています。

デリバティブ取引は、市場リスク、信用リスクおよび市場流動性リスクを内包しています。デリバティブ取引の信用リスクには、取引の相手先が倒産等により当初の契約どおりに取引を履行できなくなった場合に損失を被る可能性も含まれています。このような信用リスクを軽減するために、取引先が取引を頻繁に行う金融機関等である場合には、一括精算ネットリング契約を締結する等の運営も行っています。また、長期の保険負債が内包する金利リスクをヘッジするために金利スワップ取引等を利用しており、これらの取引にヘッジ会計を適用しています。

なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 4. 会計処理基準に関する事項 (7) 重要なヘッジ会計の方法」に記載しています。

経理の状況（連結）

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

①市場リスク・信用リスク等の管理

当社では、金融商品に係る資産運用リスク（市場リスク、信用リスクおよび市場流動性リスク等）に対応するため、取引部門から独立したリスク管理部門で、定量・定性の両面からリスク管理を行っています。

資産運用部門が定める当該年度の資産運用計画を踏まえ、取締役会が資産運用リスク管理に係る組織・体制、リスク管理の方法、損失時の対応方法、上限リスク量超過時の対応方法、報告事項等を規定した「資産運用リスク管理方針」を制定しています。当該方針に従い、資産運用計画における運用管理区分毎に、投資可能商品、上限リスク量、損失時対応等を明文化した「運用ガイドライン」を制定しています。また、個別投融資案件への牽制を目的に、個別投融資案件の審査対象商品や審査基準等を規定した「審査規程」を制定しています。

定量的なリスク管理においては、バリュー・アット・リスク（VaR）の考え方をを用いて、市場リスクや信用リスク等を定量化しています。

リスク管理部では、これらの方針・規程等に従い、その遵守状況、リスク量および収益をモニタリングし、その内容を月次で担当役員へ報告するとともに、四半期毎に取締役会にも報告しています。また、個別投融資案件の審査・投融資後のモニタリングを規程に従って実施しています。

なお、他の連結子会社においても、これに準じたリスク管理体制を構築しています。

②資金調達に係る流動性リスクの管理

当社グループでは、会社毎およびグループ全体で資金管理を行うなかで、資金の支払期日を管理し、合わせて多様な資金調達手段を確保することで、資金調達に係る流動性リスクの管理を行っています。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれています。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成23年3月31日における連結貸借対照表計上額、時価およびこれらの差額については、次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めていません（(注)2. 参照）。

（単位：百万円）

	連結貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1) 現金及び預貯金	189,467	189,469	1
(2) コールローン	183,300	183,300	—
(3) 買現先勘定	121,967	121,967	—
(4) 買入金銭債権	913,714	913,714	—
(5) 金銭の信託	14,056	14,056	—
(6) 有価証券			
売買目的有価証券	313,242	313,242	—
満期保有目的の債券	141,635	147,288	5,652
その他有価証券	5,555,368	5,555,368	—
(7) 貸付金	383,472		
貸倒引当金*	△6,433		
	377,039	386,920	9,881
資 産 計	7,809,793	7,825,328	15,535
(1) 社 債	125,079	126,229	1,150
(2) 債券貸借取引受入担保金	646,436	646,436	—
負 債 計	771,515	772,665	1,150
デリバティブ取引**			
ヘッジ会計が適用されていないもの	(310)	(310)	—
ヘッジ会計が適用されているもの	21,226	21,226	—
デリバティブ取引計	20,915	20,915	—

* 貸付金に対応する一般貸倒引当金および個別貸倒引当金を控除しています。

** その他資産およびその他負債に計上しているデリバティブ取引を一括して表示しています。デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、()で表示しています。

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法

資産

(1) 現金及び預貯金（うち「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号）に基づいて有価証券として取り扱うものを除く）、(2) コールローン、(3) 買現先勘定については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額に近似していると考えられるため、当該帳簿価額を時価としています。

(6) 有価証券（「(1) 現金及び預貯金」「(4) 買入金銭債権」のうち「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号）に基づいて有価証券として取り扱うものおよび「(5) 金銭の信託」において信託財産として運用している有価証券を含む）のうち市場価格のあるものについては、上場株式は決算日の取引所の価格、債券は店頭取引による価格等によっています。市場価格のないものについては、見積将来キャッシュ・フローの現在価値等によっています。

(7) 貸付金のうち変動金利貸付については、市場金利の変動が短期間で将来キャッシュ・フローに反映されることから、時価は帳簿価額に近似していると考えられるため、貸付先の信用状況が実行後大きく異なっていない限り、当該帳簿価額を時価としています。固定金利貸付については、見積将来キャッシュ・フローの現在価値等によっています。なお、破綻先、実質破綻先および破綻懸念先に対する貸付金については、直接減額前の帳簿価額から貸倒見積高を控除した額を時価としています。

負債

(1) 社債については、店頭取引による価格によっています。

(2) 債券貸借取引受入担保金については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額に近似していると考えられるため、当該帳簿価額を時価としています。

デリバティブ取引

「デリバティブ取引関係」注記をご参照ください。

経理の状況（連結）

2. 非上場株式および非上場株式から構成されている組合出資金等（連結貸借対照表計上額277,585百万円）は、市場価格がなく、かつ、将来キャッシュ・フローを見積もることができないことから時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(6)有価証券」には含めていません。

また、約款貸付（連結貸借対照表計上額34,336百万円）は、保険契約に基づいた融資制度で、解約返戻金の範囲内で返済期限を定めずに実行しており、将来キャッシュ・フローを見積もることができないことから時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(7)貸付金」には含めていません。

3. 金銭債権および満期のある有価証券の連結決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
預貯金	180,173	824	—	—
買入金銭債権	750,844	32,236	19,048	107,425
有価証券				
満期保有目的の債券				
国債	—	—	12,000	107,000
外国証券	1,862	5,389	6,783	7,448
その他有価証券のうち満期があるもの				
国債	150,844	371,772	390,200	699,200
地方債	10,612	107,621	24,549	—
社債	76,513	288,616	125,370	34,050
株式	100	—	—	—
外国証券	112,321	311,419	192,082	201,002
貸付金*	56,570	181,977	45,346	94,502
合計	1,339,841	1,299,857	815,380	1,250,628

* 貸付金のうち、破綻先、実質破綻先および破綻懸念先に対する債権等、償還予定額が見込めない5,052百万円、期間の定めのないもの23百万円は含めていません。

有価証券関係

1. 売買目的有価証券

(単位：百万円)

種 類	平成21年度 (平成22年3月31日現在)		平成22年度 (平成23年3月31日現在)	
	連結貸借 対照表計上額	損益に含まれた 評価差額	連結貸借 対照表計上額	損益に含まれた 評価差額
売 買 目 的 有 価 証 券	325,412	△1,581	314,768	5,780

(注)

平成21年度	平成22年度
連結貸借対照表において現金及び預貯金として処理されている譲渡性預金に係る額(連結貸借対照表計上額1,088百万円、損益に含まれた評価差額0百万円)ならびに買入金銭債権として処理されているコマーシャルペーパー等に係る額(連結貸借対照表計上額3,714百万円、損益に含まれた評価差額△29百万円)を含めています。	連結貸借対照表において現金及び預貯金として処理されている譲渡性預金に係る額(連結貸借対照表計上額1,525百万円、損益に含まれた評価差額0百万円)を含めています。

2. 満期保有目的の債券

(単位：百万円)

種 類		平成21年度 (平成22年3月31日現在)			平成22年度 (平成23年3月31日現在)		
		連結貸借 対照表計上額	時 価	差 額	連結貸借 対照表計上額	時 価	差 額
時価が連結貸借 対照表計上額を 超えるもの	公 社 債	117,860	120,252	2,391	120,460	126,000	5,539
	外 国 証 券	8,877	9,008	131	15,335	15,744	409
	小 計	126,737	129,261	2,523	135,796	141,745	5,949
時価が連結貸借 対照表計上額を 超えないもの	公 社 債	2,727	2,702	△25	—	—	—
	外 国 証 券	12,636	12,169	△467	5,839	5,543	△296
	小 計	15,363	14,871	△492	5,839	5,543	△296
合 計		142,101	144,133	2,031	141,635	147,288	5,652

3. その他有価証券

(単位：百万円)

種 類		平成21年度 (平成22年3月31日現在)			平成22年度 (平成23年3月31日現在)		
		連結貸借 対照表計上額	取得原価	差 額	連結貸借 対照表計上額	取得原価	差 額
連結貸借対照表 計上額が取得原価 を超えるもの	公 社 債	1,969,017	1,916,064	52,953	1,939,972	1,876,990	62,982
	株 式	2,460,512	792,416	1,668,095	1,994,362	669,905	1,324,457
	外 国 証 券	719,580	646,214	73,365	699,714	624,155	75,558
	そ の 他*	149,146	131,192	17,954	130,400	117,406	12,994
	小 計	5,298,258	3,485,889	1,812,368	4,764,450	3,288,457	1,475,992
連結貸借対照表 計上額が取得原価 を超えないもの	公 社 債	541,052	558,303	△17,250	411,577	424,860	△13,282
	株 式	74,946	81,391	△6,444	108,231	121,818	△13,586
	外 国 証 券	350,198	373,086	△22,888	393,421	423,167	△29,745
	そ の 他**	1,215,705	1,236,177	△20,472	829,539	834,195	△4,655
	小 計	2,181,903	2,248,959	△67,055	1,742,771	1,804,042	△61,270
合 計		7,480,161	5,734,848	1,745,313	6,507,221	5,092,500	1,414,721

現
状

経
営
に
つ
い
て

商
品
・
サ
ー
ビ
ス
に
つ
い
て

業
績
デ
ー
タ

コ
ー
ポ
レ
ー
ト
デ
ー
タ

経理の状況（連結）

(注)

平成21年度	平成22年度
<p>*「その他」には、連結貸借対照表において買入金銭債権として処理されている海外抵当証券等（連結貸借対照表計上額141,147百万円、取得原価124,504百万円、差額16,643百万円）を含めています。</p> <p>**「その他」には、連結貸借対照表において現金及び預貯金として処理されている譲渡性預金（連結貸借対照表計上額79,443百万円、取得原価79,443百万円）ならびに買入金銭債権として処理されているコマーシャルペーパー等（連結貸借対照表計上額1,130,321百万円、取得原価1,150,101百万円、差額△19,780百万円）を含めています。</p> <p>(注) 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めていません。</p> <p>(追加情報) 当連結会計年度より、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 平成20年3月10日)および「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 平成20年3月10日)を適用しています。これに伴い時価をもって評価する有価証券等の範囲を変更しており、従来時価のない有価証券としていたコマーシャルペーパー等を含めています。</p>	<p>*「その他」には、連結貸借対照表において買入金銭債権として処理されている海外抵当証券等（連結貸借対照表計上額127,311百万円、取得原価114,860百万円、差額12,451百万円）を含めています。</p> <p>**「その他」には、連結貸借対照表において現金及び預貯金として処理されている譲渡性預金（連結貸借対照表計上額38,138百万円、取得原価38,138百万円）ならびに買入金銭債権として処理されているコマーシャルペーパー等（連結貸借対照表計上額786,402百万円、取得原価790,532百万円、差額△4,129百万円）を含めています。</p> <p>(注) 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めていません。</p> <p style="text-align: center;">—</p>

4. 売却した満期保有目的の債券

該当事項はありません。

5. 売却したその他有価証券

(単位：百万円)

種 類	平成21年度 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)			平成22年度 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)		
	売却額	売却益の 合計額	売却損の 合計額	売却額	売却益の 合計額	売却損の 合計額
公 社 債	284,616	2,186	648	347,004	3,653	1,594
株 式	94,136	61,103	890	187,922	118,351	1,913
外 国 証 券	552,801	20,661	5,670	397,039	11,719	3,849
そ の 他	64,996	3,480	634	124,509	6,660	6,629
合 計	996,551	87,431	7,844	1,056,475	140,385	13,987

(注)

平成21年度	平成22年度
「その他」には、連結貸借対照表において買入金銭債権として処理されているコマーシャルペーパー等（売却額57,133百万円、売却益1,362百万円、売却損551百万円）を含めています。	「その他」には、連結貸借対照表において現金及び預貯金として処理されている譲渡性預金（売却額10,994百万円）ならびに買入金銭債権として処理されている海外抵当証券等（売却額110,550百万円、売却益6,172百万円、売却損6,045百万円）を含めています。

6. 減損処理を行った有価証券

平成21年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)	平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)
<p>当連結会計年度において、その他有価証券について25,450百万円(時価のあるもの2,866百万円、時価を把握することが極めて困難と認められるもの22,584百万円)減損処理を行っています。この中には、連結損益計算書においてその他運用費用として処理されている海外抵当証券に係る評価損16百万円を含めています。</p> <p>なお、時価のある有価証券の減損については、原則として、連結会計年度末の時価が帳簿価額と比べて30%以上下落したものを対象としています。</p>	<p>当連結会計年度において、その他有価証券で時価のあるものについて12,323百万円(うち、株式10,214百万円、外国証券2,104百万円、その他4百万円)、その他有価証券で時価を把握することが極めて困難と認められるものについて1,363百万円(うち、株式585百万円、外国証券161百万円、その他616百万円)減損処理を行っています。</p> <p>なお、時価のある有価証券の減損については、原則として、連結会計年度末の時価が帳簿価額と比べて30%以上下落したものを対象としています。</p>

金銭の信託関係

1. 運用目的の金銭の信託

(単位：百万円)

種 類	平成21年度（平成22年3月31日現在）		平成22年度（平成23年3月31日現在）	
	連結貸借対照表計上額	損益に含まれた評価差額	連結貸借対照表計上額	損益に含まれた評価差額
金 銭 の 信 託	11,578	841	13,856	1,067

2. 満期保有目的の金銭の信託

該当事項はありません。

3. 運用目的、満期保有目的以外の金銭の信託

(単位：百万円)

種 類	平成21年度（平成22年3月31日現在）			平成22年度（平成23年3月31日現在）		
	連結貸借 対照表計上額	取得原価	差 額	連結貸借 対照表計上額	取得原価	差 額
金 銭 の 信 託	200	200	—	200	200	—

経理の状況（連結）

デリバティブ取引関係

各表における「契約額等」は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体が、そのままデリバティブ取引に係る市場リスクや信用リスク等を表すものではありません。

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 通貨関連

(単位：百万円)

区分	種類	平成21年度(平成22年3月31日現在)				平成22年度(平成23年3月31日現在)			
		契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超				うち1年超		
市場取引	為替予約取引								
	売 建								
	米 ドル	133,535	464	△ 3,434	△ 3,434	158,911	—	△ 1,502	△ 1,502
	ユ ーロ	22,342	—	60	60	23,420	—	△ 879	△ 879
	英 ポンド	5,434	—	20	20	4,890	—	△ 94	△ 94
	豪 ドル	13,777	—	△ 231	△ 231	6,724	—	△ 380	△ 380
	カ ナダドル	5,813	—	△ 578	△ 578	5,122	—	△ 178	△ 178
	日 本 円	1,341	—	53	53	—	—	—	—
	買 建								
	米 ドル	50,212	—	1,350	1,350	7,813	—	220	220
	ユ ーロ	10,174	—	△ 187	△ 187	12,070	—	535	535
	英 ポンド	281	—	6	6	2,695	—	68	68
	豪 ドル	12,384	—	367	367	9,846	—	563	563
	引以	通貨スワップ取引							
受取円貨支払外貨									
米 ドル		605,381	441,232	6,814	6,814	413,478	244,677	13,753	13,753
ユ ーロ		9,535	8,033	940	940	3,818	2,481	798	798
豪 ドル		836	640	43	43	447	447	17	17
受取外貨支払円貨									
米 ドル		215,086	158,194	△ 10,350	△ 10,350	157,060	116,203	△ 25,031	△ 25,031
ユ ーロ	6,291	6,291	△ 915	△ 915	2,481	2,481	△ 741	△ 741	
豪 ドル	627	627	△ 39	△ 39	434	434	△ 14	△ 14	
外取引	受取外貨支払外貨								
	受取シンガポールドル	—	—	—	—	616	—	60	60
	支 払 米 ドル								
	通貨オプション取引								
	売 建								
	コ ー ド	37,709	27,785			44,812	31,939		
	米 ドル	(3,318)	(2,806)	3,155	162	(4,936)	(4,120)	4,198	738
	豪 ドル	95	—			—	—		
	プ ッ ト	(0)	(—)	0	0	(—)	(—)	—	—
	米 ドル	46,504	35,314			49,758	36,078		
買 建	(3,169)	(2,752)	5,212	△ 2,042	(5,022)	(4,007)	7,503	△ 2,481	
コ ー ド	55,389	48,619			42,666	29,252			
米 ドル	(4,138)	(3,737)	4,837	699	(3,521)	(2,567)	2,821	△ 699	
豪 ドル	82	—			—	—			
プ ッ ト	(0)	(—)	0	△ 0	(—)	(—)	—	—	
米 ドル	53,307	45,681			45,681	30,572			
	(4,253)	(3,873)	8,434	4,180	(3,443)	(2,588)	9,105	5,662	
合 計			15,561	△ 3,079			10,826	△ 9,582	

(注) 1. 為替予約取引および通貨スワップの時価は、将来予想されるキャッシュ・フローを現在価値に割り引いて算定しています。

2. 通貨オプション取引の時価は、オプション価格計算モデルを用いて算定しています。

3. 通貨オプション取引については、契約額の下に()で契約時のオプション料を示しています。

(2)金利関連

(単位：百万円)

区分	種類	平成21年度(平成22年3月31日現在)				平成22年度(平成23年3月31日現在)			
		契約額等	うち1年超	時価	評価損益	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引	金利先物取引								
	売 建 買 建	26,713 13,711	- -	△ 1 3	△ 1 3	15,883 160,000	- -	△ 4 1	△ 4 1
市場取引以外	金利オプション取引								
	売 建 キャップ	49,957 (734)	34,912 (607)	107	626	37,231 (595)	25,000 (434)	53	542
	スワップション	17,000 (445)	16,000 (445)	741	△ 295	13,000 (445)	12,000 (393)	1,182	△ 736
	買 建 キャップ	14,600 (135)	4,500 (36)	0	△ 135	4,500 (36)	- (-)	0	△ 36
	スワップション	21,154 (397)	19,000 (394)	375	△ 22	16,000 (394)	12,000 (285)	487	93
	金利スワップ取引								
受取固定支払変動	3,874,969	3,134,746	121,470	121,470	3,217,882	2,440,731	128,857	128,857	
受取変動支払固定	4,152,353	3,204,860	△ 105,377	△ 105,377	3,697,935	2,568,326	△ 111,238	△ 111,238	
受取変動支払変動	462,375	452,917	12,735	12,735	384,298	372,152	3,313	3,313	
受取固定支払固定	44,610	44,610	△ 589	△ 589	43,655	43,655	237	237	
合計			29,466	28,415			22,889	21,028	

- (注) 1. 金利先物取引の時価は、主たる証券取引所における最終の価格によっています。
2. 金利オプション取引の時価は、オプション価格計算モデルを用いて算定しています。
3. 金利オプション取引については、契約額の下に()で契約時のオプション料を示しています。
4. 金利スワップ取引の時価は、期末日現在の金利を基に将来予想されるキャッシュ・フローを現在価値に割引いて算定しています。

(3)株式関連

(単位：百万円)

区分	種類	平成21年度(平成22年3月31日現在)				平成22年度(平成23年3月31日現在)			
		契約額等	うち1年超	時価	評価損益	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引	株価指数先物取引								
	売 建 買 建	17,165 1,634	- -	△ 434 72	△ 434 72	15,688 2,452	- -	△ 158 △ 1	△ 158 △ 1
合計				△ 361	△ 361			△ 160	△ 160

- (注) 株価指数先物取引の時価は、主たる証券取引所における最終の価格によっています。

現状

経営について

商品・サービスについて

業績データ

コーポレートデータ

経理の状況（連結）

(4)債券関連

(単位：百万円)

区分	種類	平成21年度(平成22年3月31日現在)				平成22年度(平成23年3月31日現在)			
		契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超				うち1年超		
市場取引	債券先物取引								
	売 建 買 建	11,611 5,818	- -	51 △ 56	51 △ 56	11,300 -	- -	△ 52 -	△ 52 -
市場取引以外の取引	債券店頭オプション取引								
	売 建	11,543	-			-	-		
	コ ー ル	(19)	(-)	13	5	(-)	(-)	-	-
	プ ッ ト	2,494	-			-	-		
合計	買 建	(9)	(-)	13	△ 4	(-)	(-)	-	-
	コ ー ル	2,494	-			-	-		
	プ ッ ト	(7)	(-)	3	△ 3	(-)	(-)	-	-
		(25)	(-)	27	2	(-)	(-)	-	-
合 計			53	△ 4			△ 52	△ 52	

- (注) 1. 債券先物取引の時価は、主たる証券取引所における最終の価格によっています。
 2. 債券店頭オプション取引の時価は、取引相手の金融機関等から入手した価格によっています。
 3. 債券店頭オプション取引については、契約額の下に()で契約時のオプション料を示しています。

(5)信用関連

(単位：百万円)

区分	種類	平成21年度(平成22年3月31日現在)				平成22年度(平成23年3月31日現在)			
		契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超				うち1年超		
市場取引以外の取引	クレジット・デリバティブ取引								
	売 建 買 建	398,908 42,118	220,721 40,821	△ 12,295 389	△ 12,295 389	199,719 35,423	156,491 34,923	△ 8,088 △ 59	△ 8,088 △ 59
合 計				△ 11,905	△ 11,905			△ 8,147	△ 8,147

- (注) クレジット・デリバティブ取引の時価は、社内時価評価モデルを用いて算定しています。

(6)商品関連

(単位：百万円)

区分	種類	平成21年度(平成22年3月31日現在)				平成22年度(平成23年3月31日現在)			
		契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超				うち1年超		
市場取引以外の取引	商品オプション取引								
	売 建 キ ャ ッ プ	- (-)	- (-)	- -	- -	76 (12)	- (-)	2	9
合計	買 建 キ ャ ッ プ	- (-)	- (-)	- -	- -	76 (10)	- (-)	2	△ 7
	商品スワップ取引								
	受取固定価格支払商品指数	20,351	20,351	△ 8,393	△ 8,393	15,990	15,533	△ 6,292	△ 6,292
	受取商品指数支払固定価格	22,046	22,046	7,152	7,152	17,280	16,775	5,368	5,368
受取商品指数支払変動指数	8,664	8,664	△ 414	△ 414	6,582	6,170	△ 416	△ 416	
合 計			△ 1,656	△ 1,656			△ 1,336	△ 1,339	

- (注) 1. 商品オプション取引および商品スワップ取引の時価は、社内時価評価モデルを用いて算定しています。
 2. 商品オプション取引については、契約額の下に()で契約時のオプション料を示しています。

(7)その他

(単位：百万円)

区分	種類	平成21年度(平成22年3月31日現在)				平成22年度(平成23年3月31日現在)			
		契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超				うち1年超		
市場取引	自然災害デリバティブ取引 売 建	9,583 (285)	321 (12)	264	21	12,216 (869)	386 (9)	630	239
	買 建	28,953 (4,939)	— (—)	2,777	△ 2,162	28,815 (3,847)	— (—)	2,188	△ 1,658
以外の取引	ウェザー・デリバティブ取引 売 建	16 (0)	— (—)	0	△ 0	115 (3)	— (—)	1	1
	その他の取引 売 建	123 (6)	123 (6)	6	—	123 (6)	123 (6)	6	—
合	計	—	—	3,048	△ 2,140	—	—	2,827	△ 1,417

- (注) 1. 自然災害デリバティブ取引の時価は、社内時価評価モデルを用いて算定した価格やオプション料を基礎に算定した価格によっています。
2. ウェザー・デリバティブ取引の時価は、取引対象の気象状況、契約期間、その他当該取引に関わる契約を構成する要素に基づき算定しています。
3. その他の取引の時価は、オプション料を基礎に算定しています。
4. 自然災害デリバティブ取引、ウェザー・デリバティブ取引およびその他の取引については、契約額の下に()でオプション料を示しています。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

(1)通貨関連

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成21年度 (平成22年3月31日現在)			平成22年度 (平成23年3月31日現在)		
			契約額等		時価	契約額等		時価
				うち1年超			うち1年超	
繰延ヘッジ	通貨スワップ取引 受取外貨支払円貨 米 ド ル	借入金	5,000	5,000	△ 46	5,000	5,000	△ 154
	為替予約取引 売 建 米 ド ル ユ ー ー 英 ポ ン ド カ ナ ダ ド ル	その他 有価証券	101,921 65,592 7,893 —	— — — —	△ 2,660 △ 576 154 —	76,179 49,758 14,220 2,586	— — — —	△ 515 △ 2,242 △ 382 △ 30
時価ヘッジ	通貨スワップ取引 受取円貨支払外貨 米 ド ル ユ ー ー 豪 ド ル	その他 有価証券	20,393 5,890 16,824	20,393 2,030 16,824	2,968 828 △ 427	7,578 — 16,824	7,578 — 16,824	1,758 — △ 588
	為替予約等 の振当処理 売 建 米 ド ル 豪 ド ル	預貯金	20,003 5,005	— —	* —	10,000 5,002	— —	* —
	合	計	—	—	239	—	—	△ 2,156

- * 為替予約等の振当処理によるものは、ヘッジ対象とされている預貯金と一体として処理されているため、その時価は当該預貯金の時価に含めています。
(注) 通貨スワップ取引および為替予約取引の時価は、将来予想されるキャッシュ・フローを現在価値に割り引いて算定しています。

現状

経営について

商品・サービスについて

業績データ

コーポレートデータ

経理の状況（連結）

(2)金利関連

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成21年度 (平成22年3月31日現在)			平成22年度 (平成23年3月31日現在)		
			契約額等		時価	契約額等		時価
			うち1年超			うち1年超		
繰延ヘッジ	金利スワップ取引 受取固定支払変動	保険負債	378,600	378,600	20,138	371,000	345,000	23,382
合		計	—	—	20,138	—	—	23,382

(注)金利スワップ取引の時価は、期末日現在の金利を基に将来予想されるキャッシュ・フローを現在価値に割り引いて算定しています。

資産除去債務関係

平成22年度（平成23年3月31日現在）

資産除去債務のうち連結貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

当社は、賃借不動産の一部について、賃借期間終了時の原状回復義務に係る資産除去債務を計上しています。また、当社は、社有不動産の一部について、有害物質の除去義務に係る資産除去債務を計上しています。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積りにあたり、使用見込期間は18年から50年、割引率は1.4%から2.3%を採用しています。

3. 当連結会計年度における総額の増減

期首残高（注）	3,696百万円
有形固定資産の取得に伴う増加額	217百万円
時の経過による調整額	61百万円
資産除去債務の履行による減少額	△491百万円
当連結会計年度末残高	3,484百万円

(注) 当連結会計年度より「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用したことによる期首時点における残高です。

賃貸等不動産関係

平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

1. 当社および一部の連結子会社では、東京、大阪および名古屋などを中心にオフィスビル（土地を含む）を所有しており、その一部を賃貸しています。これらの賃貸等不動産の連結貸借対照表計上額、当連結会計年度の増減額および時価は、次のとおりです。

(単位：百万円)

連結貸借対照表計上額			当連結会計年度末の時価
前連結会計年度末残高	当連結会計年度増減額	当連結会計年度末残高	
104,355	△9,379	94,975	156,870

(注) 1. 連結貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額および減損損失累計額を控除した金額です。

2. 当連結会計年度増減額のうち、主な増加額は改修工事によるもの(5,485百万円)であり、主な減少額は不動産売却(8,074百万円)および減損損失(3,956百万円)です。

3. 当連結会計年度末の時価は、主に社外の不動産鑑定士による不動産鑑定評価書に基づく金額です。

2. 賃貸等不動産に関する損益は、次のとおりです。

(単位：百万円)

賃貸収益	賃貸費用	差額	その他（売却損益等）
10,647	10,347	300	△2,788

(注) 賃貸収益は利息及び配当金収入に、賃貸費用(減価償却費、修繕費、保険料および租税公課等)は営業費及び一般管理費に計上しています。また、その他は売却損益および減損損失等であり、特別利益または特別損失に計上しています。

1 株当たり情報

平成21年度 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)		平成22年度 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)	
1株当たり純資産額	1,268.52円	1株当たり純資産額	1,065.30円
1株当たり当期純利益金額	92.44円	1株当たり当期純利益金額	49.64円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないので記載していません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	平成21年度 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)	平成22年度 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)
当期純利益(百万円)	143,256	76,941
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	143,256	76,941
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,549,692	1,549,692

重要な後発事象

平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

該当事項はありません。

現
状

経
営
に
つ
い
て

商
品
・
サ
ー
ビ
ス
に
つ
い
て

業
績
デ
ー
タ

コ
ー
ポ
レ
ー
ト
デ
ー
タ

